

会長のページ 医療と介護	河野 雅行	3
日州医談 薬剤耐性 (Antimicrobial resistance : AMR) 対策	峰松 俊夫	4
はまゆう随筆(その3)		6
水野 智秀, 河野 清秀, 渡邊 命平, 堀之内和代, 甲斐 佐 松浦 宏司, 日高 四郎, 前田 資雄, 山崎 俊輔, 長沼弘三郎 弓削 達雄		
就任挨拶 宮崎大学医学部教授就任挨拶	盛武 浩	15
エコー・リレー (505)	土居 芳枝, 片山 陽平	17
宮崎グルメ探訪 No. 2 勝しん	尾上 耕治	22
メディアの目 老いは先達に聞くことから	宝満 志郎	23
国公立病院だより (国民健康保険諸塚診療所)	桐村 泰廣	24
宮崎大学医学部だより (内科学講座免疫感染病態学分野)	高城 一郎	26
専門分科医会だより (小児科医会)	高山 修二	27
私の本 宮崎産業保健総合支援センター仕事集	大西 雄二	77
診療メモ 快適職場はあなたをまもる・職場を創る ー最近のメンタルヘルス動向に関してー	鶴 紀子	78

あなたできますか? (平成28年度医師国家試験問題より)	16
宮崎県感染症発生動向	18
各郡市医師会だより	20
各種委員会 (学術生涯教育委員会, 公衆衛生・感染症/予防接種合同委員会)	28
九州医師会連合会第365回常任委員会	31
日医インターネットニュースから	32
医師国保組合だより	34
理事会日誌	38
県医の動き	44
会員の異動・変更報告	45
ベストセラー	46
ドクターバンク情報	47
行事予定	55
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	57
宮大医学部学生のページ	80
あとがき	84

~~~~~

|                                |    |
|--------------------------------|----|
| お知らせ クールビズについて                 | 14 |
| 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています         | 51 |
| 平成29年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い | 53 |
| 第1回生命を見つめるフォト&エッセー作品募集         | 53 |
| 宮崎県医療勤務環境改善支援センター              | 54 |
| 郡市医師会への送付文書                    | 82 |
| ご案内 宮崎県医師会親善ゴルフ大会              | 46 |

## 医 師 の 心 得

1. 私たちは、皆さまの  
健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに  
最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに  
医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの  
「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの  
健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年 3 月12日制定)

〔表紙作品：書（遊書）〕

心

文字には表情があります。  
思いを込め自分流に書いた遊書です。  
目に見えない、触ることもできない…ころ。  
谷川俊太郎氏の詩に“ころころころ  
がって…”という一節がありますが、笑ったり  
へたりこんだりと変幻自在なころです。  
私はまあいい心でいたいと思います。

宮崎市 おお大 さこ迫 ふみ文 こ子

## 会長のページ

## 医療と介護

かわ の まさ ゆき  
河 野 雅 行

医療も介護も一生お世話にならずにすめばそれに越したことはありません。しかし長寿社会になれば利用する可能性は増えてきます。

来年は診療報酬、介護報酬の同時改定です。前回同時改定は双方ともに厳しいものでした。今般の社会情勢からすると次回はさらに厳しくなるものと予想されますし、既に、各方面からそれを示唆するような発言がされています。医療費自然増も実態よりも低く5,000億円に抑えられています。自然増の大部分は薬剤費や高額医療に伴うもので、医療機関の収益になるものではありません。診療報酬は改定の度に僅差の増減について攻防がなされています。他業種に合わせて、職員の待遇改善をし

たくとも相応の収入が確保されない中では企業努力にも限界があります。各業種において働き方も見直されつつあり、医療・介護界では人手不足が更に深刻になるでしょう。介護職員の待遇を改善するために、介護職員処遇改善加算が創設されましたが微々たるものです。

介護事業には様々な業種が参入しており、中にはサービスよりも収益を重視する事業所もある一方で、採算割れして撤退する例も後を絶たないようです。また、介護主体である市町村では給付費が増えすぎて保険料の値上げや介護給付の制限を行っている所もあるようです。このような事態は想定されたはずですが、当初の計画者はどのように考えておられるのでしょうか。医療や介護は他の業種と異なり計画的な施策が必要な分野であり、それにも関わらず、誰でも参加できる形にしたのが間違いではなかったかと思われます。医療では病床制限等の規制がなされています。介護でも統計に基づき方針を見直すべきかもしれません。

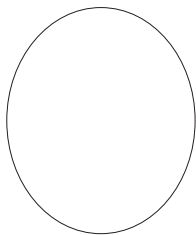
医療と介護は車の両輪にたとえられています。これは一見解り易い説明のようですが、そもそも両者は一体で、切り離すことはできないと私は考えています。諸氏は如何にお考えでしょうか？最近になり地域包括ケアでも見られるように分離を見直して再合体も検討されているようです。医療と介護を地域全体で助け合い、支え合おうとの理念は疑いなく正しいと思います。しかし鳴り物入りで登場した感のある介護保険も、最近は様々な観点から見直されつつあります。介護サービスの多様化・増加に伴う介護報酬の過負担、介護従事者(特に夜勤)の人材不足等があります。人材不足を補うために海外からの働き手の養成を試みたり、高年職員の再雇用も増やしたりしています。介護に限らず医療人材の確保困難は、今後の人口減少に伴い、ますます拍車がかかるものと思われます。更なる対策が必要です。

人生の終末期？と言えども必要な医療・介護は提供されるべきです。しかし、費用対効果の面からはある程度制限せざるを得ないのではないかとの意見もあります。人道的立場からは禁句であっても、社会情勢から見れば提供限度についても再検討する必要はあるかもしれません。

様々な問題を解決して、将来も現在のシステムを維持していただきたいものです。医療と介護の充実は老後の拠り所なのです。

(平成29年 8 月22日)

## 日州医談



## 薬剤耐性 (Antimicrobial resistance : AMR) 対策

理事 峰 松 俊 夫

世界保健機関(WHO)の報告によれば、世界の低所得経済圏における死亡原因の1位は下気道感染症、2位が下痢性感染症、5位にHIV感染症、6位に結核、7位はマラリアと、3・4位の脳卒中と虚血性心疾患を除けば、感染症が死因の上位を占めている。

このような中で、薬剤耐性(AMR)に関わる国際的な課題が注目されるようになった。すなわち、今後AMR対策を講じなかった場合は、2050年にはAMR病原体によって、世界で1,000万人が死亡すると推測されている。

2015年5月のWHO総会で、加盟各国毎にAMR対策のための行動計画(アクションプラン)を定めることになった。本邦では2016年4月にAMR対策アクションプランが策定され、今年6月には『抗微生物薬適正使用の手引き(第一版)』が発表された。これらAMR対策をここでの話題としてみたい。

## AMR問題の背景

近年、先進国において感染症を原因とする死亡が少なくなり、新たな抗微生物薬の開発分野は縮小してきている。しかしながら、抗微生物薬の患者への不適切な使用等によって薬剤耐性菌は次第に増加しており、さらに動物由来の薬剤耐性菌が畜産物等を介してヒトに感染する可能性も高くなっている。加えて、超多剤耐性抗酸菌や耐性マラリア原虫の出現など、薬剤耐性を獲得した微生物による感染症が広がっている。ヒトを含めた動物宿主と遺伝子変異を続け

る寄生体の視点からは、過去に経験がない難題が持ち上がりつつある。

このような難題に対する本邦のAMR対策のアクションプランは、新たな薬剤耐性菌を生み出さないために抗微生物薬の適正使用を重点方針とし、新たな感染症を発生・拡大させないように人獣共通感染症対策にも目を向け、それぞれの分野の専門家が連携して対策を練り、国民に情報を開示していくというものになっている。

## 『抗微生物薬適正使用の手引き』の概要

厚生労働省は抗微生物薬の適正使用を進めるために、6月に『抗微生物薬適正使用の手引き』を発表した。

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000166612.pdf>

今回公開された第一版では、特に外来診療における急性気道感染症と急性下痢症に焦点を当て、鑑別診断法や抗菌薬の投与を必要としない症例の所見をも示している。

気道感染症診断法においては、急性気管支炎と肺炎の鑑別として、バイタルサイン異常(体温38℃以上、脈拍数100回/分以上、呼吸数24回/分以上のいずれか1つ)、または胸部聴診所見の異常のどちらかがあれば「胸部レントゲン撮影を含めて精査すべき」となっており、呼吸器感染症における胸部レントゲン検査の位置付けが明文化された。

また、急性下痢症の診療についても、体温

38℃未満の血性下痢および海外渡航歴のない水様下痢では、中等症や重症であれば「血圧低下、悪寒戦慄など菌血症を疑う場合」、「脱水、ショックなど入院加療が必要な場合」、「免疫不全状態」、「合併症リスクが高い場合(50歳以上、人工血管・人工弁・人工関節など)」を要警戒とし、これらの症状を認めた場合には精査および抗菌薬の投与を検討すべきとの意見が記された。

適正使用という言葉の裏には「非適切」や「誤用」という言葉が意識されがちである。しかし、薬剤は患者が治癒・軽快することを目的として処方されるべきものであり、その処方薬が適切なものだったのか、投与量が不足だったのか、最適だったのか、過剰だったのかは、該当する患者を診断・治療した医師こそが判断しうると考えられる。それを考慮して、「抗微生物薬等の処方については、添付文書に記載された内容を確認の上、適切に行うことが重要である」との一文が日本医師会の要請で追加された。すなわち、診断や処方は必ずしも『手引き』に準拠しなければならないということはなく、『手引き』以外の診断・治療法が保険診療外の扱いになるということもない。あくまでも、患者を診断した医師の判断が尊重され、また医師による判断こそが重要である旨が記されている。

### 日本医師会の“One Health”への取り組み

新興感染症の多くが人獣共通感染症であることから、人獣共通感染症対策もAMR対策の上で注目されている。従来、ヒトならヒト、動物なら動物での感染症として別個に対策がとられており、ヒトの健康は厚生労働省、動物に関することは農林水産省と、行政においても別の監督省庁が担当していた。

しかし、地球上の生態系の保全は、ヒトおよび動物両者の健康が相まって初めて達成できるはずであり、ヒトや動物や環境の衛生に関する課題に対しては多方面の関係者が連携して解決

のために取り組むべきである。この「ヒト、動物、環境(生態系)の健康は相互に関連していて一つである」という概念を表す言葉として“*One Health*”が提唱されている。

2016年3月20日「人と動物の一つの衛生を目指すシンポジウム―人獣共通感染症と薬剤耐性菌―」が日本医師会大講堂にて開催された。これは“*One Health*”に関係する国内で初めてのシンポジウムであり、全世界の医療・獣医療の各分野の専門家がAMRの現状および抗微生物薬の適正使用の重要性を講じた。また、昨年11月には“*One Health*”の理念を普及・推進することを目的として、北九州市において「第2回世界獣医師会-世界医師会“*One Health*”に関する国際会議」が開催された。

このように、日本医師会は世界に先駆けて、“*One Health*”を掲げた情報発信を行っている。

### 終わりにフレミングの講演から

フレミングは1929年にペニシリンに関する報文を発表し、1945年にノーベル医学生理学賞を受賞した。しかし、すでにノーベル賞受賞の5年前の1940年にはペニシリナーゼを産生するペニシリン耐性菌が発見されていた。

フレミングはノーベル賞受賞講演で次のように語っている。

『ペニシリンを商店で誰でも買うことができる時代が来るかもしれない。その時、無知な人が必要量以下の用量で内服して、体内の微生物に非致死量の薬剤を曝露させることで、薬剤耐性菌を生み出してしまう恐れがある』

まさに、今日の人類と薬剤耐性微生物等との戦いを予言し、危惧するものだった。

国際的なAMRへの対策のためには、速やかな行動が望まれる。“*One Health*”の理念のもと、医療従事者の皆様がAMRと薬剤適正使用についての意識を高めてくださることに期待したい。



(その3)

(7, 8, 9月号に分けて掲載いたします)

## VR(バーチャル・リアリティー)

日向市 みずのメンタル クリニック みず の とも ひで 水 野 智 秀

「車好き」を自負する私は、ナンバー付きの車でサーキットを走る。最近、サーキット走行経験の少ないはずの若い人達が、驚くほどのタイムを出す。「VR」が絡んでいる。

国際クラスのサーキットを好みの車で走行体験できるVR機器は、ゲームセンターにあったモノとは別次元であり、実際にサーキットを走っているような体験ができる。気軽にサーキット走行を体験しているならば、納得せざるを得ない。しかし、若い人達は直ぐ車を壊す。その原因は、整備不良。ナンバー付きの車であれば、サーキットに一般道を走って行き、サーキットを走って周り、家まで一般道を走って帰る。普段、乗っている車をサーキットで走らせるため、多くの準備をしなければならない。オイル、タイヤ、フィルター類を交換して、コンピュータを書き換え、ボルトの増し締めをする。サーキットを走る準備。そうすると「抑える」ポイントが解かる。そこは「VR」では体験しない。

現在、医療現場も「VR」を用いて、技術継承が行われている。普段であれば経験し難い診断技術、治療技術を正に目の前にあるかのように体験できる。気軽に超一流の医療体験をしてい

ると、更に次々と技術を体験したくなるはずである。しかし「VR」による体験は所謂「美味しいところ」だけである。

「VR」によるサーキット走行体験は、車に乗り込み、コースを走るだけ。それに至るプロセス、走り終わった後のケアを「VR」で体験しない。整備で手を汚すことも、壊せば莫大な時間と労力を要することも体験しない。

「VR」は、医療現場のみならず、様々な現場で欠かせない存在となった。

美味しいところだけを「VR」で体験せずに「美味しいところ」に至るプロセスとその後のケアも是非、体験して欲しい。

## 介護医療院を司るには総合診療 医とMega clinicが必要である

日南市 きよひで内科 クリニック かわ の きよ ひで 河 野 清 秀

「看護師さん、肺を圧迫して呼吸を促して」  
特別養護老人ホーム(特養)の認知症患者の発熱急患を診察している場面です。

当院は、昨年11月より別法人の特養かかりつけ医師(配置医師)をしています。特養の入居者は、65歳以上の介護度3以上で4, 5度の方がほとんどです。ほぼ車椅子状態以上の易要医療

者です。要介護の原因は脳血管障害、認知症で胃管等を挿入されている人もいます。特養患者の発熱の原因は、嚥下性肺炎等の内科疾患だけでなく、蜂窩織炎や偽痛風の発熱もあります。総合内科的な知識だけでなく、整形外科的知識や皮膚科的知識といった総合診療医の知識が必要です。

配置医師は、保険診療上日常の診察、検査が制限されています。そのため日頃の病態把握が不十分になりやすく、特養の急患は診断に時間を要し、時には他の外来患者の診察が停滞します。当院は、2人の担当医交代制の総合内科診療所なので何とか対応していますが、一人診療所では困難だと思います。

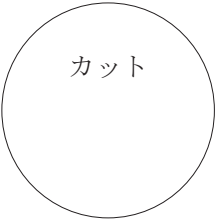
ところで、政府は2025年問題について、全国の病床を15万床減少させる計画です。これは慢性医療が必要な患者を、療養型医療病床から介護医療院と称する新特養施設に移す方策です。療養型医療病床は100病床につき医師3人が必要ですが、介護医療院は100病床を1人で診ることができる制度です。全国の療養型病床で、15万床で必要な医師を4,500人から1,500人に減らす事が可能となります。入院患者100人を、3人で診るところを1人で診るのですから、療養者の大部分を占める多病高齢者を診るには、総合診療医的診察が必要になります。介護医療院の医師は少なくとも総合内科医か、できれば総合診療医が求められます。

プライマリケア学会では総合診療医の育成を図っていますが、その育成はまだまだ不十分です。その育成方法の一つである地域枠学生が今年の総会の議題になりました。その総合診療医の義務期間(一般的には9年間)後の行き先が問題となりました。義務期間だけではなく、終

生、総合診療医として活躍できる場が必要との事でした。介護医療院は総合診療医の活躍できる場所の一つになると考えます。

また介護医療院の療養者は、今までの療養型医療病院の入院患者と変わらないので、診療は24時間365日対応が必要です。これに対応するには、担当医交代制で少なくとも総合診療医3人が必要です。それに加えて病院と同等な24時間対応力や検査機能を備えなければならず、介護医療院診療を司るには、どうしても病院の外来と同等な診療機能を持つ大型診療所(Mega clinic)とならざるを得ないと思います。

早急に総合診療医が魅力を感じるような環境と、Mega clinicの創生を図るべきと考えます。



カット

## 気球に乗って

日向市 渡辺病院 わた なべ みょう へい 渡 邊 命 平

今回も旅の話で申し訳ありませんが、昨年3月、長男が不妊症の研修でオーストラリアのメルボルンへ行くというので、我々も同行しました。メルボルンはオーストラリアで第二の規模

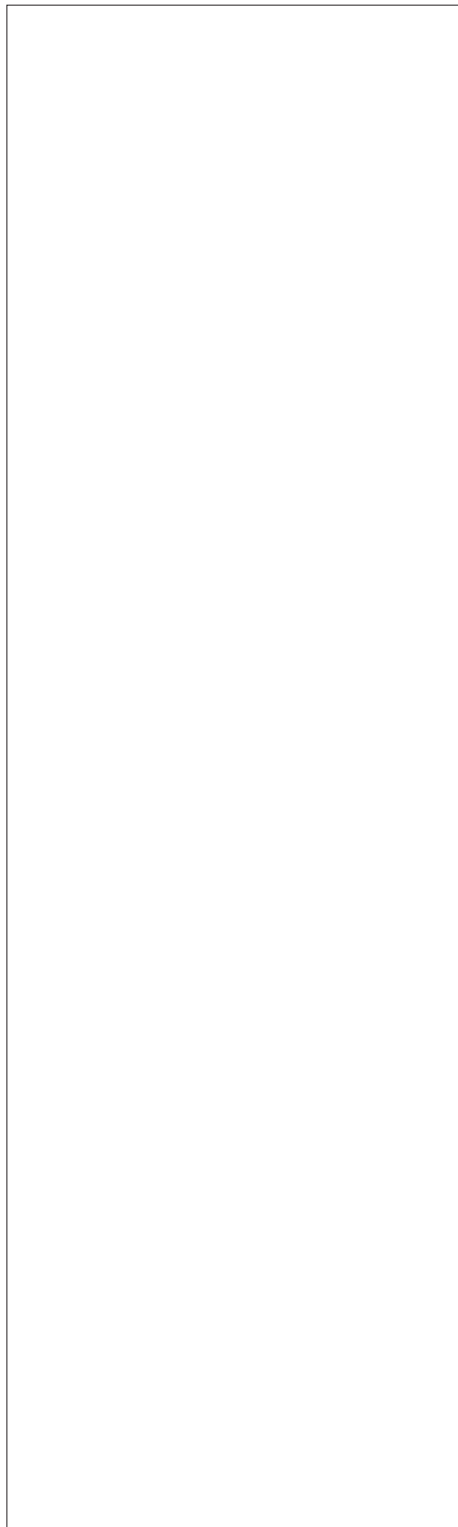
を誇る街で、歴史的な建造物が多く、街の中心部はオーストラリアで最も英国的景観が残る場所とされています。

研修はメルボルン大学と大学病院でありましたが、そのあと幸いにも熱気球に乗るツアーに参加することができました。

その日は朝 3 時半に起き 4 時半に気球の会社に集合、手続きを済ませ、車に分乗して30分程走り、夜明け前の暗い草原に到着しました。気球は10人一組で、車のヘッドライトを頼りにみんなでバルーンを車から降ろす作業から始まります。先ず大型の扇風機で風を送り、ふくらんだ所でバーナーで熱風を送るとバルーンはゆっくりと起き上がります。充分ふくらんだ所でバスケットに乗り込むのですが、左右のバランスがとれるように配慮されました。パイロットがバーナーを操作するとバルーンはゆっくりと上昇をはじめ、次第に地面が遠くなっていきます。一緒に上ったバルーンは4機でしたが、上空では風を求めてお互いに上になったり下になったりしながらメルボルンの市街の上空を横切って行きます。しばらくすると朝日が雲間より現れ感動のサンライズでした。上昇するにつれ寒さが身にしみて、カメラを持つ手が不自由になる程でした。日が昇るにつれ眼下に整然とした町並みや公園、緑地、中心部の高層ビル(最高88階)などが視野いっぱいに広がりました。楽しい空中散歩も40分程で終わりました。乗る前に降下地点は風まかせでどこに降りるかわからないと言われておりましたので多少不安もありましたが、無事に小型機の空港に着地しました。後片づけも大変でしたがみんなで行いました。“空中散歩”思い出に残るメルボルンの旅のひと齣になりました。

## 傘寿

日向市 沼田皮膚科 ほりのうち かず よ  
堀之内 和 代



## スプートニク 1 号

宮崎市 甲 斐 佐

たいへん古い話で恐縮だが、1957年10月4日、ソ連(当時)が世界最初の人工衛星スプートニク 1 号を打ち上げたときのことである。この衛星は超短波の40MHzと短波の20MHzでビーコンを出していたが、普通の短波受信機は18MHzまでだったから聞こえない。しかし、大学生の私は勉強そっちのけで無線に凝っていて、自分で設計した21MHzのアマチュアバンドまで受信できる高感度の受信機を作り上げていた。20MHzは簡単にカバーできたから直ちにダイヤルにしがみついた。

2 日目の深夜だったと思うが、それらしい信号を捕まえた。最初は弱かったが、地球一周後(96分)には信号メーターが振れるほどに強くなった。そのうち、あるところでピッ、ピッというビート音がプッ、プッという低音に変わった。予期していなかったが、とっさに「ドップラーシフトだ!」と考えた。頭上を通る飛行機の爆音が急に低い音に変わるのと同じことが起こったのだ。周回速度と周波数をもとに計算してみると、ビート音を 1 KHz に設定していれば0.5KHz低くシフトすることになり辻褄は合っていた。

一人で悦に入っていたが、他に聞いていた者はいないし、録音もないから受信した証拠がない。数日後、誰かがソニーのテープレコーダー(当時16万円もした)での録音を公開したが、シフトの実況音は入っていなかった。こちらの計算ミス、間違った電波を受信した、あるいは自作機の周波数が急に狂った可能性などもあって

今まで黙っていた。

最近になって、極超短波の衛星通信状況をネットで探していたら、ドップラーシフトを自動補正する電子的システムがあることを知った。それなら短波のスプートニク 1 号でも、補正の必要がない程度のシフトは起こっていたはずであり、受信したのは間違いのないと思うことにしたのだ。

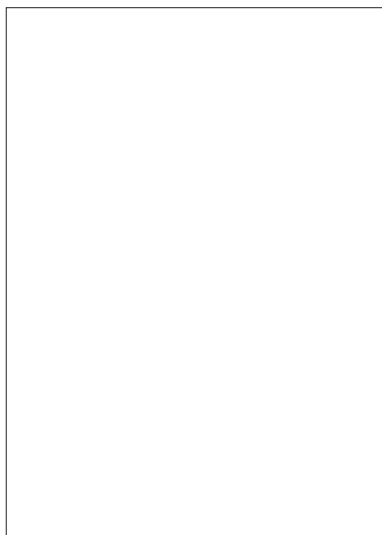
なお、私の受信機もスプートニク 1 号の送信機も真空管式で、半導体の出番はこの少し後になる。

## 小さな来訪者

宮崎市 松浦みみ・はな・のど まつ うら こう し  
クリニック 松 浦 宏 司

「今朝も来ていた?」「もちろん来てた」4月から5月にかけての妻との朝の会話はこんな感じで始まる。リビングから窓を開けると手が届きそうなところにトネリコの若木が植わっているのだが、そこに設置した巣箱にシジュウカラが来るようになってもう5年ほど経つ。中学生だった娘の自由研究が何かに役立つかもと巣箱を買ったまでは良かったが、3年ほどは鳥が寄りつかず「お父ちゃんの無駄な努力だねえ」と妻と娘からは揶揄されていた。ところがある春の日、帰宅すると「今日ねえ、小鳥が巣箱の周りに来てたのよ。偵察みたいに覗いたりしてた」と妻が興奮して言ってきた。どうやらシジュウカラがペアで巣箱を品定めしていたようで、さらには気に入ったのか盛んに出入りしているという。それからは、庭に入り込んで巣箱までよじ登ろうとしていたネコ対策で柵やネットを急ごしらえで取り付けたり、強風で巣箱が傾けば

固定し直したり、カラスや百舌が飛び回れば追い払いと家族みんなが小鳥の保護者になってしまった。窓越しに観察を続けると虫を咥えて出入りする回数が多くなり、ヒナが成長してエサをねだっているのが分かるようになる。3週間ほどすると賑やかな鳴き声がしてヒナたちが巣箱の小さな窓から顔を出すようになり、やがて巣立っていくのを見送る日がやってくる。毎年2か月間にも満たない、あわただしくも楽しい日々なのだが悲しい年もあった。巣立ったばかりのヒナ鳥たちが百舌の急襲に遭い全滅してしまったのだ。きっと百舌も子育ての時期なのだろうと頭では分かるのだが、自然の摂理と割り切れずしばらく夫婦でやりきれない思いもあったものである。でも今年もシジュウカラの親はやってきて子育てをしてくれ、また新しい営みを見ることが出来た。来年また新しい世代の親鳥たちが戻ってきて次のヒナたちが順調に育つよう、この秋には巣箱を新しいものに付け替えるように準備をしなければとあれこれ考えている。



ヒナに餌を運ぶシジュウカラの親鳥

## 津波避難訓練で判った課題

宮崎市 日高医院 ひ だか し ろう  
日 高 四 郎

平成29年3月18日、海拔3mの宮崎市熊野・島山地区複合型津波避難施設において、地域の婦人会の協力の下、津波避難訓練を行いました。

これまでの従来の避難訓練とは違い、日中若い人が仕事でいない、男性もいない、中高年の女性しかいない状況を想定しての避難訓練でした。更に寝たきりの人、歩行困難の人、走ることが出来ない高齢者と一緒に避難するという想定で避難訓練を行いました。

今回の訓練目的は、どのような道具を使い、どのように工夫すれば、どれくらいの時間で避難できるかを検証することでした。700m離れた家から寝たきり役の女性を、布担架と車イス、担ぎ易く工夫したつなぎと車イス、背負子と車イスで試しました。階段上りは、布担架、つなぎ、両脇からの介助で行いました。

寝たきり女性を最も早く搬送できたのは、つなぎと車イスでした。次に布担架と車イスでした。もっとも遅かったのは、使い慣れていない背負子と車イスの組み合わせでした。背負子の装着に手間取ったことと女性の力で背負うのは困難だったからです。

階段上りは、やはりつなぎでした。次が布担架でした。両脇から支えるのは女性の力では不十分で途中で休憩が必要でした。更に3人横並びになると後ろの人が前に進めなくなりました。

分かり易い避難用具が必要だとわかりました。機能性があっても使い慣れていない避難用

具は使えないとわかりました。更に、歩くのが遅いお年寄りの方が、寝たきりの人々より取り残されるリスクが大きく、助かる率が低いのではという意外な結果を得ました。



布担架による搬送の準備完了



布担架を使ってベッドから外の車イスに移動



布担架をオムツ様に使った歩行介助



ベルト付つなぎの服での階段搬送

## 広島にて思う事

延岡市 プレストピア  
クリニック延岡 まえ だ より お  
前 田 資 雄

先日の広島での学会で、アニメの舞台になった呉に宿を取った。夕方、呉線でホテルへ向かっている時、広島駅から10数kmはなれた小屋浦という駅の手前の線路脇に、人の高さほどの原爆慰霊碑が建っているのが見えた。後日調べてみると、広島市近郊にある120余りある慰霊碑の一つで、8月6日の投下された日に宇品港から運ばれてきて治療の甲斐なく亡くなった100名あまりの被爆者の慰霊碑であるとのことである。高層ビルの建ち並ぶ現在の広島の町からは当時の光景はとても想像できない惨状がそこにあったのであろうが。

田舎の自宅に、原爆の惨状が初めて写真で紹介されたアサヒグラフがあった。平和大橋のたもとにたたずむ若い女性の表紙とは対照的な生々しい白黒の広島の惨状は小学校に入る前の私にはむしろ恐怖のみが先立って、雑誌を納戸のたんすのひきだしの奥に押し込んで目に付かないようにしたのが思い出される。

我々団塊の世代は物心がついた頃から、戦後復興、経済成長とともに広島、長崎に原爆が落とされた後の惨状についての写真や、被爆手記などの情報を数多く目にしてきた。そして、アメリカの太平洋における水爆実験、ソビエトの原水爆実験がノバヤゼムリア島で行われる度に、放射性降下物が日本列島に降ってくるというので雨に濡れないようにとか、さらに中国のロプノールでの実験でも注意を促された。そして圧巻はキューバ危機であった。あれから半世紀、いまだに人類滅亡にもなりかねない核爆弾

を為政者は惨状を知ってか知らずか、着々と開発し続けている。

科学の発達は便利さも追求するが、それが人類滅亡にも力を貸しているようである。地球が誕生して数十億年かけて、重力と大気と水によって、とても生物が住むことのできない環境から、有害なものを地中にとじこめてくれたのを資源と呼び、産業革命以来掘り起こし、あるいはさらに生物に有毒なものを合成してきて環境の悪化はますます進んでいる。ホモサピエンスが地球上の多くの種の絶滅を来す前に、21世紀の世界のリーダー達に解決してもらいたい。

## たんぽぽは国際色豊か

宮崎市 たんぽぽ小児科 やま さき しゅん すけ  
山 崎 俊 輔

私の小児科は清武文化会館の裏手にあり、宮崎大学の木花キャンパスに比較的近いので、大学の留学生の方がお子さんを連れてこられることが多い。

中国出身の方で、日本語を勉強され、漢字とひらがなで問診票をしっかりと書いてくれる方がいる。お子さんの薬を長めに処方してほしいと言われるので理由をお尋ねしたら、週末北海道で学会があるとのこと。冗談で私も行きたいなあと言ったら、「一緒に行きましょう」と誘ってくださり、もちろん、行かなかったのだけど、おみやげまでいただいた。

インド出身の方がいた。いつもファミリーで来られていた。男の子のお母さんは診察中泣

く我が子にいつも、「good boy, good boy」と声かけをしていた。診察が終わると、毎回私が「international friendship!」と言ってその子に握手を求めるのだが、その際私も含めみんなで大笑いしていた。いつの間にか帰国されていた。

バングラディシュ出身の方がいた。母国では教鞭をとっているとのこと。一度、当院の留守番電話にその方の「Hello, Hello」という声が録音されていた。ちなみに、留守電の応答メッセージは「電話相談を希望される方は院長の携帯△△に電話してください」である。

アフリカ出身の方がいる。ご主人は単身赴任中で、お一人でお子さんを連れて来られることが多い。「天使にラブソングを」という映画の主演女優さんを彷彿させる方だ。きっと歌もお上手だろうと思う。私は英会話が苦手なのだが、片言の英語でも通じるようだ？そのお子さんにはこちらの保育園に通うお姉ちゃんがいるので、一緒に来ているときは、そのお姉ちゃんに通訳をしてもらっている。

いろいろな国の子どもたちをここにしながら診察できる。国籍や言語が違っても子どもの泣き声、しぐさ、眼差しそして笑顔は全世界共通なんだと実感させられる。これからもいろいろな国の子どもたちに出会って、自分の英会話力もアップさせていきたいと思う。

## 陰影礼讃

延岡市 長沼医院 なが ぬま こうざぶろう  
長 沼 弘三郎

幼少期、もろもろはみな陽光に映えていた。  
春：レンゲ・菜の花で田畑は一面に覆われ、夏：  
緑一色、ダリア・グラジオス・朝顔に目がう  
ばわれ、秋：コスモス・萩・ススキが風に吹か  
れ、冬：日溜りにつわぶき・水仙の花が咲く。  
まぶしく、外連味のない陽の光を浴びて、春は  
田の花を踏みしだいて、夏は溜池で、秋は近在  
の雑木林で、冬は稲わらの“こづみ”の中で遊  
びほうけた。遠く霧島、尾鈴、鰐塚の山々は藍  
色に澄み、夢追いの毎日だった。大学生になっ  
て帰省の度に列車が宗太郎峠を越すと、日向  
(ひむか)のめくるめく日差しにあてられ“塊の  
原郷”に帰ってきた思いがした。

しかし、かの明光は“やる気”を弛緩させ  
た。のんびりと育って、少しきつければ「よだ  
きい」「のさん」が口癖になり“云わんがまし  
よ”、“ぎすたれ(でしゃばる)するな”と諭され  
展望が開けなかった。

東京オリンピックを境に日本は高度成長期、  
がんばればどうかなる。“いけいけドンドン”  
の調子で世間は“浮かれ景気”。誰も彼もうま  
くいくようで、それを感じとってその後の方向  
はせわしく、“真逆”の生活を送った。

働きづめで年を重ね、気がつけば時はイノ  
ベーション(創造的破壊)の時代。元気な若者が  
リードし、AI(人工知能)に代替されそうな自  
分のような老人は取り残されつつある。そう言  
えば毎日毎日同じことを繰り返しているとし  
心が折れて、“こんなこつしちよって何が残っ  
と”、“どうせしまいはちんぐわらっちゃ”と思

うことが多くなった。この感覚はこの年になっ  
てはじめてわかる類のものだろう。陽は陰って  
きたのだ。

谷崎潤一郎の「陰影礼讃」を読む。陰影とは  
薄っぺらでなく深みのあることを意味し、適当  
な暗さが物事を覆い隠し、奥義をあらわすとあ  
る。まさしく“陰になり日向になり”の老人の  
立場ではないか。老いは翳りなんかじゃなかつ  
たんだ。

折り良く平成25年に宮崎大学附属中学校古希  
記念文集“走馬灯”，平成28年に宮崎大宮高校  
55周年記念誌“蒼天”を編集し、平成28年9月  
から平成29年6月にかけて、東京駅八重洲ギャ  
ラリーでの油彩個展・カルチャープラザのべお  
かの“百彩”コラボレーション展・宮崎県立美  
術館での宮崎大宮高校14回生による作品持ち寄  
りの「蒼天 美術展」を催した。それらは“隠居  
の手慰み”と云えようが、“して、どして一銭  
にもならんこつにこんげひきよせらるっちゃろ  
かい”。

カット

## 初アユ釣り考

宮崎市 ゆ げ たつ お  
弓 削 達 雄

例年 5 月に入ると 6 月 1 日のアユ釣り解禁日が待遠しくなる。今年の 5 月は雨量が少なくアユの遡上が気になっていたの、5 月下旬、この 20～30 年来私の唯一のアユ釣り川としている堺川の様子を見に行った。堺川は青井岳から田野町の裏(西側)を下り高岡町山下の大淀川に流れ出る溪流である。山下から堺川に降りたが、やはり流量は少なく、アユの食み跡も全く見られなかった。今年も昨年と同様アユ釣りの楽しみも半減かなと考えた。昨年の 5、6 月は大雨が降り洪水となってアユは流され、今年とは逆の状態が宮崎県の総ての河川でアユは不漁であった。しばらく川を見ていたが、田野町の裏あたりの溪流も見てみたいと考え、川沿いの林道を約 5 km 程進みその後川沿いから離れ尾鈴に出る林道を 1 km 程上がった所で車を止めた。ここは 30 年程前迄牛牧場であり、広い山上の牧草地であったが今は土砂掘削場となっている。

又、牛牧場横にはやはり 30 年程前迄仲田部落と云う 5～6 軒の家があったが今は荒廃し、その痕跡がわずかに残っているだけである。若く元気であった 40～50 年前はこの時期になるとよく来ていた所である。車から降り溪流迄の約 500 m の山道を草を掻き分けながら下って行くと 2 か所で倒木があり山道が塞がれていた。何とか通り抜け 20 数分かけて下の溪流へ降り立ったが、やはり流量は極端に少なくアユの食み跡も見当らなかった。ここではっきり今年の初アユ釣りは雨が降る迄待とうと考えた。6 月に入り待ちに待った雨が 6 日、7 日の両日に降り河川も潤ったかなと考え、6 月 13 日の早朝今年の初アユ釣りに出た。元牧場跡に車を止め綾の養魚場から買って来たオトリアユにしっかりと酸素を与えながら荒れた山道を下って行った。多くの釣果を期待しながら溪谷に降り立ったが考えていたより流量は少なく、アユの食み跡も見られなかった。しかしここまで来た以上は数尾でも釣って帰りたいと考えオトリアユを出した。

### お知らせ

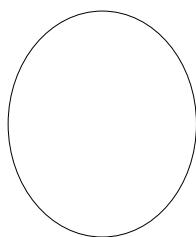
## クールビズについて

県医師会では、地球温暖化防止に向け、平成 29 年 5 月 1 日より平成 29 年 10 月 31 日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ常識的な判断による夏の軽装(クールビズ)の実践に取り組みます。

会議等の場合でも軽装(ノーネクタイ・半袖等)で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

## 就 任 挨 拶

## 宮崎大学医学部教授就任挨拶

発達泌尿生殖医学講座小児科学分野 教授 もり 盛 たけ 武 ひろし 浩

平成29年 7 月 1 日付けで、宮崎大学医学部発達泌尿生殖医学講座小児科学分野教授を拝命いたしました盛武浩と申します。私は日向市で生まれ、3歳から宮崎市で育ち、平成5年に14期生として宮崎医科大学を卒業しました。学生時代はバスケットボール部に所属し、鹿屋の大学に進学したのではないかと勘違いする程、部活動主体の生活を送りました。卒業後の進路について第2病理学講座教授で恩師の河野正先生にご相談したところ「小児科医を目指すのであれば本学に残って頑張りなさい」とご助言を受け入局を決めました。

平成5年7月に第2代教授として小児がんがご専門の杉本徹先生が赴任されました。宮崎医科大学医学部附属病院、県立宮崎病院、都農町国民健康保険病院、済生会日向病院にて一般小児科を学んだ後、研修中に担当した急性骨髄性白血病患児が造血幹細胞移植施設に紹介後に亡くなったという体験が大きな契機となり、サブスペシャリティを血液・腫瘍と決め、平成8年に移植の勉強目的に1年間、国立病院九州がんセンターに国内留学しました。平成9年以降現在まで、第3代教授の布井博幸先生のお許しを得て平成16年から米国に留学させていただいた3年を除き、宮崎大学医学部附属病院に勤務し県内唯一の日本小児血液・がん学会専門医・指導医として、がんの子ども達の診療を中心に行ってきました。また平成20年より日本小児がん研究グループ急性骨髄性白血病委員として全国統一プロトコルの作成や解析を行っています。当医局には血液・腫瘍以外に腎臓、神経、循環器、内分泌・代謝、感染・免疫・膠原病のサブスペシャリティが存在します。既存のグ

ループの更なる充実に加えて新規グループの立ち上げにも力を注いでいきたいと思います。

研究では日常診療で遭遇する既知疾患に当てはまらない未知病態を解明すること、既存治療法では助ける事が困難な疾患への新規治療法開発を目標としています。小児白血病が兄弟に発症した珍しい家系の経験から全国から5家系の検体を収集し家族性小児白血病の網羅的ゲノム解析を行いました。本研究は文部科学研究費新学術領域研究ゲノム医科学推進支援課題に採択され、兄弟に共通する生殖細胞変異を見出しその機能解析を行っております。また、米国で自ら作製した受動輸送体遺伝子のノックアウトマウスを日本に持ち帰り、現在も胎盤、脳、血液の機能解析を続けています。これからは多岐にわたる小児疾患の病態解明に向けて、医局員のリサーチマインドを醸成させながら共に努力したいと思います。

教育は医学の根幹になる部分ですので最重要課題として取り組んで参りたいと思います。現在、全国医学部でグローバル・スタンダードに準拠した医学改革が行われている最中で、なるだけ学生の負担を軽減できるように努力しながら、小児科の魅力・醍醐味を味わってもらいたいと思います。宮崎県の小児医療を維持、更に発展させていくためには、新規入局者の確保が必須です。教室の標語として「和と切磋琢磨」をあげて、和気あいあいとした中にも医局員同士が刺激し合いお互いの個性や能力を更に伸ばしていける教室へと育てていきたいと思います。そして学生や前期研修医の皆さんに小児科医を目指すのであれば宮崎に残って頑張りたい、と入局してもらえるのが最終目標です。

最後になりましたが、宮崎県医師会の先生方には今後とも変わらぬご指導ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。



## あなたできますか？

－平成28年度 医師国家試験問題より－

(解答は30ページ)

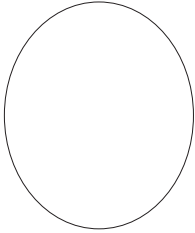
- 1 心臓腫瘍について誤っているのはどれか。
  - a 粘液腫の頻度が最も高い。
  - b 粘液腫は左房に好発する。
  - c 粘液腫は脳塞栓の原因となる。
  - d 原発性腫瘍は転移性腫瘍より頻度が高い。
  - e 原発性悪性腫瘍の5年生存率は約80%である。
- 2 高血圧性心疾患の患者が、肺水腫を急激に発症し、急性心不全と診断された。洞性頻脈で血圧は170/100mmHgである。浮腫などの体液貯留を認めない。  
呼吸管理とともにまず行う治療はどれか。
  - a 利尿薬の投与
  - b ジギタリスの投与
  - c 血管拡張薬の投与
  - d ドブタミンの投与
  - e 生理食塩液の急速輸液
- 3 聴診上Wheezesのある患者の病態として気管支喘息よりうつ血性心不全を疑わせる所見はどれか。
  - a IV音の出現
  - b 咳嗽の増加
  - c 頸静脈の虚脱
  - d 呼吸数の増加
  - e 起坐呼吸の出現
- 4 ワルファリンについて正しいのはどれか。
  - a 直接トロンビン阻害薬である。
  - b プロテインCの作用を増強する。
  - c 納豆はワルファリンの作用を増強する。
  - d 重篤な肝障害の患者では効果が減弱する。
  - e 薬効のモニタリングにPT-INRを用いる。
- 5 冠動脈について誤っているのはどれか。
  - a 左回旋枝は側壁および後壁を灌流する。
  - b 右冠動脈は前室間溝に沿って走行する。
  - c 冠血流は収縮期よりも拡張期に多く流れる。
  - d 左右の冠動脈はそれぞれValsalva洞から起始する。
  - e 左冠動脈は主幹部から左前下行枝と左回旋枝に分かれる。
- 6 体静脈圧が上昇して浮腫が生じるのはどれか。
  - a 右心不全
  - b 肝硬変
  - c 甲状腺機能低下症
  - d 敗血症
  - e 微小変化型ネフローゼ症候群
- 7 78歳の男性。呼吸困難を主訴に夜間救急外来を受診した。呼吸困難のために病歴は十分に得ることができない。家族の話によると、5年前から自宅近くの診療所で在宅酸素療法が導入されており、1 L/分の酸素を吸入している。来院時は、酸素ボンベを持参している。意識は清明。体温36.8℃。脈拍96/分、整。血圧130/80 mmHg。呼吸数20/分。体格はやせ型。呼気時に肥大した胸鎖乳突筋が特に目立ち、口すぼめ呼吸をし、喘鳴が著明である。動脈血ガス分析(鼻カニューラ1 L/分 酸素投与下): pH7.35, PaCO<sub>2</sub>55 Torr, PaO<sub>2</sub>60 Torr, HCO<sub>3</sub><sup>-</sup>30mEq/L。  
酸素療法による適切な初期対応はどれか。
  - a リザーバー付マスク10 L/分
  - b リザーバー付マスク 5 L/分
  - c 鼻カニューラ 5 L/分
  - d 鼻カニューラ1.5 L/分
  - e 鼻カニューラ0.5 L/分
- 8 中心静脈カテーテルに関連する合併症として可能性が最も低いのはどれか。
  - a 血 胸
  - b 敗血症
  - c 穿刺部血腫
  - d 静脈血栓症
  - e 心タンポナーデ
- 9 62歳の男性。呼吸困難を主訴に来院した。1か月前に呼吸困難が出現し、増強してきた。喫煙は30本/日を40年間。体温36.4℃。脈拍104/分、整。血圧132/86mmHg。呼吸数24/分。SpO<sub>2</sub>92%(room air)。心音に異常を認めない。呼吸時に胸郭の動きに左右差を認める。左胸部の打診は濁音を呈し、聴診では左肺の呼吸音が減弱している。  
考えられるのはどれか。
  - a 気 胸
  - b 肺 炎
  - c 肺気腫
  - d 無気肺
  - e 肺塞栓
- 10 植込み型除細動器が適応となるのはどれか。  
2つ選べ。
  - a 心室細動
  - b 無症候性の心房粗動
  - c 薬物不応性の心房細動
  - d 胸痛を伴う発作性上室性頻拍
  - e 失神を伴う器質的心疾患による持続性心室頻拍

## エコー・リレー

(505回)

(南から北へ北から南へ)

## 友

宮崎市 迫田病院 <sup>ど</sup>土 <sup>い</sup>居 <sup>よし</sup>芳 <sup>え</sup>枝

先日、高校時代の友が6人集まり旅行にでかけた。

きっかけは、友の旦那様の訃報だった。四十九日、初盆が済んだころ地元を離れている友人同志で弔問へ伺った。病気がわかってから、約10か月の闘病であったと知った。

その闘病と看病を思い胸が痛んだ。集まったみんなもそれぞれ感じるものがあったのだと思った。短い時間に話が進み、その場に居合わせた5人で旅行しようという話になった。リーダーシップをとる友がいて(訃報を皆にしらせたのも彼女)実現することになった。その彼女がもう一人声をかけ、総勢6名の参加となった。それぞれの、会わなかった時間はさまざまであったが、そんなに長く会っていないとは思えないほど会話ははずみ、話題提供もたくさんあった。

なかでも、もっとも印象深く考える機会を与えてくれたのは、ひとりの友が覚えていた高校時代の数学の先生のことばだった。学校新聞のようなものに載せられていたようで、その通信に目を留めていたのは彼女だけであり、残り5名は皆新鮮な思いで受け止めた。

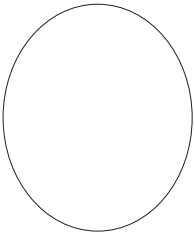
次のような文章であった。

「未来を語ることばのどの一つにも「うそ」の影はない。まだ実現されていないことについて、語るのだから。しかし、未来について語るのは、自らに宣言を発することでしょう。そして宣言は、そのたびに、ずしんとひびいてくる責任の重さが、気持をくすぐります。未来について語ることを止めないで下さい」 ※全文のまま

高校時代を振り返り、周りの友人にひっぱられて進んできたことを実感し、感謝し、先生のことばを胸に刻んだ。先生はお元気だろうか？と皆で思った。

[次回は、宮崎市の牧原 真治先生をお願いします]

## 西米良の地で

西米良村 国民健康保険 <sup>かた</sup>片 <sup>やま</sup>山 <sup>よう</sup>陽 <sup>へい</sup>平  
西米良診療所

西都市杉安から一ツ瀬川を遡上し車で1時間、西米良村の中心地区である村所地区がある。夏は鮎釣りの客が縄張りを確認し合うように間隔をあけて川中に立っているのが風物詩だ。村所の診療所に最

初に赴任してから8年が経つ。この間、異動で他市町村でも勤務したが、再びこの地にかかりつけ医として戻った。

宮崎市内の中学に通っていた頃の夏休みに、級友とその祖父母が暮らす西米良村を訪れた。万緑に圧倒され、沢でもがくように泳ぎ(台風後だったから、たいそう怒られた)、BBQで歓待してもらって大に楽しんだ。朝は夏でも寒く、驚くほど。濃い橙色のたわわに生ったほおづきを土産に抱え、バスに揺られ夢うつつで帰路についた。

時は流れ進学し、僻地のかかりつけ医を目指した。その僻地最初の赴任先が西米良であった。学生当時お世話になった方々を診させていただいたり、見送る立場にもなり、地域との関わりは増えた。夜は近くの温泉に通っているが、遅い時間は地元住民ばかりで、色んな話が聞ける。もちろん相談も受けるし、昼間診た患者を夜に再診することもしばしばある。子ども達などは診察の時よりリラックスしてよく喋ってくれて面白い。

西米良は県内最少1,200人ほどの村で、人口を維持するための取組みや、そのための共通理解が浸透しているようだ。地元ではないが、“この地域のために”との思いは年々増し、かかりつけ医として、新たな人を迎え入れる事にも喜びや責任感を感じている。

[次回は、国富町の星子 新理先生をお願いします]

## 宮崎県感染症発生動向 ～ 7 月 ～

平成29年 7 月 3 日～平成29年 7 月30日(第27週～第30週)

## ■全数報告の感染症

- 1 類：報告なし。
- 2 類：○結核13例(男性 4 例・女性 9 例)：保健所別報告数を【図 1】に示した。病型別報告数を【表 1】に示した。年齢別報告数を【表 2】に示した。
- 3 類：○腸管出血性大腸菌感染症 2 例：宮崎市，高鍋(各 1 例)保健所管内から報告があった。
- ・0～4 歳で，主な症状として水様性下痢，発熱がみられ，原因菌の O 血清型は O103(VT1 産生)である。
  - ・50 歳代で，無症状病原体保有者であり，原因菌の O 血清型は O157(VT2 産生)である。
- 4 類：○重症熱性血小板減少症候群(SFTS) 1 例：日南保健所管内から報告があった。70 歳代で，主な症状として発熱，下痢，全身倦怠感，血小板・白血球減少がみられた。また，ダニの刺し口は確認できず，海外渡航歴はない。
- 5 類：○アメーバ赤痢 1 例：宮崎市保健所管内から報告があった。60 歳代男性で，病型は腸管アメーバ症である。主な症状として粘血便，大腸粘膜異常所見がみられた。
- ウイルス性肝炎 1 例：宮崎市保健所管内から報告があった。30 歳代の女性で，病型は C 型である。主な症状として肝機能異常，黄疸がみられた。
  - カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1 例：宮崎市保健所管内から報告があった。60 歳代で，主な症状として肺炎がみられ，原因菌は *Enterobacter cloacae* である。
  - クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例：宮崎市保健所管内から報告があった。80 歳代で，病型は古典型クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)で診断の確実度はほぼ確実であり，主な症状として，進行性認知症，ミオクロヌス，小脳症状，視覚異常，記憶障害，精神・知能障害，痙攣性対麻痺がみられた。
  - 破傷風 2 例：宮崎市保健所管内から報告があった。
  - ・40 歳代で，主な症状として筋肉のこわばり，開口障害，嚥下障害等がみられた。破傷風のワクチン接種歴は不明である。
  - ・60 歳代で，主な症状として筋肉のこわばり，開口障害，嚥下障害，発語障害がみられた。破傷風のワクチン接種歴は不明である。
  - 梅毒 1 例：宮崎市保健所管内から報告があった。40 歳代男性で，病型は早期顕症梅毒(I 期)である。主な症状として硬性下疳がみられた。

## ■ 5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は4,548人(定点あたり134.0)で，前月の113%，例年の133%と増加した。

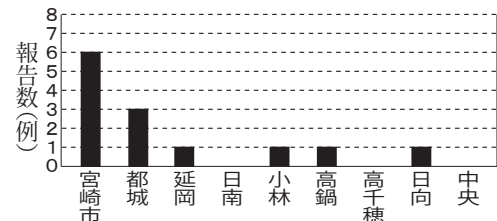


図 1 結核 保健所別報告数

表 1 結核 病型別報告数(例)

|                   |   |
|-------------------|---|
| 肺結核               | 5 |
| 肺結核及びその他の結核(粟粒結核) | 1 |
| その他の結核(結核性胸膜炎)    | 1 |
| 無症状病原体保有者         | 4 |
| 疑似症患者             | 2 |

表 2 結核 年齢別報告数(例)

| 年齢   | 報告数(人) |
|------|--------|
| 30歳代 | 1      |
| 40歳代 | 1      |
| 50歳代 | 1      |
| 60歳代 | 1      |
| 70歳代 | 2      |
| 80歳代 | 6      |
| 90歳代 | 1      |

## 前月との比較

|                | 2017年 7 月 |          | 2017年 6 月 |          | 例年との比較 |
|----------------|-----------|----------|-----------|----------|--------|
|                | 報告数(人)    | 定点当たり(人) | 報告数(人)    | 定点当たり(人) |        |
| インフルエンザ        | 20        | 0.3      | 98        | 1.7      |        |
| RSウイルス感染症      | 52        | 1.4      | 24        | 0.7      |        |
| 咽頭結膜熱          | 115       | 3.2      | 137       | 3.8      |        |
| ※溶レン菌咽頭炎       | 311       | 8.6      | 572       | 16.0     |        |
| 感染性胃腸炎         | 1,084     | 30.1     | 1,359     | 38.0     | ★      |
| 水痘             | 76        | 2.1      | 83        | 2.3      |        |
| 手足口病           | 1,910     | 53.1     | 1,151     | 32.2     | ★      |
| 伝染性紅斑          | 18        | 0.5      | 16        | 0.5      |        |
| 突発性発しん         | 157       | 4.4      | 187       | 5.2      |        |
| 百日咳            | 1         | 0.0      | 1         | 0.0      |        |
| ヘルパンギーナ        | 725       | 20.1     | 219       | 6.1      | ★      |
| 流行性耳下腺炎        | 22        | 0.6      | 39        | 1.1      |        |
| 急性出血性結膜炎       | 0         | 0.0      | 0         | 0.0      |        |
| 流行性角結膜炎        | 57        | 9.5      | 55        | 9.2      |        |
| 細菌性髄膜炎         | 0         | 0.0      | 0         | 0.0      |        |
| 無菌性髄膜炎         | 0         | 0.0      | 0         | 0.0      |        |
| マイコプラズマ肺炎      | 0         | 0.0      | 3         | 0.4      |        |
| クラミジア肺炎        | 0         | 0.0      | 0         | 0.0      |        |
| 感染性胃腸炎(ロタウイルス) | 0         | 0.0      | 9         | 1.3      |        |

★ 例年同時期(過去 3 年の平均)より報告数が多い

※ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

前月に比べ増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザとA群溶血性レンサ球菌咽頭炎である。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は感染性胃腸炎、手足口病及びヘルパンギーナである。

感染性胃腸炎の報告数は1,084人(30.1)で前月の約0.8倍、例年の約1.2倍である。日南(59.7)、小林(44.0)、中央(41.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1～2歳が全体の約4割を占めた。

手足口病の報告数は1,910人(53.1)で前月の約1.7倍、例年の約2.7倍である。日南(88.3)、小林(86.7)、日向(71.3)保健所からの報告が多く、年齢別では1～2歳が全体の約6割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は725人(20.1)で前月の約3.3倍、例年の約1.1倍である。日向(52.3)、延岡(45.8)、日南(24.7)保健所からの報告が多く、年齢別では1～2歳が全体の約6割を占めた。

## ■月報告対象疾患の発生動向

＜2017年 7 月＞

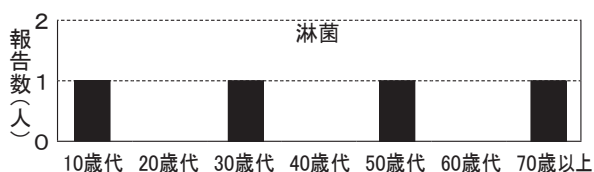
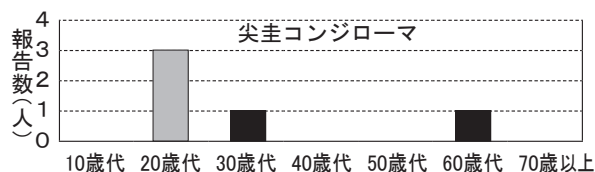
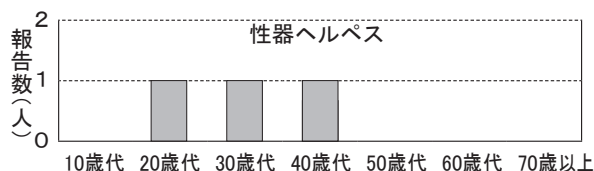
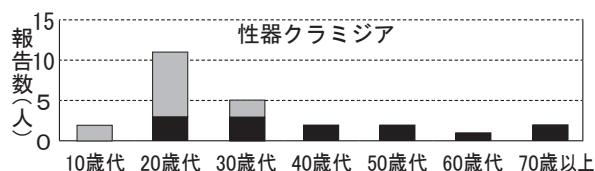
### □性感染症

#### 【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は37人(2.9)で、前月比93%と減少した。また、昨年7月(2.2)の128%である。

#### 《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数25人(1.9)で、前月と同率、昨年7月の約1.3倍である。20歳代が全体の約4割を占めた(男性13人・女性12人)。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数3人(0.23)で、前月の0.6倍、昨年7月と同率である(女性3人)。
- 尖圭コンジローマ：報告数5人(0.38)で、前月の5.0倍、昨年7月の約1.7倍である(男性2人、女性3人)。
- 淋菌感染症：報告数4人(0.31)で、前月の約0.4倍、昨年7月と同率である(男性4人)。



■男 ■女

### □薬剤耐性菌

#### 【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は21人(3.0)で前月比100%と横ばいであった。また昨年7月(2.7)の約1.1倍である。

#### 《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数20人(2.9)で、前月と同率、昨年7月の約1.1倍である。70歳以上が全体の約6割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人(0.14)で、前月と同率である。年齢は70歳以上である(昨年7月報告なし)。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

(宮崎県衛生環境研究所)

## ■病原体検出情報(微生物部)

|    | 検出病原体                                            | 件 |
|----|--------------------------------------------------|---|
| ウ  | ライノウイルス                                          | 6 |
|    | パラインフルエンザウイルス 3 型                                | 1 |
|    | ノロウイルス G II                                      | 1 |
| イ  | ヒトヘルペスウイルス 6                                     | 3 |
|    | コクサッキーウイルス A6 型                                  | 1 |
|    | コクサッキーウイルス A10 型                                 | 3 |
| ス  | インフルエンザウイルス AH3                                  | 1 |
|    | アデノウイルス 1 型                                      | 2 |
| 細菌 | <i>Salmonella</i> Thompson (07:k:1, 5)           | 1 |
|    | <i>Salmonella</i> Braenderup (07:e, h:e, n, z15) | 1 |
|    | <i>Salmonella</i> Singapore (07:k:e, n, x)       | 2 |
|    | EAggEC (086a:HNM)                                | 1 |
|    | <i>Clostridium perfringens</i> A 型               | 1 |

## 各都市医師会だより

### 西 臼 杵 郡 医 師 会

高千穂町国保病院では平成27年度より研修医の1か月間の地域研修を受け入れている。高千穂での地域研修は県内でも人気があり、先輩たちの勧めもあって選ばれるケースが多い。宮崎大学医学部附属病院だけでなく少数ではあるが熊本大学医学部附属病院からも参加されている。これも総合内科医の押方先生により1か月間、午前と午後に分けて細かいスケジュールが組んであり、内科外来や訪問診療、訪問看護、訪問リハ、乳児健診や予防接種、地域連携室や地域包括支援センターでの研修、特別養護老人ホームや老健施設での研修、精神科病院(国見ヶ丘病院)や開業医研修(佐藤医院)など盛りだくさんの内容が好評のようである。

当院での1日研修は午前中は外来、午後からは地域へ5、6軒の訪問診療、棚田が多い細い山道を通り超高齢者である患者さんの家に訪問する。肢体不自由で老々介護の方や独居生活で在宅酸素療養中の方が満面の笑みで迎えてくれる。患者さんを中心に家族との笑顔をまじえたコミュニケーションが楽しい。

在宅療養では看取るケースも増えており、当地区でのマンパワー不足は深刻だが訪問看護師やケアマネ、ヘルパーなど多職種連携は必須である。医療・介護連携の目的は生活支援であり、地域医療には総合医としての力を伸ばす環境が大いにあると思う。研修医の中には地元出身の方がおられ将来、高千穂町で勤務されることを期待している。(佐藤 元二郎)

### 宮 崎 市 郡 医 師 会

共同利用施設についての情報交換や討議を行う九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会が7月22日と23日に福岡にて開催されました。今回、分科会において特に興味深かったのは、下関市医師会が一般社団法人へ移行することを機に、医師会病院会計の赤字が露見し、平成28年度を以って休止されたという発表でした。共同利用施設も設立当初の構造に胡坐をかくことなく、時流に乗った運営を行っていくことの必要性を痛感させられました。本会においては、今後とも会員の先生方の思いと乖離しないような医師会病院運営がなされるように心掛けていく所存です。(首藤 謙二)

### 都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

平成29年6月に都城市長より都城夜間急病センター当直医師に、都城圏域の夜間救急医療に貢献している医師として、認定証が交付されました。本医師会は、都城夜間急病センター当直を、本医師会有志や大学からの派遣医師が担

当している現状を市民へ広報し、市民の適切な夜間急病センター利用を促しています。都城夜間急病センター当直医の確保等、未解決問題が山積ですが、年間を通しての準夜～深夜の夜間急病センターの運営維持を、本医師会全員で協力し合っています。(伊達 晴彦)

### 延 岡 市 医 師 会

私たちは夜間急病センターを県立病院の「防波堤」と考えています。年間約1万人が利用しておりますが医師不足、高齢化は当地でも例外ではありません。

福岡市では非医師会員が3分の1だそうです。延岡市医師会はまさに一致団結！地域を支える覚悟の先生が多いと思います。それは亡くなるまで診療にあたられた先人の姿をみてきたからだと思います。8月より宮崎大学消化器内科からも応援をいただけることになりました。

今後も研修指定病院などに働きかけ、この体制が継続できるよう尽力したいと思います。

(赤須 郁太郎)

## 日向市東臼杵郡医師会

本年度の学童心臓検診事業も、学校医の先生方のご協力により、7月22日(土)を最後に滞りなく終わりました。当医師会の学童心臓検診は、心臓検診委員の先生方を中心にして、一次検討会から三次検討会まで実施しています。それぞれの学校医の先生方も、毎回出会していただき感謝しています。今年度は一次検討会の対象者160名、二次検討会の対象者103名、三次検討対象者は8名でした。検討会では、医療や経過観察を必要とする症例を発見し、管理基準に基づき適切な指導を行うとともに、過度の運動制限や無用な生活制限を解除する等の検討も行っています。三次検討会では、宮崎市の高木小児科の高木先生に同席していただき専門医療機関の受診の必要性の判断を仰ぎ、受診の指導を行っています。心臓検診は突然死の予防等、児童生徒にとって重要な役割を担っています。学校医の一人として、これからも児童生徒が健やかな学校生活を送られるよう支援していきたいと思っています。(渡邊 康久)

## 児 湯 医 師 会

高鍋町の三師会で毎月1回、竹林会というゴルフコンペが行われています。次回で428回です。40年以上続いているコンペです。今では都農町、川南町、新富町、宮崎市佐土原町、西都市の医師、歯科医師も仲間となり参加しています。年2回懇親会を行行情報交換に役立っています。この会が40年以上継続出来ているのは、最初から幹事を一人で引き受けていただいて、80才を超えた今も元気にラウンドされているM先生のお蔭です。竹林会員全員で深謝しています。(蟻塚 高生)

## 西都市西児湯医師会

会員皆様が周知のとおり、各医療圏の保健所を中心に“地域医療構想調整会議”が開催されています。8月14日には県医師会において調整会議の進め方に関する協議会がありました。私も同じ二次医療圏の永友和之児湯医師会長、岩本直安高鍋保健所長と共に参加させていただきました。

ました。当医療圏においては、回復期病棟を中心に調整が必要なことは以前より理解はしていますが、在宅医療を推進するためにもまだまだ時間を要する問題で、近隣の医師会と対話調整の必要性を感じた時間でした。(松本 英裕)

## 南 那 珂 医 師 会

先日、九州大学循環器内科筒井裕之教授を迎えての講演会があり専門医でない私も拝聴させていただきました。心不全について①収縮型心不全(HFrEF: HF with Reduced EF ヘフレフ) EF<40%, ②拡張型心不全(HFpEF: HF with Preserve EF ヘフペフ) EF>50%, 新たに③(HF rec EF: HF and Improved or Recovered EF ヘフレクエフ)と舌を噛みそうな表現で質疑応答があり途中で何度も見直す私でした(照明が暗くmemoしてましたが表記に間違いがあれば申し訳ありません)。心不全治療の現況についてヘフペフ、レクエフ(私が混同してパフェまででてくる有様でした)以外は非常に判りやすい内容でした。同講演内で宮崎市郡医師会病院よりARB+Ca拮抗剤+利尿剤を併用しても血圧140/90overで治療抵抗性の高血圧の患者についても紹介してくださいとの(開業を一人ですてると)心強い言葉もありました。

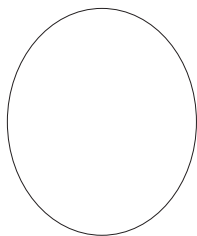
認知症サポート医研修(講義以外に演習もあります)、CKDサポート研修の日程案内もあり今後このような講演出席も含め地域医療に少しでも貢献できればと思っています。(河野 秀一)

## 西 諸 医 師 会

今年3月の改正道路交通法の施行に伴い、認知症が疑われる高齢者の運転免許更新に際し、診断書が必要になりました。幸い、まだ診断書の作成を依頼されたことはありませんが、私の住むえびの市では数年前、下校中の小学生が橋の上で認知症高齢者が運転する車にはねられるという痛ましい事故があり、市民の目も厳しくなっています。かかりつけ医にも診断書の作成が求められていますが、責任は重大であり、やはり専門の医療機関で作成してもらうのが最良ではないのかと思っています。(前田 和伸)

## 宮崎グルメ探訪

## No. 2



## 勝しん

宮崎市 宮崎市郡医師会成人病検診センター おのえ こうじ 尾 上 耕 治

中央通り南端，ラディッシュのすぐ近くにある割烹・小料理に分類されているお店です。食ベログによれば，宮崎県日本食No. 3にランク(2017/8/3時点)されていますが，私の中ではダントツ1位です。いずれにせよ有名店なので私が改めて紹介する必要はないのかもしれませんが，自分が一番気に入っているお店が妥当と思い書かせていただきます。

お店に入ると，カウンター席が8席あります。店主によれば6人までがよいそうです。奥には8人程入る座敷とその間に3～4人用の小さい個室があり，2つは繋がっており合わせると12人まで入ります。入店は8時までで，日曜日

と月曜日はお休みです。予約しないとまず無理で，予約もなかなか取れない時があります。

私がよく頼む料理は6,000円のコース料理です。お通し，刺盛り，焼き物，アラ煮，オマールエビのスタミナ焼き，サイコロステーキ，貝汁，おにぎりそしてデザートとでできます。どれをとっても申し分なく最高で超一流といった感じです。特に刺盛りは，クエや雲丹など高級な素材が数多く(7～10種類ほど)あり，新鮮で豪華です。美味しすぎて「たまらんな」と満面の笑みを浮かべて幸せのひとつきを過ごさせていただきます。勝しんさん，いつも美味しい料理ありがとうございます。

## 「宮崎グルメ探訪」原稿募集

「宮崎グルメ探訪」の原稿を募集いたします。

会員の先生方は宮崎の美味しいお店をたくさんご存知のことと思います。

そこで，お気に入りのお店をご紹介ください。お店の雰囲気やお薦め料理，お店での思い出話など，何でも結構です。ご投稿をお待ちしています。

原稿文字数：500字程度 写真：2枚まで

原稿送付先：宮崎県医師会 広報委員会 宛

〒880-0023 宮崎市 和知川原1-101

FAX 0985-27-6550 TEL 0985-22-5118

メール [genko@miyazaki.med.or.jp](mailto:genko@miyazaki.med.or.jp)

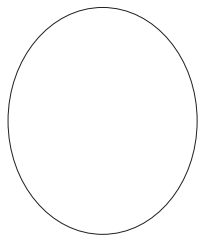
※原稿・写真とも出来ればファイルでいただければ幸いです。

※写真の掲載は白黒となります。

※予めお店へ了承を得ていただきますようお願いいたします。

◎掲載については，広報委員会にご一任ください。

## メディアの目



## 老いは先達に聞くことから

毎日新聞 宮崎支局長

ほう まん し ろう  
宝 満 志 郎

長らく毎日新聞の九州・山口の地方版に「はがき随筆」という読者の投稿欄がある。いわゆる身辺雑記を250字程度にまとめ、投稿してもらっている。日常生活を通した喜怒哀楽を綴っているが、投稿者も高齢の方が多く、「老」がテーマになる場合も多い。

80代の女性の方は、農作業、料理、病院通いなどの日常生活を淡々と描き「忙しいから生きて行ける」という。80代の男性の方は「心がもろいのは18歳、骨がもろいのが81歳」などネットでも話題になっているらしい「18歳と81歳」の自虐ネタを紹介し「全部、心当たりがあり、身につまされた」と落ちをつけた。

私は50代前半の若輩者。まだ、老いの感覚はないが、近い将来間違いなく老いは来るだろう。“たくましい”お年寄りの話は励み(?)になる。

認知症の肉親を題材にしたものもあった。高齢化が進む日本の中で、社会問題となっているのはご承知の通りだ。

認知症の高齢者は2012年時点で推計462万人、2025年には675万～730万人になるという試算もある。65歳以上の5人に1人が認知症になる計算だ。

経済的な問題もある。社会的コストは2014

年の推計で、年間14兆5,000億円。内訳は、入院・外来医療費 1兆9,000億円▽施設・在宅介護費 6兆4,000億円▽家族らによるケア 6兆2,000億円(要介護者1人当たり382万円)……などだ。家族らによるケアは無償だが、労働対価とするとこれほど巨額になる。いかに、家族の負担が重いかがわかる。

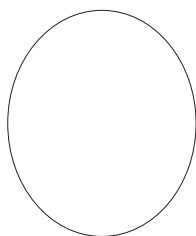
認知症の母との交流をはがき随筆に綴った女性も当初は介護に大変だったようだ。しかし、施設に入れ、子どものように天真爛漫になっていく母を受け入れ、最後は、穏やかな日々を過ごすことができたという。「人は最後、子どもに戻っていく」と言われるが、そうだったのだろう。

この話を聞いて自分が抱いていた認知症のイメージが変わった。周囲のサポートを整えばの話で、当事者の人生観、死生観もさまざまで、若年性認知症もありそれぞれ症状が違うだろうから軽々に言えないが、人の終末のあり方の一つではないかと……。

「老」と「死」は人間の永遠かつ最大のテーマ。そう大げさに考えなくても、まずは、先達の話を知ることによって何か準備を始められるかもしれない。

## 国公立病院だより

### 国民健康保険諸塚診療所



きりむら やすひろ  
桐村 泰廣 所長

ごあいさつ申し上げます。  
昨年の12月までは宮崎県  
日南市の病院で20年間地域  
医療に携わってきました。  
南那珂医師会の先生方には  
随分とお世話になりました。  
書面をお借りしてここ  
に感謝申し上げます。

今後は今まで以上に「地域を診る医師」として  
ここ国民健康保険諸塚診療所で、保健・介護・  
福祉・医療に携わる所存です。

諸塚村は人口が1,660人足らずで約80の集落  
に分かれています。限られた医療資源をどう生  
かして、どのような医療をすべきなのか手探り  
の中での船出となりました。

#### 救急医療について

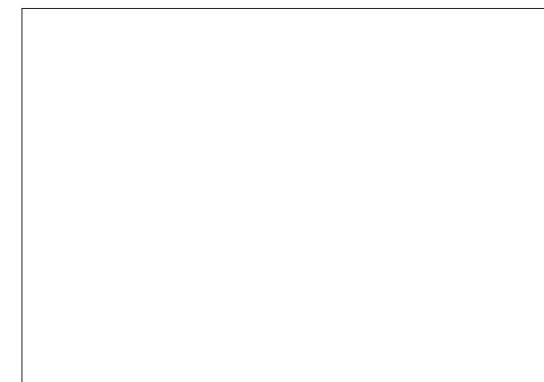
救急要請があると村役場の職員とナースが救  
急車に乗り込んで依頼先に出動します。患者の  
状況によってはドクターも同乗します。諸塚村  
は坂道が多く平坦な場所と言えば小中学校のグ  
ランドぐらいです。諸塚村を横切る3ヶ所国道  
は対向1車線です。急患者の自宅までは国道  
や県道そして枝道の村道を通ります。対向車が  
来るとどちらかが道を譲らないと通れません。  
サイレンを鳴らしながらクネクネした村道を飛  
ばすため車酔いします。

この地域の救急通報の特徴として高エネル  
ギー事故があります。

自動車・重機による閉じ込め・横転事故、  
オートバイ事故、高所からの転落事故、山間部  
での滑落事故などであり、ドクターヘリを要請  
することが多くあります。

#### 限られた医療資源の中で

国民健康保険諸塚診療所は村内唯一の医療機  
関であり、内科・外科・小児科の3科を標榜し  
19床の一般病棟をもつ小規模診療施設です。



CT検査・エコー検査・内視鏡検査・緊急採血  
検査などが可能ですが、小児科から高齢者まで  
24時間体制で自治医科大学卒業の義務年限内の  
先生と2人で診療にあたっています。

20年以上にわたり諸塚村の医療に従事された  
黒木重三郎先生は名誉所長として在宅医療を中  
心にお願いしています。

もともとは旧諸塚村国民健康保険病院として  
昭和30年に開設され、平成24年4月1日に国民  
健康保険諸塚診療所として現在の場所に新築移  
転しました。

一日の診療は、午前は外来診察を中心に行  
い、午後からは訪問診療、職場・学校検診、乳  
幼児予防接種、特別養護老人ホームの往診など  
を行います。

また、多職種とのネットワーク会議や認知症  
初期集中支援チーム協議会を月に一度開催しま  
す。会議では生活・社会支援の必要な村民をリ  
ストアップし意見交換します。また、九州保健  
福祉大学教授の小川敬之先生を招いて認知症の  
早期発見とその対策をこの協議会で行います。  
具体的な活動として、<じいばschool>を立ち  
上げ軽度認知症患者による「しゃもじの研磨作  
業」や「ごみ袋の製作」を行っています。これに  
より僅かながらも工賃が得られ楽しみながら認  
知症の予防に成果を上げています。

このように諸塚村ならではの「在宅医療」を介  
護・福祉・医療の関係者が協力し取り組んで  
います。

## 1人当たりの医療費の高さと村外医療機関の利用が多い点

1人当たりの医療費は宮崎県26自治体の中でも上位にあります。問題はその1年間の医療総額の9割が村外医療機関に支払われていることです。脳血管や循環器疾患、整形外科手術、悪性新生物、人工透析、精神疾患は治療のため村外の専門医療機関に依頼しています。

しかしその後のフォロー体制が不十分で村民の多くはそのまま村外の医療機関まで1～2時間かけて通院しています。専門医療機関との連携や村民の信頼が得られる対応でこのような状況を改善していきたいと考えています。村の「かかりつけ診療所」を標榜するには十分とは言えず職員一同一丸の対応が必要と考えます。

## へき地医療を担う人材の確保と育成について

国立社会保障・人口問題研究所が示した人口推計によると、2060年の諸塚村の人口は614人と推定されています。諸塚村がいつまでも諸塚村であり続けるためには、単体で赤字を続けている今の状況を手放しで見ていくわけにはいきません。将来のため医師のみならず医療従事者確保の対策も当然必要になります。

今年の6月にはクリニカル・クラークシップとして6年生の1人が医療実習体験のため研修にきました。今年の8月には宮崎大学医学部と自治医科大学医学部の1・2年生にへき地医療への理解と興味を持たせることを目的に諸塚診療所に体験学習にきました。

厚生労働省は医師の地域偏在解消に向け「地域枠制度」を設けました。それにより毎年宮崎大学医学部は20人の「地域枠」・「特別地域枠」ができ、今後一層の効果を高める制度になることが望めます。

## 今後のへき地医療について

地方大学の医局からへき地への医師派遣が困難な状況の中、自治医科大学卒業医師のへき地への派遣に感謝しています。

彼らは義務年限の間にへき地や県内の基幹病院などで一定の研修を積み重ねています。特にへき地では日常遭遇する疾病や傷害に対してそ

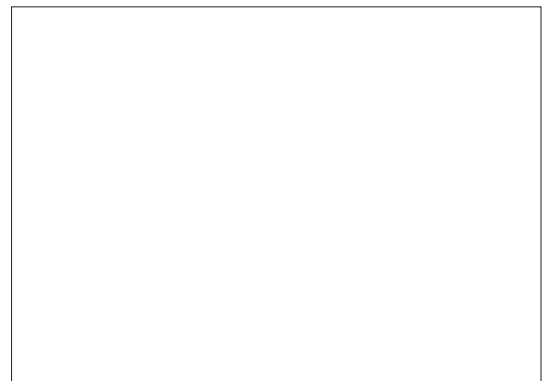
の初期対応に遭遇する機会に恵まれ、さらに地域のニーズを踏まえた疾病の予防・介護・看取りなど保健・医療・介護・福祉活動にも取り組んでいます。この義務年限の間に相当のカリキュラムを修了した若い自治医大卒業医師を「総合診療専門医」として資格取得ができる制度があっても良いのではないかと思います。

宮崎県のへき地医療対策にはバランスのとれた熟年医師？がその医療の中心にすることが大切と考えます。今まで長く勤務医として地域医療に専念されてきた熟年医師？の台頭が望まれます。

## 「人生は後半戦が圧倒的に面白い！」

私は50歳頃マラソンを始めました。フル・ハーフを5年間ぐらい続け、次に始めたのが山登りです。九州の山々を登りその時に撮った風景写真から写真撮影にはまりました。Scuba Divingの資格を取り海の中の撮影も始めました。60歳になった現在では鳥の撮影に夢中です。諸塚村は自然と人が調和した素晴らしい所です。医局のベランダの下には耳川の支流があります。そこをヤマセミ、カワセミなどが飛び、早春にはミソサザイの美しいさえずりに癒されます。

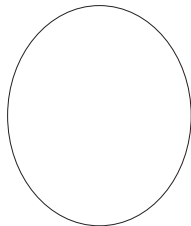
6月にはオオルリ、アカショウビン、サンコウチョウといった夏鳥がやってきました。ベランダに作ったバードフィーダーには何度もヤマガラが餌を食べにきます。そしていつかは森の王者クマタカの雄姿を撮りたいと思っています。



カワセミ 撮影場所：加江田川

## 宮崎大学医学部だより

### 内科学講座 －免疫感染病態学分野－



おかやま あきこ  
岡山 昭彦 教授

内科学講座免疫感染病態学分野は岡山昭彦教授の下、附属病院では膠原病感染症内科、検査部、感染制御部を担当しています。

2006年に開講後、12年目を迎え、昨年12月に開講10周

年記念講演会・祝賀会を開催し、「10年の歩み」も発行することができました。毎年のように少数ですが精鋭の入局者があり、2017年8月現在、医局員は学内13名(高城一郎講師、梅北邦彦講師をはじめとして、教員7名、医員6名)、協力病院出張者は7名で、地域医療に貢献できるよう努力しています。

診療については、膠原病、感染症、関連した肺疾患、不明熱等を中心に、外来、入院とも患者数は年々増加し、先生方から多くの貴重な症例をご紹介いただいているおかげと感謝しております。配分ベッド数は5階東を中心に11床ですが20名を超すこともあり、7階から1階まで附属病院の共通病床を駆けまわっています。また、感染制御部には医師3名が兼務しており、院内のみならず県内の病院と定期的な会合を持ち協力しながら、抗菌薬使用の適正化や地域の感染対策へ貢献できるよう努力しております。

教育については、学生や研修医教育に力を注いでおり、毎年5年生のアンケートで「ポリクリでもっとも有意義であった診療科」において高い評価を得ており、医局員の励みになります。卒後研修についても2016年度に力武雄幹はベスト研修医賞、梅北邦彦はベスト指導医賞を受賞しました。

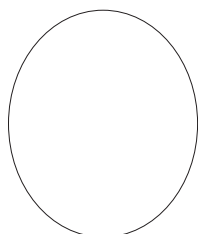
研究については、HTLV-1が膠原病リウマチ性疾患に与える影響について基礎研究と臨床研究の両者に取り組み、2016年3月には厚労・AMED(日本医療研究開発機構)研究班として「診療の手引」を作成、公表しました。また、これらの研究結果をうけて、今年4月よりHTLV-1陽性膠原病リウマチ専門外来を開設しました。さらに宮崎県に多く死亡率の高い重症熱性血小板減少症候群(SFTS)に関する基礎研究も進めています。トピックスとしてはインドからの帰国者から分離したリケッチアが新規のものであることを発見し、英文誌に発表しました。bench-to-bedsideを意識して、今後も宮崎大学でしかできない研究分野を開拓し発展させていこうとしています。

学会活動として、内科学会九州地方会(2012年)、感染症学会西日本地方会(2013年)、九州リウマチ学会(2016年)を主催させていただき、無事終えることができました。多くの先生方の御指導と御協力に深く感謝申し上げます。

当教室では、専門性に加えて全身をバランス良く診ることのできる内科医を育てることを目標としています。また、女性医師がキャリア形成できるようにサポートしたいと考えています。8月には当科初の女性助教も誕生しました。私どもの分野に興味のある若い医師はいつでも歓迎いたしますので、その様な方がおられましたら、是非御紹介ください。

今後も、良き内科医、感染症・膠原病の専門医を育て、県内の先生方との病診連携を深めて、地域医療の充実と社会に貢献ができるよう医局員一同頑張っていきますので、医師会の先生方には益々の御指導、御鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。(医局長 <sup>たかじょう</sup> 高城 <sup>いちろう</sup> 一郎)

## 専 門 分 科 医 会 だ よ り (小 児 科 医 会)



たかやま しゅうじ  
高山 修二 会長

宮崎県小児科医会は、今年5名の新規入会があり現在108名の会員がいます。高村一志，上野満両副会長他13名の幹事と前会長の三宅和昭監事のもと，学術(盛武浩)，医療

保険(高木純一)，予防接種(佐藤潤一郎)，園医(高村一志)，学校医(山崎俊輔)，乳幼児健診(糸数智美，高木純一)，小児救急医療(中谷圭吾)，病児保育(川口健二)，在宅医療(弓削昭彦，糸数直哉)，広報・総務(上野満)，会報(編集長：沖美和)と11部門の責任者を置き宮崎県の小児医療をより良くすべく活動しています。

学術面では春と秋に2回，会員発表2題，特別講演2題の学術集会を開催し，三宅前会長のご尽力で旧専門医制度8単位/回を認定される学術集会に育っています。昨年は委員会活動の一環として，小児救急医療で宮崎県下の夜間急病センター受診者を対象に，小児救急電話相談事業(#8000)の認知度と急病センター受診動向を調査し，春の学術集会でその成果を発表しました。#8000は，急病センターの受診抑制に一役かっていることがわかりました。#8000の認知度をより上げる努力とともに，担い手不足が顕在化しつつある急病センターの適正受診を啓発していく必要があります。県の事業として毎年行われている『訪問救急教室事業(小児科医が県内の保育園，幼稚園等に出向いて講演するもの)』も啓発の場の一つとなっています。また，

今年度の活動として，弓削昭彦委員を中心に小児在宅医療のアンケート調査を行う予定です。小児在宅医療は今から需要が増えることは確実ですが，他県に比し遅れている分野でもあります。このアンケート調査をきっかけに，小児の在宅医療を推し進めていく種が育つことを期待したいと思っています。

その他，災害時の小児医療の構築，発達障害の児や保護者への支援，1か月健診，任意予防接種の助成自治体の拡大(地域格差の解消)等小児科医が取り組むべき課題は多々ありますが，会員一同力を合わせて少しずつでも前へ進んでいきたいと思っています。

\*今年4月から宮崎県小児科医会のホームページ(HP)を立ち上げました。子どもを持つ保護者へのメッセージを週1，2回の頻度で発信するとともに，小児の救急，県内の病児保育，福祉情報等子どもに関わる情報はこのHPで一通り得られるように工夫されています。また，園や学校の先生方へ完治証明と迅速検査について小児科医会の見解を公表しています。必要最低限の病気のみ完治証明を出そうというもので，園医部会，学校医部会の方の了承も得られました。宮崎のスタンダードにしていきたいと思っています。他科の先生方もぜひ一度当小児科医会のHPをご覧ください。小児科医の会員によるコラム(県医師会同様リレー形式)もあり，お近くの小児科の先生の一面を知ることができますよ。

## － 各種委員会 －

### 学 術 生 涯 教 育 委 員 会

と き 平成29年 7 月20日(木)  
ところ 県医師会館  
(テレビ会議：都城・南那珂・西臼杵)

#### 1 開 会

#### 2 挨拶 宮崎県医師会長 河野 雅行 3 諮 問

##### 1) 宮崎県医師会から学術生涯教育委員会への諮問事項について

- (1) 日常診療への生涯教育制度の活用について
- (2) 日本専門医機構「専門医」共通講習の実施について

今後、任期の2年間で、上記諮問事項について協議していくこととなった。

#### 4 報 告

##### 1) 平成28年度都道府県医師会生涯教育担当理事連絡協議会について(H29. 3. 17; 日医・テレビ会議)

平成27年度の日医生涯教育制度集計結果や、指導医のための教育ワークショップについて報告、全国医師会研修管理システムの機能について説明が行われた旨、報告がなされた。

##### 2) 日医生涯教育協力講座セミナー「認知症に寄り添う～地域生活継続可能な社会に向けて」の開催について(H28. 5. 7; 県医)

大悟病院認知症疾患医療センター長三山吉夫先生のコーディネートにより、講演、特別講演がテーマ「地域での認知症治療の取り組み」に沿って行われ、出席者は123名であった旨、報告がなされた。

##### 3) その他

#### 5 協 議

##### 1) 日医生涯教育協力講座 セミナーの開催について

###### (1) コーディネータの決定

- ① 「超高齢社会における高齢者のトータルケア～高齢者の健康寿命延伸に向けて～」の開催について

第一三共(株)と共催して行うセミナーで、平成29年9月から平成31年8月の間に開催する。企画コーディネートは県医師会の帖佐悦男理事、金丸吉昌常任理事に依頼し、テーマの詳細並びに開催日時等については、帖佐理事、金丸常任理事との調整の上で決定することが承認された。

- ② 「これからの高尿酸血症・痛風の治療戦略」の開催について

帝人ファーマ(株)と共催して行うセミナーで、平成30年1月から平成31年12月の間に開催する。企画コーディネートは宮崎大学医学部内科学講座循環体液制御学分野血液・血管先端医療学講座の藤元昭一教授に依頼し、テーマの詳細並びに開催日時等については、藤元教授との調整の上で決定することが承認された。

##### 2) 専門医機構「共通講習」単位取得のための研修会について

日医より、各都道府県医師会の協力のもと専門医共通講習会を開催する旨通達があり、開催方法、開催頻度等について協議を行った。

宮崎県医師会としては平成29年10月16日(月)19時より「平成29年度第1回専門医共通講習会 医療倫理・感染対策」を開催する。

医療倫理については、宮崎大学医学部社会医学講座生命・医療倫理学分野の板井孝彦教授に「医療倫理の基礎と実践－倫理的推論(ethical reasoning)のスキルを中心に－」としてご講演いただく。また感染対策については、宮崎大学医学部内科学講座免疫感染病態学分野の岡山昭彦教授に、「知っておきたい感染対策」としてご講演をいただく。

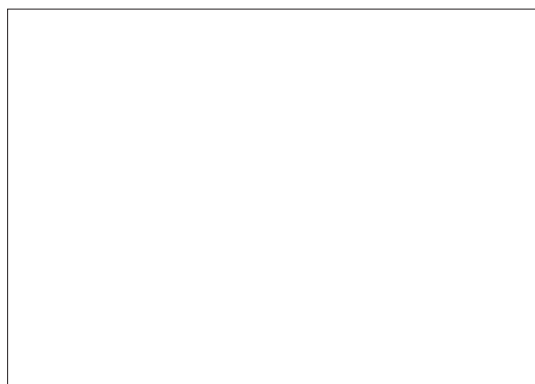
また、次年度以降は年2回を目処に講習会を開催し、会員の専門医共通講習の単位取得を推進することとなった。

## 6 閉 会

出席者－杜若委員長，上村副委員長，菊池・大橋・山口・瀧井・糸井・黒木・中村・佐藤・藤元・比嘉・東・飯田・津守・谷口・鶴・河野委員  
県 医－河野会長，濱田副会長，小牧担当理事，金丸・嶋本理事，牧野課長，横山主事

### 公衆衛生・感染症／予防接種合同委員会

と き 平成29年 7 月 24 日(月)  
ところ 県医師会館  
(テレビ会議：都城・延岡)



今年5月に発生した宮崎市における麻しん患者発生について等，2つの委員会に共通する議題があったことから，公衆衛生・感染症委員会，予防接種委員会を合同で開催した。

高村常任理事の司会により開会され，河野会長の挨拶後，県医師会全理事協議会において，公衆衛生・感染症委員会の委員長は岡山昭彦先生，副委員長は黒田嘉紀先生に，予防接種委員会の委員長は三宅和昭先生，副委員長は村井幸一先生に決定したことが報告された。

## 1. 会長諮問

河野会長から岡山委員長へ「感染症発生時の対応」について，三宅委員長へ「予防接種率の向上及び任意接種の定期接種化への取り組み」について諮問され，議事に入った。

## 2. 議 事

### 1) 宮崎市での麻しん発生について

宮崎市保健所西田所長から，宮崎市での麻しん患者の発生事案について，患者発生から終息までの事象に沿った市の対応について説明があった。関係機関の迅速な対応により，二次感染者を出すことなく終息したことについて御礼があった。

本事案については，個人情報保護の観点等から患者が受診した医療機関名は非公表で取り扱ったが，感染拡大を防止する上で，公表の必要があるのではないかという意見があった。

### 2) 広域予防接種の状況について

本会では，圏域を越えて予防接種が受けられるよう，県内全市町村と広域予防接種の契約を結んでいる。担当理事から今年度の契約状況及び昨年度実績数について報告があった。

委託料金については，市町村から，圏域内と広域との委託料を比較すると広域が高いという意見が寄せられるが，他県と比較

しても決して高いものではなく本会としては相応な金額だと考えていることが説明された。

### 3) 市町村毎の任意予防接種の状況について

県が実施している愛の予防接種助成事業では、住民のロタウイルス及びおたふくかぜワクチン任意予防接種に補助を行っている市町村に対して補助費用の一部を助成している。平成29年度の交付状況は、ロタウイルス15市町村、おたふくかぜ18市町村と、前年度比どちらも3市町と増え効果を上げている。県医師会及び県小児科医会では、県内全市町村が地域による格差なく予防接種実施に取り組むため本事業は大変重要であることから、来年度以降の事業継続について、県医師会長及び県小児科医会長連名での要望書を、河野会長から県健康増進課の矢野課長へ手渡した。

また、本事業は、都城市、日南市、日向市、串間市といった人口の多い都市部で実施されていないため、県全体で見ると接種件数の増加には必ずしもつながっていない実態がある。該当地域の委員にも市町村への要望をお願いした。

### 4) 感染症等発生時における危機管理体制について

高村常任理事から、集団感染症等が発生した医療機関は保健所へ届け出を行うとともに、郡市医師会や県医師会へ情報提供を

行うこと。県医師会は、関係各所からの情報を基に、会員等に対しFAXニュースやメーリングリストで周知を行い、感染症等の拡大防止に努めることが説明され、会員、郡市医師会、保健所、県健康増進課、県医師会等の相互連携体制について再確認が行われた。また、委員のメーリングリストを作成することになった。

### 5) 受動喫煙防止対策を強化・実現するための署名について

本県では署名獲得目標数を3万筆とし、会員の先生方へ署名活動をお願いしていたが、33,078筆(7月24日時点)の署名が集まり日本医師会へ提出したことが報告され、先生方のご協力への御礼があった。

#### 出席者一

(公衆衛生・感染症委員会)岡山委員長、  
原田・宇宿・高橋・松岡・野津手・  
峰松・三宅・矢野・瀧口・西田委員  
(予防接種委員会)三宅委員長(重複)、  
村田副委員長、高村・政所・  
高橋(重複)・松岡(重複)・喜多・  
峰松(重複)・吉村・盛武・佐藤委員  
(県健康増進課感染症対策室)永野室長  
高藤副主任幹、郡司主任技師  
(県医)河野会長、濱田副会長、  
高村常任理事(重複)、峰松(重複)・  
糸数理事、久永課長、野尻課長補佐

.....  
あなたできますか？(解答)

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |      |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10   |
| e | c | a | e | b | a | d | e | d | a, e |

## 九州医師会連合会第365回常任委員会

と き 平成29年 8 月 5 日(土)

ところ ホテルニューオータニ佐賀

### 1 開 会

### 2 九州医師会連合会長挨拶

福岡県医師会長 松田 峻一良

### 3 報 告

#### 1) 九州医師会連合会事務引継(8月1日(火)熊本 本市)について(福岡)

8月1日に新装になった熊本県医師会館において、熊本、福岡両県の担当役職員合同で滞りなく事務引継ぎを行った旨の報告があった。

#### 2) その他

### 4 協 議

#### 1) 九州医師会連合会第367回常任委員会並びに第114回臨時委員総会(10月27(金)福岡市)の開催について(福岡)

原案どおり10月27日16時から常任委員会、17時から臨時委員総会をホテル日航福岡で開催することが了承された。

#### 2) 平成29年 7 月九州北部豪雨に対するお見舞い金について(福岡)

今回の九州北部豪雨では、福岡県で2医療機関、大分県では1医療機関が被災した。医療機関の被害は、小規模で済んだことまた、日本医師会等からもお見舞いをいただいているとの報告があった。

このため、九州医師会連合会の災害見舞

金に関する申し合わせは、今回適用は見送りたいとの提案が福岡、大分両県から提案され了承された。

#### 3) その他

### 5 その他

#### 1) 2017年アジア大洋州医師会連合会(CMAAO)東京総会について(福岡)

今年9月13日から15日までの日程で開催されるアジア大洋州医師会連合東京総会で横倉日本医師会長の(CMAAO)新会長就任式を含む一連の行事への参加案内が日本医師会からあり、九州ブロックの参加とりまとめを福岡県が行う旨案内があった。

出席者一河野会長、山内事務局長

## 日医インターネットニュースから

### ■平均寿命、男女とも過去最高を更新 － 16年簡易生命表 －

厚生労働省が7月27日に発表した「2016年簡易生命表の概況」によると、平均寿命は男女ともに過去最高を更新した。男性は5年連続、女性は4年連続。男性は前年から0.23年伸びて80.98年、女性は0.15年伸びて87.14年だった。平均寿命の男女差は6.16年で、前年から0.08年縮まった。

平均寿命は0歳の平均余命を表す。平均寿命の延伸は悪性新生物、心疾患(高血圧性を除く)、脳血管疾患、肺炎、自殺などの死亡状況が改善したためとみられる。延伸への寄与年数を見ると、男性は悪性新生物が0.08年、自殺が0.05年などとなった。女性は心疾患(高血圧性を除く)と脳血管疾患、肺炎がそれぞれ0.04年などだった。

#### ●男性の3割、女性の2割ががんで死亡

ある年齢の人が将来どの死因で死亡するかを表した死因別死亡確率では、0歳では悪性新生物が男性29.14%、女性20.35%でともに最も高かった。男性は心疾患14.21%、肺炎11.08%、脳血管疾患7.79%と続いた。女性も心疾患17.12%、肺炎9.07%、脳血管疾患8.98%の順だった。

平均寿命の国際比較では、国によって作成期間や方法が異なるために厳密な比較は困難だが、男女ともに2位となった。男女ともに1位は香港で、男性が81.32年、女性が87.34年だった。(平成29年8月1日)

### ■年明けにも中間整理、需給推計に反映 － 働き方検討会が初会合 －

厚生労働省は8月2日、「医師の働き方改革に関する検討会」の初会合を開いた。医師の労働時間短縮策と時間外労働規制をテーマに議論を進め、年明けにも中間整理を行う。中間整理は「医療従事者の需給に関する検討会・医師需給分科会」に報告し、医師需給推計の議論に反映させる。その後も検討会は議論を続け、2018年度中に最終的な結論を得る。座長には岩村正彦構成員(東京大大学院教授)が選出された。

初会合では厚労省が、時間外労働規制の概要

と医師の勤務実態を説明。1週間の労働時間が60時間を超える医師の割合が41.8%に達し、全職種でトップであることを示した。時間外労働の主な理由は「緊急対応」や「手術・外来対応などの延長」が多く、「記録・報告書作成や書類の整理」「会議・勉強会・研修会などへの参加」が続いた。

#### ●応召義務など 自由討議で意見さまざま

自由討議では日医の市川朝洋常任理事が「大切なのはできることから始めること」と強調した上で「働き方改革は長時間労働の是正ではなく、勤務医の健康を守りつつ地域医療体制をしっかりと守っていくことだ」と述べた。地域医療の観点では馬場武彦構成員(社会医療法人ペガサス理事長)が「医師の需給は現状の働き方を基に決められているため、極端な労働規制は地域医療を崩壊させる恐れがある。需給バランスの崩れはさらなる地域間偏在を生む恐れもある」とし、慎重な検討を求めた。

猪俣武範構成員(順天堂大付属病院医師)は「タスクシフトやシェアリングを導入できる道筋をつくってほしい」と要望。タスクシフトについては赤星昂己構成員(東京女子医科大東医療センター救急医)も「文書の作成など、他職種の方がうまくやれるような業務はたくさんある」と支持した。工藤豊構成員(保健医療福祉労働組合協議会事務局次長)は「他職種との連携では、診療報酬なりの財政的な裏付けが必要」とした。

応召義務については、森本正宏構成員(全日本自治団体労働組合総合労働局長)が「医師個人ではなく、組織的にどう応召義務に対応できる体制をつくるかの方向性で検討してほしい」と主張。四病院団体協議会の「病院医師の働き方検討委員会」で委員長を務める岡留健一郎構成員(済生会福岡総合病院名誉院長)は「四病協として医師の実態調査を考えているが、厚労省の協力が得られるなら一緒にやりたい」と呼び掛けた。

裴英洙構成員(ハイズ代表取締役社長)は「医師の提供する価値は量と質の掛け算。労働時間の短縮と質の向上をセットで議論すべき。時間短縮だけでは提供する価値が下がる」と丁寧な議論を求めた。(平成29年8月4日)

## ■後発品への置き換えなど問題に

### － 薬価部会 －

厚生労働省は8月9日の中医協・薬価専門部会で、後発医薬品と長期収載品の薬価の在り方、新薬創出等加算、イノベーションの評価について、これまでの議論の取りまとめを示した。

診療側、支払い側ともに後発品への置き換えが進まない理由などについてあらためて意見を述べた。

松本純一委員(日本医師会常任理事)は、後発品への置き換えが進まない理由の一つとして「あまりにもメーカー数が多いというのが少し問題」と指摘。加えて、供給停止への懸念もあるとし、供給停止になった品目などのデータを求めた。今村聡委員(日医副会長)は、臨床現場では精神神経用剤や免疫抑制剤を変更しにくい実感があるとし、さらなる分析が必要とした。

吉森俊和委員(全国健康保険協会理事)は、後発品の初収載から5年が経過しても置き換えが進んでいない長期品の薬価を最大で2%引き下げる「Z2」ルールに言及した。5年を迎えるまでにどのように置き換えが進んでいるかのデータを求め、5年という期限について議論が必要だと主張した。

新薬創出等加算についても意見が相次いだ。今村委員は「企業が大変苦勞しているという話なら、どういう形の支援が必要なのか議論した方がよいのでは」と述べた。加算の財政的影響について質問したほか、製薬企業への税制の影響や補助金額などを示すように求めた。

幸野庄司委員(健保連理事)は、加算金額が増加傾向にあることに懸念を示した。「加算が切れた後の引き下げを深くすることで加算の財源をつくる必要があるのではないか」と思っている」と表明。加算は「財政中立」の仕組みとするべきだと主張し、長期品の薬価をさらに引き下げて財源とすることも検討すべきだと提案した。

(平成29年8月11日)

## ■医療行為と刑事責任、「統計分析」実施へ

### － 厚労省 －

厚生労働省は8月9日、「医療行為と刑事責任」をテーマにした有識者研究会の初会合を非公開で開いた。

業務上過失致死傷罪(刑法第211条)に該当し「有罪」となった医療事故と、それ以外の刑事責任が問われなかった医療事故を統計学的な手法で客観的に比較し、有罪事例に多い因子をあぶり出す方法で研究を進める方向性が示された。座長には武蔵野大教授の樋口範雄氏が就いた。

研究会は、過去の判例を分析することで、どのような医療事故が刑法第211条に該当するかの基準を示し、医療界や法曹界、捜査当局に周知することを目的にしている。

会合終了後、取材に応じた厚労省担当者によると、過去に行われた刑法の研究は有罪例だけを見て分析することが多かったが、初会合では「刑事事例にならなかったものや無罪になったものを比較対照群として置く」手法が提案された。

### ●刑事罰に問われやすい「要素」は？

例えば▽患者の取り違えの有無▽薬剤の取り違えの有無▽治療方針の選択ミスの有無▽年齢や性別▽事故の起こった年代▽外科や内科など診療科別—のようにさまざまな因子(要素)を設定する。因子別に刑法第211条で有罪となった数と、それ以外の数を統計学的に比較することで「医療事故の中でも、どのような因子があると現在の日本では刑事罰に問われやすい傾向があるかを導き出せるのではないか」という発想だ。因子の種類は今後詰める。特に顕著な結果が出た因子については、医療現場での注意点などを議論するステップに進む可能性がある。

会合ではまた、刑法の「過失論」を見定めながら議論する方針も確認された。過失論には学術的観点からさまざまな意見があり、時代によっても考え方が変わることがあるため「刑法のどのような過失論で議論されているかを踏まえつつ、裁判例の分析をした方がよいという意見が出た」(厚労省担当者)。次回日程は未定。

(平成29年8月11日)

日医インターネットニュースは日本医師会ホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会(<http://www.med.or.jp/>)>メンバーズ>日医インターネットニュース

### メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザーID: 会員ID番号(日医刊行物送付番号)の10桁の数字(半角)

◆パスワード: 生年月日の「西暦2桁, 月2桁, 日2桁」の6桁の数字(半角)

## 医師国保組合だより

## 平成29年度 宮崎県医師国民健康保険組合第117回通常組合会

と き 平成29年 7 月27日(木)

ところ 県医師会館

内田議長の開会宣言後、平成28年度物故組合員に対しての弔意黙祷を捧げ、秦理事長の挨拶に続き議事に入った。組合会上に上程された議案、「平成28年度事業報告・歳入歳出決算・歳入歳出差し引き剰余金の処分」についての審議を行い、全て原案どおり可決承認された。

## 1. 議事の状況

## 1) 平成28年度事業報告について

組合会は、第115回と116回の通常組合会を開催し、上程された議案について原案どおり可決承認を得た。

理事会は、計10回開催し、会議等の報告および主要議題についての協議を行った。

委員会は、ロコモ啓発推進委員会を計5回開催している。

連絡協議等は、例年どおりの内容に加えて、社会保障・税番号制度導入に係る地方公共団体等との情報連携に備えた対応、宮崎県保険者協議会において県地域医療構想に対する意見の取りまとめと糖尿病性腎症の重症化予防に向けた取組みに関する研修会・諸会議等について、役職員で対応した。

被保険者数は、月平均被保険者数を前年度と比較すると組合員は5名増、家族は17名減となっている。

保険給付は、療養諸費の保険者負担分を比較した場合、28年度は2億1,703万円余りで前年度より約249万円の減となっている。

る。出産育児一時金および葬祭費はほとんど変わりなく、傷病手当金は、約71万円の減となっている。また、高額療養費は前年度比約80万円の減、柔整および「あはき」の療養費は、保険者負担分が約18万円の増となっている。

保健事業の健康診断は、受診率約48%で前年度比4.2%増、特定健診受診率も約36%で前年度を上回り、平成20年度以降の受診率では最も高かった。なお、特定保健指導は対象者46名中の2名が受けられた。

インフルエンザ予防接種および肺炎球菌ワクチン接種、歯科健診の受診率は前年度を若干下回った。脳ドックおよび胃・大腸内視鏡検査の受診率は前年度並みであった。新規保健事業として実施した低線量ヘリカルCT肺がん検診は24名受けられた。

健康推進事業として毎年実施している歩こう会は、宮交ボタニックガーデン青島周辺をウォーキング後に宮大医学部リハビリテーション技師長の指導のもとにロコモ予防体操を実施し、54名の参加を得た。

以上、平成28年度事業報告について説明し、可決承認された。

## 2) 平成28年度歳入歳出決算について

歳入は6億2,421万円余りで、保険料と補助金、繰越金が主なものである。歳入に占める割合は、保険料53.5%、補助金20.7%、繰越金25.8%となっている。

保険料は3億3,385万円余りで前年度比約2,788万円の増、療養給付費等補助金は1億415万円余りで、前年度比約3,699万円の減、繰越金は1億5,237万円余りで前年度比約2,464万円の減となっている。

一方、歳出は5億1,420万円余りで、歳出に占める割合は、保険給付費48%、後期高齢者支援金16.5%、前期高齢者納付金4.5%、介護納付金9.3%で歳出の約80%を占めている。その他に組合会費・総務費関係約9.7%、保健事業費4.3%、補助金返還金5.5%となっている。

保険給付費は、療養給付費が約2億1,592万円、高額療養費が約2,352万円になっている。

後期高齢者支援金は、8,505万円余りで前年度比約183万円の減、前期高齢者納付金は2,319万円余りで前年度比約942万円の減、介護納付金は4,793万円余りで前年度比約167万円の増となっている。

諸支出金は、償還金が2,822万円余りで前年度比約1,811万円の増となっている。

歳入歳出差引残額は1億1,000万5,579円となり、単年度では、5,227万1,116円の赤字決算となった。単年度赤字の要因は、歳入の定率国庫補助率削減による補助金減額、歳出の平成27年度療養給付等負担金補助金の返還金支出、また後期高齢者支援金への保険料が約2,829万円、また介護納付金への保険料が約546万円不足していることと説明し、可決承認された。

### 3) 平成28年度歳入歳出差し引き剰余金の処分について

国民健康保険法施行令で定められている、特別積立金並びに給付費等支払準備金は法定額を超えており、今期の積立は必要なく、歳入歳出差引残額1億1,000万5,579円の全額を平成29年度会計へ繰り越すことが可決承認された。

### 4) 協議・その他

事務効率の向上と金銭事故防止を目的として、当組合の旅費等の支払い方法を現金支払いから届出銀行口座への振り込み扱いに変更することが提案され了承された。

出席組合会議員及び出席役員は以下のとおり。

#### 出席議員(議員定数30名・出席議員数17名)

|             |             |
|-------------|-------------|
| 1. 市 来 能 成  | 13. 出 水 善 文 |
| 2. 内 田 攻    | 15. 大 岐 照 彦 |
| 3. 神 尊 敏 彦  | 17. 井 手 稔   |
| 4. 田 崎 高 伸  | 21. 大久保 史 明 |
| 5. 田 中 宏 幸  | 22. 水 野 智 秀 |
| 6. 谷 口 二 郎  | 23. 坂 田 師 隣 |
| 7. 玉 置 昇    | 25. 岡 村 武 志 |
| 10. 福 永 隆 幸 | 26. 立 山 洋 司 |
| 12. 武 田 信 豊 |             |

|             |         |
|-------------|---------|
| <b>出席理事</b> | 8 名     |
| 理 事 長       | 秦 喜八郎   |
| 副理事長        | 大 坪 睦 郎 |
| 〃           | 濱 田 政 雄 |
| 常務理事        | 高 橋 政 見 |
| 〃           | 佐々木 究   |
| 理 事         | 高 村 一 志 |
| 〃           | 糸 数 智 美 |
| 〃           | 花 田 武 浩 |

|             |         |
|-------------|---------|
| <b>出席監事</b> | 2 名     |
| 監 事         | 棚 田 敏 文 |
| 〃           | 山 路 健   |

# 平成28年度 宮崎県医師国民健康保険組合歳入歳出決算書

|          |                |
|----------|----------------|
| 歳 入 合 計  | 624, 213, 074円 |
| 歳 出 合 計  | 514, 207, 495円 |
| 歳入歳出差引残額 | 110, 005, 579円 |

( 歳 入 )

(単位：円)

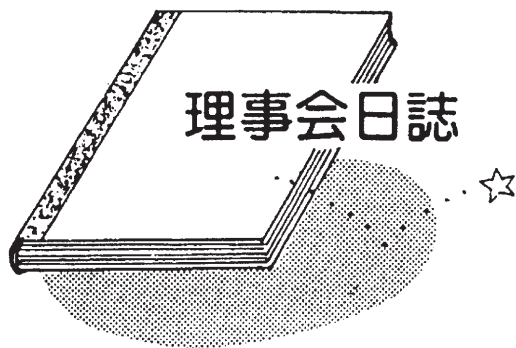
| 款          | 項              | 予算現額          | 調定額           | 収入済額          | 不納欠損額 | 収入未済額 | 予算現額と収入済額との比較 |
|------------|----------------|---------------|---------------|---------------|-------|-------|---------------|
| 1 国民健康保険料  | 1 国民健康保険料      | 331, 964, 000 | 333, 850, 500 | 333, 850, 500 | 0     | 0     | 1, 886, 500   |
| 2 一部負担金    | 1 一部負担金        | 1, 000        | 0             | 0             | 0     | 0     | △ 1, 000      |
| 3 国庫支出金    |                | 92, 704, 000  | 111, 172, 511 | 111, 172, 511 | 0     | 0     | 18, 468, 511  |
|            | 1 国庫負担金        | 1, 601, 000   | 1, 953, 513   | 1, 953, 513   | 0     | 0     | 352, 513      |
|            | 2 国庫補助金        | 91, 103, 000  | 109, 218, 998 | 109, 218, 998 | 0     | 0     | 18, 115, 998  |
| 4 前期高齢者交付金 | 1 前期高齢者交付金     | 2, 000        | 0             | 0             | 0     | 0     | △ 2, 000      |
| 5 県支出金     | 1 県補助金         | 2, 000        | 0             | 0             | 0     | 0     | △ 2, 000      |
| 6 共同事業交付金  | 1 共同事業交付金      | 9, 000, 000   | 11, 258, 000  | 11, 258, 000  | 0     | 0     | 2, 258, 000   |
| 7 財産収入     | 1 財産運用収入       | 400, 000      | 573, 076      | 573, 076      | 0     | 0     | 173, 076      |
| 8 繰入金      | 1 繰入金          | 9, 904, 000   | 9, 900, 000   | 9, 900, 000   | 0     | 0     | △ 4, 000      |
| 9 繰越金      | 1 繰越金          | 139, 000, 000 | 152, 376, 695 | 152, 376, 695 | 0     | 0     | 13, 376, 695  |
| 10 諸収入     |                | 127, 000      | 5, 082, 292   | 5, 082, 292   | 0     | 0     | 4, 955, 292   |
|            | 1 加算金・延滞金及び過怠金 | 1, 000        | 0             | 0             | 0     | 0     | △ 1, 000      |
|            | 2 預金利子         | 60, 000       | 78, 040       | 78, 040       | 0     | 0     | 18, 040       |
|            | 3 雑収入          | 66, 000       | 5, 004, 252   | 5, 004, 252   | 0     | 0     | 4, 938, 252   |
| 歳 入 合 計    |                | 583, 104, 000 | 624, 213, 074 | 624, 213, 074 | 0     | 0     | 41, 109, 074  |

( 歳 出 )

(単位：円)

| 款           | 項            | 予算現額          | 支出済額          | 翌年度繰越額 | 不用額          | 予算現額と支出済額との比較 |
|-------------|--------------|---------------|---------------|--------|--------------|---------------|
| 1 組合会費      | 1 組合会費       | 6, 700, 000   | 4, 785, 859   | 0      | 1, 914, 141  | 1, 914, 141   |
| 2 総務費       | 1 総務管理費      | 51, 827, 746  | 45, 062, 716  | 0      | 6, 765, 030  | 6, 765, 030   |
| 3 保険給付費     |              | 256, 292, 000 | 246, 163, 148 | 0      | 10, 128, 852 | 10, 128, 852  |
|             | 1 療養諸費       | 225, 850, 000 | 217, 809, 330 | 0      | 8, 040, 670  | 8, 040, 670   |
|             | 2 高額療養費      | 25, 001, 000  | 23, 521, 818  | 0      | 1, 479, 182  | 1, 479, 182   |
|             | 3 移送費        | 1, 000        | 0             | 0      | 1, 000       | 1, 000        |
|             | 4 出産育児諸費     | 1, 680, 000   | 1, 680, 000   | 0      | 0            | 0             |
|             | 5 葬祭諸費       | 1, 580, 000   | 1, 580, 000   | 0      | 0            | 0             |
|             | 6 傷病諸費       | 2, 180, 000   | 1, 572, 000   | 0      | 608, 000     | 608, 000      |
| 4 後期高齢者支援金等 | 1 後期高齢者支援金等  | 85, 906, 000  | 85, 059, 848  | 0      | 846, 152     | 846, 152      |
| 5 前期高齢者納付金等 | 1 前期高齢者納付金等  | 23, 506, 000  | 23, 198, 228  | 0      | 307, 772     | 307, 772      |
| 6 老人保健拠出金   | 1 老人保健拠出金    | 4, 000        | 2, 376        | 0      | 1, 624       | 1, 624        |
| 7 介護納付金     | 1 介護納付金      | 48, 500, 000  | 47, 930, 466  | 0      | 569, 534     | 569, 534      |
| 8 共同事業拠出金等  |              | 11, 702, 000  | 11, 701, 000  | 0      | 1, 000       | 1, 000        |
|             | 1 共同事業拠出金    | 10, 239, 000  | 10, 238, 000  | 0      | 1, 000       | 1, 000        |
|             | 2 共同事業負担金    | 1, 463, 000   | 1, 463, 000   | 0      | 0            | 0             |
| 9 保健事業費     |              | 26, 250, 000  | 22, 083, 530  | 0      | 4, 166, 470  | 4, 166, 470   |
|             | 1 特定健康診査等事業費 | 2, 900, 000   | 2, 785, 400   | 0      | 114, 600     | 114, 600      |
|             | 2 保健事業費      | 23, 350, 000  | 19, 298, 130  | 0      | 4, 051, 870  | 4, 051, 870   |
| 10 積立金      | 1 積立金        | 5, 000        | 0             | 0      | 5, 000       | 5, 000        |
| 11 組合債費     | 1 組合債費       | 1, 000        | 0             | 0      | 1, 000       | 1, 000        |
| 12 諸支出金     | 1 償還金及び還付加算金 | 28, 221, 324  | 28, 220, 324  | 0      | 1, 000       | 1, 000        |
| 13 予備費      | 1 予備費        | 44, 188, 930  | 0             | 0      | 44, 188, 930 | 44, 188, 930  |
| 歳 出 合 計     |              | 583, 104, 000 | 514, 207, 495 | 0      | 68, 896, 505 | 68, 896, 505  |

広告



平成29年 7 月11日(火)第 4 回全理事協議会

#### 医師会関係

##### (議決事項)

#### 1. 後援・共催名義等使用許可について

①11/ 5(日)(宮日会館)“いい皮膚の日”に合わせた県民向け講演会の名義後援について

→「いろいろな抗酸菌によるいろいろな病気ー結核、非結核性抗酸菌症からハンセン病(癩病)までー」を演題に開催される講演会で、名義後援を承諾することが承認された。

②12/10(日)(宮崎市民プラザ)第 2 回周産期グリーフケアセミナーの名義後援について

→県内の産科医療機関での流産、死産及び新生児死に関する意識向上とグリーフケア体制の確立を図ることを目的に開催されるセミナーで、名義後援を行うことが承認された。

③12/16(土)(県看護等研修センター)日本医療マネジメント学会第11回宮崎県支部学術集会のご後援の許可について

→「質の高い地域医療を担うために」をメインテーマに開催される学術集会で、名義後援を行うことが承認された。

#### 2. 平成29年度公衆衛生事業功労者表彰(日本公衆衛生協会会長表彰)の推薦について

公衆衛生事業のために永年にわたり献身的かつ模範的な活動を続けてこられた方を表彰するもので、各郡市医師会に照会の結果、3名を推薦することが承認された。

#### 3. 平成29年度宮崎県公衆衛生功労者表彰の被表彰候補者の推薦について

多年にわたり公衆衛生活動に携わりその功績が顕著である方を表彰するもので、各郡市医師会に照会の結果、5名を推薦することが承認された。

#### 4. 九州医師会連合会会員数等について

九医連会則に拠り、九医連常任委員に河野会長、委員に富田・濱田副会長、立元・吉田常任理事、飯田議長を選出することが承認された。また、郡市医師会の所在地及び会員数等については、事務局で確認の上、報告することとなった。

##### (報告事項)

#### 1. 7/ 7(金)(県庁)県地方独立行政法人評価委員会について

#### 2. 7/ 8(土)(福岡)九医連常任委員会について

#### 3. 7/ 5(水)(県庁)県個人情報保護審議会について

#### 4. 7/10(月)(第一宮銀ビル)県後期高齢者医療広域連合運営懇話会について

#### 5. 7/ 6(木)(県医)県プライマリ・ケア研究会記録誌編集委員会について

#### 6. 7/ 8(土)(宮観ホテル)県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会・総会・全体研修会について

#### 7. 6/29(木)(県医)在宅医療研修会企画小委員会について

#### 8. 6/28(水)(宮崎労働局)労災診療指導委員会について

9. 7 / 1 (土)・2 (日)(大分)全国有床診療所連絡協議会総会について
10. 7 / 8 (土)(県医)労災部会総会・合同学会について
11. 6 / 14 (水)(県医)医家芸術展世話人会について
12. 6 / 14 (水)(宮観ホテル)県急性期脳卒中医療協議会・講演会について
13. 6 / 19 (月)(県医)勤務医部会理事会について
14. 6 / 30 (金)(県医)勤務医部会総会・前期講演会について
15. 6 / 14 (水)(宮大医学部)宮大医学部医の倫理委員会について

#### 医師連盟関係

##### (議決事項)

#### 1. 九州医連連絡会の役員について

九州医連連絡会規約に「常任執行委員は、委員長・副委員長以外の九州各県医師連盟委員長」、「執行委員は九州医師会連合会委員」と規定されていることから、常任執行委員は河野委員長、執行委員は富田・濱田・立元・吉田常任執行委員、飯田執行委員とすることが承認された。

##### (報告事項)

#### 1. 7 / 8 (土)(福岡)九州医連連絡会常任執行委員会について

平成29年 7 月 18 日(火)第10回常任理事協議会

#### 医師会関係

##### (議決事項)

#### 1. 後援・共催名義等使用許可について

- ① 9 / 30 (土)(ウェルネス交流プラザ)「第13回みやざきホスピス・緩和ケアネットワーク学術集会、第25回都城緩和ケア研究会」名義後援のお願いについて  
→「これからの緩和ケアと家族支援の在

り方」をテーマに開催される研究会で、名義後援を行うことが承認された。

- ② 10 / 21 (土)(シーガイア)宮崎県認知症高齢者グループホーム連絡協議会創立15周年記念講演会への後援について  
→「元気な人は〇〇が元気」をテーマに、介護の話を織り交ぜたトークショーを通じて、県民の介護及び認知症に関する知識と理解を深めることを目的にした講演会で、名義後援を行うことが承認された。

#### 2. 8 / 5 (土)(佐賀)九州医師会連合会第365回常任委員会の開催について

九州ブロック学校保健・学校医大会等の諸行事に合わせ開催される常任委員会で、河野会長及び山内事務局長の出席が承認された。また役員で提出議題がある場合は事務局に申し出ることとし、その取扱いは会長に一任することとなった。

#### 3. 8 / 26 (土)(福岡)九州医師会連合会第366回常任委員会並びに第113回定例委員総会の開催について

九医連の予算及び事業計画等を審議する定例委員総会で、対象となる河野会長(常任委員)を含む6名の委員の出欠については、事務局が確認することが承認された。

また、合わせて開催される常任委員会に、河野会長及び山内事務局長が出席すること及び、役員で提出議題がある場合は事務局に申し出ることとし、その取扱いは河野会長に一任することが承認された。

#### 4. 柔道整復療養費審査委員の推薦について

柔道整復師の施術に係る療養費支給の審査を行う委員の推薦依頼で、依頼元の意向でレセプト点検審査との併任を希望していることから、県内科医会が推薦するレセプト点検審査医師に、本審査委員も願います。

ることが承認された。

5. 9/23(土)(広島)第67回全国医師会医療秘書  
学院連絡協議会定例総会の開催について

医療秘書学院を設置する都道府県医師会  
をもって組織される協議会で、富田副会  
長、池井常任理事が出席することが承認さ  
れた。

6. 宮崎県感染症発生動向調査事業における指  
定届出機関の推薦について

高鍋保健所管内で小児科を標榜する医療  
機関の辞退申し出があったことから、新た  
におりたこどもクリニックを推薦すること  
が承認された。

7. 10/18(水)(日医)平成29年度都道府県医師会  
小児在宅ケア担当理事連絡協議会の開催に  
ついて

医療的ケアを必要とする障がい児が、適  
切な支援を受けられるよう小児在宅ケアを  
巡る諸問題を検討する連絡協議会で、石川  
常任理事の出席とテレビ会議で高村常任理  
事が参加することが承認された。また、宮  
崎大学及び県立宮崎病院等にもテレビ会議  
での参加を案内することとなった。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 7/12(水)(支払基金)支 払 基 金 幹 事 会 に  
ついて
3. 7/14(金)(宮観ホテル)宮崎市郡医師会 7 月  
例会並びに特別講演会について
4. 7/12(水)(県医)広報委員会について
5. 7/13(木)(県庁)県糖尿病発症・重症化予防  
に係る検討会について
6. 7/14(金)(日医)日医勤務医委員会について
7. 7/16(日)(東京)レジナビフェア in 東京に  
ついて
8. 7/15(土)(東京)MCLS大量殺傷型テロ対策  
セミナーについて

9. 受動喫煙防止対策を強化・実現するための  
署名獲得数について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 8/26(土)(福岡)九州医連連絡会第18回執行  
委員会の開催について

対象となる河野委員長(常任執行委員)を  
含む6名の執行委員の出欠については、事  
務局が確認することが承認された。

また、提出議題等がある場合は事務局に  
申し出ることとし、その取扱いには河野委員  
長に一任することが承認された。

平成29年 7 月25日(火)第11回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 後援・共催名義等使用許可について

① 9/10(日)(新富)「第29回宮崎県糖尿病教育  
セミナー」のご後援について

→糖尿病発症の予防・治療・合併症の進  
展防止等の知識習得の場として開催され  
るセミナーで、名義後援を行うことが承認  
された。

② 10/ 7(土)(宮観ホテル)九州・沖縄地区合  
同研修会後援名義使用のお願いについて  
→「持続可能な地域医療機関の経営課題  
と解決策とは」を研究テーマに開催され  
る研修会で、名義後援を行うことが承認  
された。

③ 10/14(土)(宮崎市民プラザ)「第 9 回宮崎循  
環器市民講座」の名義後援について  
→「あなたの脈は大丈夫？」と題した市民  
公開講座で、名義後援を行うことが承認  
された。

2. 本会外の役員等の推薦について

① 治療と仕事の両立支援のための「宮崎県

地域両立支援推進チーム」への参集者の推薦依頼について

→県内における、疾患を持った労働者の治療と仕事の両立支援の機運の醸成及び実情に応じた取組みの促進等を目的に設置される推進チームで、参集者(委員)として佐々木(幸)常任理事を推薦することが承認された。

### 3. 9/19(火)(日医)平成29年度第2回都道府県医師会長協議会の開催について

河野会長が出席することが承認された。また役員で提出議題がある場合は事務局に申し出ることとし、その取扱いは河野会長に一任することとなった。

### 4. 九州医師会連合会平成29年度第1回各種協議会の提案事項について

開催種目が決定し、地域医療対策(地域医療構想・地域包括ケアを含む)は池井常任理事、医療保険対策は小牧常任理事、介護保険対策は金丸常任理事が取りまとめ責任者となることが承認された。

### 5. 会費減免申請について

高齢による4名(県医師会と日医の1名、日医のみ1名、県医師会のみ2名)の会費減免が承認された。

### 6. 8・9月の行事予定について

8月の追加行事について確認が行われた。

#### (報告事項)

1. 7/20(木)(ニューウェルシティ宮崎)九州ブロック保健所長会総会について
2. 7/25(火)(県庁)県総合計画審議会・県地方創生推進懇話会について
3. 7/20(木)(JA-AZM)新規保険医療機関への説明について
4. 7/24(月)(県庁)県精神科救急医療システム連絡調整委員会について

5. 7/20(木)(県医)学術生涯教育委員会について
6. 7/22(土)(愛知)男女共同参画フォーラムについて
7. 7/24(月)(県医)広報委員会について
8. 7/20(木)(県庁)県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会について
9. 7/24(月)(県医)公衆衛生・感染症/予防接種合同委員会について
10. 7/15(土)・7/22(土)・23(日)(県医)人体シミュレータを用いた在宅医療研修会について
11. 7/25(火)(県庁)県健康長寿社会づくり推進会議について

平成29年8月1日(火)第12回常任理事協議会

#### 医師会関係

#### (議決事項)

### 1. 本会外の役員等の推薦について

#### ①宮崎地方労働審議会(第9期)委員への就任について

→宮崎労働局長の諮問に応じ、労働関係法令や公共職業安定所の業務に関する重要事項等を調査、協議する審議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、新たに佐藤理事を推薦することが承認された。

#### ②宮崎県防災会議の委員及び幹事の推薦等について

→災害対策基本法に基づき、本県における総合的な防災行政の推進を図るために設置される会議で、引き続き委員に河野会長、幹事に小牧常任理事を推薦することが承認された。

#### ③宮崎県国民保護協議会委員及び幹事の推薦について

→武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律に基づき、国民

保護計画等について審議するために設置される協議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き委員に河野会長、幹事に小牧常任理事を推薦することが承認された。

## 2. 後援・共催名義等使用許可について

- ① 9/30(土)日本褥瘡学会・在宅褥瘡医療ネットワーク委員会宮崎県セミナーの後援(名義借用)依頼について

→在宅医療に関わる方を対象に、在宅における褥瘡治療の向上及び予防の推進を目的に開催されるセミナーで、名義後援を行うことが承認された。

## 3. 平成30年度地域医療介護総合確保基金(介護従事者確保)に係る事業提案について

関係機関に照会の結果、「地域包括ケアシステムを構築するための人材育成」、「在宅医療介護連携のための介護従事者確保事業」、「認知症地域支援体制整備事業」の3つの事業を提案することが承認された。

### (報告事項)

1. 7 月末日現在の会員数について
2. 7/31(月)(宮大医学部)県がん診療連携協議会について
3. 7/26(水)(日医)日医医療情報システム協議会運営委員会について
4. 7/27(木)(日医)日医医療IT委員会について
5. 8/1(火)(県医)治験審査委員会について
6. 7/27(木)(JA-AZM)社会保険医療担当者の個別指導について
7. 7/27(木)(JA-AZM)社会保険医療担当者の新規個別指導について
8. 7/30(日)(福岡)日本プライマリ・ケア連合学会九州支部役員会について
9. その他  
①宮崎県議会2025年問題を考える議員連盟の訪問について

## 医師連盟関係

### (報告事項)

1. 7/28(金)(宮観ホテル)自民党県連国・県に対する要望ヒアリングについて
2. その他  
①宮崎市長選挙に係る候補者等の氏名等及び後援団体の名称を表示する政治活動用ポスター等の掲示禁止期間について

平成29年 8 月 8 日(火)第13回常任理事協議会

## 医師会関係

### (議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について  
①県立病院事業評価委員会委員への就任について  
→県病院事業経営計画の進捗状況等を評価する委員会で、引き続き河野会長が委員に就任することを承認した。
2. 後援・共催名義等使用許可について  
①11/8(水)(メディキット県民文化センター)平成29年度宮崎県社会福祉大会に対する後援名義の使用許可について  
→県内福祉関係者が一堂に会し、社会福祉活動の発展に功労のあった方々の顕彰及び地域福祉の更なる充実を目的に開催される大会で、名義後援を行うことが承認された。  
②11/17(金)(宮崎市民プラザ)第20回宮崎県ふれあい文化のつどい開催について  
→地域と交流の場を設け、障がいのある方への理解を深めると共にノーマライゼーションの推進を目的とする会で、名義後援を行うことが承認された。
3. 宮崎大学医学部教授等と県医師会役員等との懇談会について  
医療の諸問題について意見交換を行うた

めの懇談会で、10月3日(火)に開催すること及び宮大学長をはじめとする大学関係者に案内することが承認された。

#### 4. 業務委託について

①平成29年度自殺対策に係る人材育成研修事業について

→医療の現場における自殺対策の強化を図ることを目的に、医療従事者を対象とした専門研修を行う事業で、委託契約を締結することが承認された。

#### 5. 8/10(木)(JA-AZM)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導等の実施に係る立会について

1 医療機関を対象に行われる個別指導で、小牧常任理事を立会人として派遣することが承認された。

#### 6. 8/31(木)(都城)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導等の実施に係る立会について

1 医療機関を対象に行われる個別指導で、金丸常任理事を立会人として派遣することが承認された。

#### 7. 「平成29年度情報通信訓練／衛星利用実証実験 近畿大震災想定訓練」について

宇宙航空研究開発機構(JAXA)等の協力を得て、超高速インターネット衛星「きずな」を用いて実施される実証実験(防災訓練)で、小牧常任理事と佐々木(幸)常任理事がTV会議システムを使って参加すること及び救急災害医療担当理事と各郡市医師会に案内することが承認された。

#### 8. 9/28(木)(日医)第39回産業保健活動推進全国会議の開催について

産業保健活動の在り方について検討することを目的に開催される全国会議で、佐々木(幸)常任理事と県内4か所の地域産業保健センターに案内することが承認された。

#### 9. 県医師会会員医療機関における県職員防疫従事予定者に対する季節性インフルエンザ予防接種への協力について

養鶏場等における高病原性鳥インフルエンザ発生時の防疫作業従事予定者(県職員等約1,000名)を対象に予防接種を行うもので、県医師会が集合契約を行うこと及び県の出先機関のある地域を中心に実施医療機関の募集を行うこと等、予防接種活動に協力することが承認された。

#### (報告事項)

1. 8/5(土)(佐賀)九医連常任委員会について
2. 7/28(金)(日医)日医公衆衛生委員会について
3. 8/3(木)(ベルエポック)若手記者と県医師会広報委員会との懇談会について
4. 8/2(水)(日医)都道府県医師会生活習慣病担当理事連絡協議会について
5. 8/5(土)(佐賀)九州各県学校保健担当理事者会等について
6. その他

①宮崎県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防指針(第1期)の最終案について

#### 医師連盟関係

#### (議決事項)

1. 8/27(日)(宮観ホテル)参議院議員松下新平政経セミナーのご案内について  
若手国会議員による言論バトル等を中心とした政経セミナー会で、協力することが承認された。
2. 9/23(土)(メディキット県民文化センター)「自由民主党宮崎県政経セミナー2017」セミナー券の販売協力について

自民党の茂木敏充政調会長を講師に招き開催される政経セミナーで、協力することが承認された。

# 県 医 の 動 き

(8 月)

|    |                                                                                                          |    |                                                                                                                             |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 治験審査委員会(富田副会長他)<br>第12回常任理事協議会(会長他)                                                                      |    | (熊本)中四九地区医師会看護学校協議会<br>(佐藤理事)                                                                                               |
| 2  | (日医)都道府県医師会生活習慣病担当理事<br>連絡協議会(金丸常任理事他)                                                                   | 19 | 産業医研修会(前期)(佐々木常任理事)<br>学校医部会総会・医学会(TV会議)(会長他)<br>(福岡)九州地区医師国保組合連合会理事会<br>(秦理事長)<br>(福岡)九州地区医師国保組合連合会全体協<br>議会(秦理事長他)        |
| 3  | 若手記者と県医師会広報委員会との懇談会<br>(会長他)<br>県産婦人科医会全理事会(濱田副会長他)<br>ワンストップ支援センター協議に係る県産<br>婦人科医会と県との事前打合せ<br>(濱田副会長他) | 20 | (熊本)中四九地区医師会看護学校協議会<br>(佐藤理事)                                                                                               |
|    | (都城)県産婦人科医会新生児蘇生法講習会<br>(佐賀)九州学校検診協議会専門委員会<br>(高村常任理事)                                                   | 20 |                                                                                                                             |
| 5  | (佐賀)九医連常任委員会(会長)<br>(佐賀)九州学校検診協議会幹事会(会長他)<br>(佐賀)九州各県学校保健担当理事者会<br>(会長他)                                 | 21 | 県内科医会誌編集委員会(小牧常任理事)                                                                                                         |
| 8  | 医療勤務環境改善支援センターアドバイザー<br>研修会<br>第13回常任理事協議会(会長他)                                                          | 22 | 第5回全理事協議会(会長他)<br>医協理事・運営委員合同協議会(会長他)<br>役職員懇談会(会長他)                                                                        |
| 9  | 支払基金幹事会(会長)<br>県内科医会医療保険委員会(小牧常任理事)<br>県産婦人科医会 周産期医療協議会に向けて<br>の事前協議(濱田副会長他)                             | 23 | 性暴力被害者支援連絡協議会(濱田副会長)                                                                                                        |
| 10 | 公明党県本部政策要望懇談会<br>(立元常任理事)<br>社会保険医療担当者の個別指導<br>(小牧常任理事)<br>県認知症疾患医療センター選考委員会<br>(金丸常任理事他)                | 24 | 医協打合せ会(立元副理事長)<br>周産期医療協議会に係る県健康増進課との<br>事前協議会(濱田副会長他)                                                                      |
| 12 | 県プライマリ・ケア研究会世話人会・総<br>会・研修会(会長他)<br>(福岡)九州医師協同組合連合会総務部会<br>(富田理事長)                                       | 25 | 保育事業養成講座(荒木常任理事他)<br>広報委員会(荒木常任理事他)<br>認知症サポート医フォローアップ研修会<br>(TV会議)(金丸常任理事)                                                 |
| 14 | 地域医療構想調整会議の進め方に関する協<br>議会(会長他)                                                                           | 26 | 在宅医療協議会役員会(金丸常任理事他)<br>在宅医療協議会総会・研修会<br>(金丸常任理事他)<br>(福岡)九医連常任委員会(会長)<br>(福岡)九医連定例委員総会(会長他)<br>(福岡)九州医連連絡会執行委員会<br>(河野委員長他) |
| 17 | 勤務医委員会(会長他)<br>医師国保組合理事会(秦理事長他)<br>性暴力被害者支援連絡協議会に係る県産婦<br>人科医会と県との事前協議会<br>(濱田副会長他)                      | 28 | 損保ジャパン日本興亜との懇談会(会長他)                                                                                                        |
| 18 | 職員採用試験(一次)<br>県外科医会夏期講演会<br>県内科医会理事会(小牧常任理事)                                                             | 29 | 古川衆議院議員への要望等(会長)<br>医協理事会(富田理事長他)<br>第14回常任理事協議会(会長他)                                                                       |
|    |                                                                                                          | 30 | 県歯科保健推進協議会部会(荒木常任理事)<br>(日医)日医学術推進会議(会長)<br>労災診療指導委員会(川野理事他)<br>宮崎労働局との意見交換会(富田副会長他)                                        |
|    |                                                                                                          | 31 | 県個人情報保護審議会(濱田副会長)<br>(都城市)社会保険医療担当者の個別指導<br>(金丸常任理事)<br>(日医)日医医療情報システム協議会運営委<br>員会(富田副会長)                                   |

## ご 案 内

## 宮崎県医師会親善ゴルフ大会

県医親善ゴルフ大会を本年は下記の日程で開催いたします。ぜひ会員の先生方お誘い合わせのうえ、ご参加いただきますようお願いいたします。

なお、開催案内は9月上旬にFAX、MMA通信にてご案内しております。

と き 平成 29 年 11 月 3 日（金・祝）  
ところ ハイビスカスゴルフクラブ  
宮崎市佐土原町大字下田島 21085-1

（担当 総務課 田崎）

## 8 月のベストセラー（宮崎県）

集計：2017年 8 月 1 日～8 月 25 日

|                    |           |         |
|--------------------|-----------|---------|
| 1 君の臍臓をたべたい        | 住 野 よ る   | 双 葉 社   |
| 2 月の満ち欠け           | 佐 藤 正 午   | 岩 波 書 店 |
| 3 続ざんねんないきもの辞典     | 下 間 文 恵   | 高 橋 書 店 |
| 4 今こそ、韓国に謝ろう       | 百 田 尚 樹   | 飛 鳥 新 社 |
| 5 九十歳。何がめでたい       | 佐 藤 愛 子   | 小 学 館   |
| 6 定年後              | 楠 木 新     | 中央公論新社  |
| 7 肺炎がいやなら、のどを鍛えなさい | 西 山 耕 一 郎 | 飛 鳥 新 社 |
| 8 多動力              | 堀 江 貴 文   | 幻 冬 舎   |
| 9 あきない世傳金と銀        | 高 田 郁     | 角川春樹事務所 |
| 10 か「」く「」し「」ご「」と「」 | 住 野 よ る   | 新 潮 社   |

明林堂書店調べ 提供：本郷店（宮崎市大字本郷北方）☎（0985）56-0868

## ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

平成29年 8 月14日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のと通りの情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

### 1. 求職者登録数 3人

#### 1) 男性医師求職登録数 3人 (人)

| 希望診療科目 | 求 職 数 | 常 勤 | 非 常 勤 |
|--------|-------|-----|-------|
| 内 科    | 1     | 0   | 1     |
| 老 健    | 2     | 1   | 1     |

#### 2) 女性医師求職登録数 0人 (人)

| 希望診療科目 | 求 職 数 | 常 勤 | 非 常 勤 |
|--------|-------|-----|-------|
|        | 0     | 0   | 0     |

### 2. 斡旋成立件数 59人 (人)

|             | 男性医師 | 女性医師 | 合 計 |
|-------------|------|------|-----|
| 平 成 29 年 度  | 3    | 1    | 4   |
| 平成 16年度から累計 | 43   | 16   | 59  |

### 3. 求人登録 95件 334人 (人)

| 募集診療科目     | 求人数 | 常 勤 | 非常勤 |
|------------|-----|-----|-----|
| 内 科        | 117 | 88  | 29  |
| 外 科        | 31  | 26  | 5   |
| 整 形 外 科    | 25  | 22  | 3   |
| 精 神 科      | 18  | 16  | 2   |
| 循 環 器 科    | 5   | 4   | 1   |
| 脳 神 経 外 科  | 12  | 9   | 3   |
| 消 化 器 内 科  | 12  | 9   | 3   |
| 麻 酔 科      | 10  | 8   | 2   |
| 眼 科        | 6   | 5   | 1   |
| 放 射 線 科    | 10  | 9   | 1   |
| 小 児 科      | 1   | 0   | 1   |
| 呼 吸 器 内 科  | 11  | 10  | 1   |
| リハビリテーション科 | 5   | 4   | 1   |
| 総合診療科・内科   | 7   | 6   | 1   |
| 神 経 内 科    | 7   | 6   | 1   |
| 救 命 救 急 科  | 7   | 7   | 0   |
| 健 診        | 3   | 1   | 2   |
| 産 婦 人 科    | 1   | 1   | 0   |
| 泌 尿 器 科    | 1   | 0   | 1   |
| 検 診        | 4   | 2   | 2   |
| 皮 膚 科      | 3   | 2   | 1   |
| 人 工 透 析    | 4   | 4   | 0   |
| 在 宅 担 当 医  | 1   | 1   | 0   |
| そ の 他      | 33  | 28  | 5   |
| 合 計        | 334 | 268 | 66  |

## 求 人 登 録 者(公開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

| 登録番号   | 施 設 名                      | 所在地   | 募集診療科                               | 求人数 | 勤務形態   |
|--------|----------------------------|-------|-------------------------------------|-----|--------|
| 160011 | 赤十字センター                    | 宮 崎 市 | 検診                                  | 3   | 常勤・非常勤 |
| 160013 | (医)三晴会 金丸脳神経外科病院           | 宮 崎 市 | 脳外, 整, 放, 麻, 内                      | 10  | 常勤・非常勤 |
| 160017 | (医)プレストピア プレストピア宮崎病院       | 宮 崎 市 | 乳外, 放, 内, 麻                         | 3   | 常勤     |
| 160020 | (財)弘潤会 野崎病院                | 宮 崎 市 | 精, 内                                | 2   | 常勤     |
| 160031 | (社医)同心会 古賀総合病院             | 宮 崎 市 | 呼内, 神内, 眼, 総診, 呼外,<br>病理, 乳外, 整外, 麻 | 11  | 常勤     |
| 160033 | (医)如月会 若草病院                | 宮 崎 市 | 精                                   | 2   | 常勤     |
| 170046 | (医)社団善仁会 市民の森病院            | 宮 崎 市 | 消内, 内分泌内, 呼内, リウ,<br>神内, 健診         | 6   | 常勤・非常勤 |
| 170048 | (医)慶明会 けいめい記念病院            | 国 富 町 | 内, 放, 在宅                            | 3   | 常勤     |
| 180082 | 国立病院機構宮崎東病院                | 宮 崎 市 | 内, 神内, 整, 消内                        | 5   | 常勤     |
| 190087 | 宮崎市郡医師会病院                  | 宮 崎 市 | 内(緩和), 消内, 呼内, 総診                   | 8   | 常勤     |
| 190094 | (医)耕和会 迫田病院                | 宮 崎 市 | 総内, 内視鏡                             | 6   | 常勤・非常勤 |
| 190095 | (医)慶明会 宮崎中央眼科病院            | 宮 崎 市 | 眼                                   | 1   | 常勤     |
| 200104 | (医)社団善仁会 宮崎善仁会病院           | 宮 崎 市 | 内, 外, 救急, 呼外, 婦人, 整,<br>麻           | 7   | 常勤     |
| 200105 | (医)誠友会 南部病院                | 宮 崎 市 | 内, 外, 放                             | 3   | 常勤     |
| 210110 | (医)幸秀会 大江整形外科病院            | 宮 崎 市 | 整                                   | 1   | 常勤     |
| 210118 | 慈英病院                       | 宮 崎 市 | 内, 整, リハ                            | 7   | 常勤・非常勤 |
| 230128 | (医)真愛会 高宮病院                | 宮 崎 市 | 内, 精                                | 2   | 常勤     |
| 230132 | (医)康友会 青島クリニック             | 宮 崎 市 | 内                                   | 1   | 常勤     |
| 230134 | (医)慈光会 宮崎若久病院              | 宮 崎 市 | 精                                   | 1   | 常勤     |
| 230139 | 介護老人保健施設サンフローラみやざき         | 国 富 町 | 内, 外                                | 2   | 常勤     |
| 230143 | (医)社団孝尋会 上田脳神経外科           | 宮 崎 市 | 脳外, 内                               | 2   | 常勤     |
| 230144 | 宮崎生協病院                     | 宮 崎 市 | 総内, 呼内, 消内, 健診                      | 8   | 常勤・非常勤 |
| 230146 | (財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院 | 宮 崎 市 | 内, 神内, 外, 整, 脳外, リハ,<br>麻, 救急, 緩和   | 10  | 常勤     |
| 230148 | (医)コムロ美容外科                 | 宮 崎 市 | 美外, 形成外, 外, 麻                       | 8   | 常勤・非常勤 |
| 230161 | (医)健心会 滝口内科医院              | 宮 崎 市 | 内                                   | 2   | 常勤・非常勤 |
| 230164 | 宮崎県保健所                     | 宮 崎 市 | 公衆衛生                                | 3   | 常勤     |
| 230165 | 野崎病院健診センター                 | 宮 崎 市 | 健診                                  | 1   | 非常勤    |
| 230171 | (医)いなほ会 日高医院               | 宮 崎 市 | 内                                   | 1   | 非常勤    |
| 230175 | 社会福祉法人 キャンパスの会             | 宮 崎 市 | 内, 小, 整                             | 1   | 常勤     |
| 230177 | (医)社団尚成会 近間病院              | 宮 崎 市 | 内, 消内, 消外, 放(いずれか)                  | 1   | 常勤・非常勤 |
| 230178 | 介護老人保健施設 むつみ苑              | 宮 崎 市 | 内                                   | 1   | 常勤     |
| 230180 | (社)藤元メディカルシステム 藤元中央病院      | 宮 崎 市 | 内, 糖内, 呼内, 血内                       | 4   | 常勤     |
| 160008 | (医)正立会 黒松病院                | 都 城 市 | 泌                                   | 1   | 非常勤    |
| 160010 | (特医)敬和会 戸嶋病院               | 都 城 市 | 内, 消内, 整, 神内                        | 7   | 常勤・非常勤 |
| 160018 | (医)宏仁会 メディカルシティ東部病院        | 都 城 市 | 内, 救急, 放, 脳外, 外, 眼,<br>透内, 皮        | 8   | 常勤     |
| 170057 | (医)清陵会 隅病院                 | 都 城 市 | 内, 外, 整                             | 3   | 常勤     |
| 180064 | 国立病院機構都城医療センター             | 都 城 市 | 内, 呼内, 総診                           | 4   | 常勤     |
| 180081 | (医)恵心会 永田病院                | 都 城 市 | 精                                   | 1   | 常勤     |
| 190092 | 都城市郡医師会病院                  | 都 城 市 | 内, 呼内                               | 6   | 常勤     |
| 210114 | 藤元病院                       | 都 城 市 | 精, 内                                | 3   | 常勤     |
| 230127 | (医)倫生会 三州病院                | 都 城 市 | 外, 内, 整                             | 7   | 常勤・非常勤 |
| 230133 | 介護老人保健施設すこやか苑              | 都 城 市 | 不問                                  | 1   | 常勤     |

| 登録番号   | 施 設 名                  | 所在地   | 募集診療科                            | 求人数 | 勤務形態   |
|--------|------------------------|-------|----------------------------------|-----|--------|
| 230137 | 医) 宏仁会 海老原内科           | 都 城 市 | 内                                | 1   | 常勤     |
| 230142 | 医) 魁成会 宮永病院            | 都 城 市 | 内, リハ                            | 2   | 常勤     |
| 230153 | 都城健康サービスセンター           | 都 城 市 | 内                                | 1   | 非常勤    |
| 230157 | 医) 一誠会 都城新生病院          | 都 城 市 | 精, 内                             | 4   | 常勤・非常勤 |
| 230162 | 藤元総合病院                 | 都 城 市 | 内, 透, 循内, 救急, 放, 病理,<br>呼内, 精    | 16  | 常勤     |
| 230172 | 医) 静雄会 藤元上町病院          | 都 城 市 | 内                                | 4   | 常勤・非常勤 |
| 230176 | 一社) 藤元メディカルシステムグリーンホーム | 三 股 町 | 内                                | 1   | 常勤     |
| 230179 | 医) 与州会 柳田クリニック         | 都 城 市 | 外                                | 1   | 非常勤    |
| 230181 | 介護老人保健施設 はまゆう          | 三 股 町 | 内                                | 1   | 常勤     |
| 230183 | 医) 恵心会 坂元医院            | 都 城 市 | 消内, 老人内                          | 2   | 非常勤    |
| 160012 | 医) 伸和会 共立病院            | 延 岡 市 | 外, 整, 放, 内                       | 6   | 常勤     |
| 160021 | 医) 建悠会 吉田病院            | 延 岡 市 | 精                                | 3   | 常勤・非常勤 |
| 160034 | 特医) 健寿会 黒木病院           | 延 岡 市 | 外, 内, 緩和                         | 6   | 常勤・非常勤 |
| 190086 | 早田病院                   | 延 岡 市 | 内                                | 1   | 常勤     |
| 200100 | 医) 育生会 井上病院            | 延 岡 市 | 産婦, 内                            | 2   | 常勤     |
| 200102 | 延岡市医師会病院               | 延 岡 市 | 消内, 消外, 内                        | 5   | 常勤     |
| 210109 | 延岡市夜間急病センター            | 延 岡 市 | 内, 小                             | 2   | 非常勤    |
| 230151 | 介護老人保健施設エクセルライフ        | 延 岡 市 | 内                                | 1   | 常勤     |
| 230156 | 医) 中心会 野村病院            | 延 岡 市 | 内, 外                             | 2   | 常勤     |
| 230163 | 堺胃腸科内科クリニック            | 延 岡 市 | 内                                | 1   | 非常勤    |
| 160039 | 医) 誠和会 和田病院            | 日 向 市 | 外, 内, 整, 神内                      | 6   | 常勤     |
| 210111 | 宮崎県済生会 日向病院            | 門 川 町 | 内                                | 3   | 常勤     |
| 230147 | 美郷町国民健康保険西郷病院          | 美 郷 町 | 内, 整                             | 2   | 常勤     |
| 230152 | 美郷町国民健康保険南郷診療所         | 美 郷 町 | 内                                | 1   | 常勤     |
| 230160 | 日向市立東郷病院               | 日 向 市 | 内, 整                             | 2   | 常勤     |
| 160006 | 都農町国保病院                | 都 農 町 | 内, 放, 外                          | 3   | 常勤     |
| 160023 | 医) 宏仁会 海老原総合病院         | 高 鍋 町 | 内, 腎内, 麻, 総診, 外, 整,<br>脳外, 眼, 健診 | 13  | 常勤・非常勤 |
| 230170 | 介護老人保健施設なでしこ園          | 高 鍋 町 | 内                                | 1   | 常勤     |
| 160024 | 医) 隆徳会 鶴田病院            | 西 都 市 | 内, 外                             | 2   | 常勤     |
| 150002 | 医) 慶明会 おび中央病院          | 日 南 市 | 内, 外, 整                          | 4   | 常勤・非常勤 |
| 150003 | 医) 同仁会 谷口病院            | 日 南 市 | 内                                | 1   | 非常勤    |
| 160022 | 医) 愛鍼会 山元病院            | 日 南 市 | 内                                | 2   | 常勤     |
| 160037 | 医) 十善会 県南病院            | 串 間 市 | 精, 内(いずれか)                       | 1   | 常勤     |
| 170047 | 日南市立中部病院               | 日 南 市 | 内, 外, 整, リハ, 在宅                  | 5   | 常勤     |
| 180071 | 串間市民病院                 | 串 間 市 | 内, 外                             | 2   | 常勤     |
| 230138 | 小玉共立外科                 | 日 南 市 | 不問                               | 2   | 常勤・非常勤 |
| 230149 | 介護老人保健施設おびの里           | 日 南 市 | 内                                | 2   | 常勤・非常勤 |
| 230166 | 医) 秀英会 英医院             | 串 間 市 | 内                                | 1   | 常勤     |
| 230168 | 医) 月陽会 きよひで内科クリニック     | 日 南 市 | 内                                | 7   | 常勤・非常勤 |
| 230182 | 串間市市木診療所               | 串 間 市 | 総診, 内(いずれか)                      | 1   | 常勤     |
| 160019 | 医) 相愛会 桑原記念病院          | 小 林 市 | 内, 皮                             | 4   | 常勤・非常勤 |
| 170043 | 医) 和芳会 小林中央眼科          | 小 林 市 | 眼                                | 2   | 常勤・非常勤 |
| 180067 | 小林市立病院                 | 小 林 市 | 救急, 総診, 放                        | 5   | 常勤     |
| 180076 | 医) 友愛会 園田病院            | 小 林 市 | 外, 循内, 整, 脳外                     | 9   | 常勤・非常勤 |
| 190090 | 特医) 浩然会 内村病院           | 小 林 市 | 精, 内                             | 3   | 常勤     |
| 190091 | 医) 友愛会 野尻中央病院          | 小 林 市 | 整, 内                             | 4   | 常勤・非常勤 |
| 230155 | 医) 三和会 池田病院            | 小 林 市 | 脳外, 内, 放, 外, リハ                  | 6   | 常勤・非常勤 |
| 230167 | 介護老人保健施設さわかセンター        | 小 林 市 | 内                                | 1   | 非常勤    |
| 230169 | 医) 連理会 和田クリニック         | 小 林 市 | 内                                | 2   | 常勤     |
| 230173 | 医) 高千穂会 大森内科           | 小 林 市 | 内                                | 2   | 常勤・非常勤 |
| 170049 | 五ヶ瀬町国民健康保険病院           | 五ヶ瀬町  | 内, 外                             | 2   | 常勤     |
| 180070 | 高千穂町国保病院               | 高千穂町  | 内, 透                             | 3   | 常勤     |
| 190088 | 日之影町国保病院               | 日之影町  | 内, 整                             | 1   | 常勤     |

## 病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成29年8月14日現在

|                 |                                                                                                                                                             |                                       |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 譲渡物件         | ①宮崎市阿波岐ヶ原町前田 2633番，2634番<br>土地のみ：2,022.17㎡(612.77坪)                                                                                                         | 所有者：児湯医師会員<br>(医) 崧雲会 林クリニック          |
|                 | ②西都市中央町2丁目6番地<br>土地：2,280.83㎡(691.16坪)<br>建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建<br>1階 674.74㎡ }<br>2階 547.79㎡ } 1,400.48㎡(424.38坪)<br>3階 177.95㎡ }<br>※別途駐車場あり(20台)            | 所有者：西都市西児湯医師会員<br>函師医院跡               |
| 2. 譲渡又は<br>賃貸物件 | ①小林市南西方49番地1<br>土地：1,991.34㎡(603.43坪)<br>建物：鉄筋コンクリート造陸屋根2階建<br>1階 471.41㎡ }<br>2階 638.35㎡ } 1,109.76㎡(336.29坪)<br>※駐車場あり(30台)                               | 所有者：西諸医師会員<br>(医) 社団 産婦人科<br>生駒クリニック跡 |
|                 | ②日向市鶴町2丁目9番15号<br>土地：792㎡(240坪)<br>建物：RC造 鉄骨造<br>1階 237.49㎡ }<br>2階 338.25㎡ } 913.99㎡(276.96坪)<br>3階 338.25㎡ }<br>※別途駐車場あり(10台)                             | 所有者：日向市東臼杵郡医師会員<br>三ヶ尻整形外科跡           |
| 3. 賃貸物件         | ①延岡市無鹿町1丁目710<br>土地：1,654.58㎡(501.38坪)<br>建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建<br>1階 145.76㎡ }<br>2階 338.70㎡ } 829.40㎡(251.33坪)<br>3階 330.69㎡ }<br>4階 14.25㎡ }<br>※駐車場あり(50台) | 所有者：延岡市医師会員<br>(医) 社団 隆豊会<br>江崎医院跡    |

### ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

### ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地(宮崎県医師協同組合)  
TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179  
E-mail: isikyouto@miyazaki.med.or.jp

## 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

### 宮崎県医師会広報委員会

E - Mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、

裏面の用紙をご利用ください。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX: 0985-27-6550

き  
り  
と  
り  
せ  
ん

お 名 前 :

ご 所 属 :

T E L :

F A X :

## お知らせ

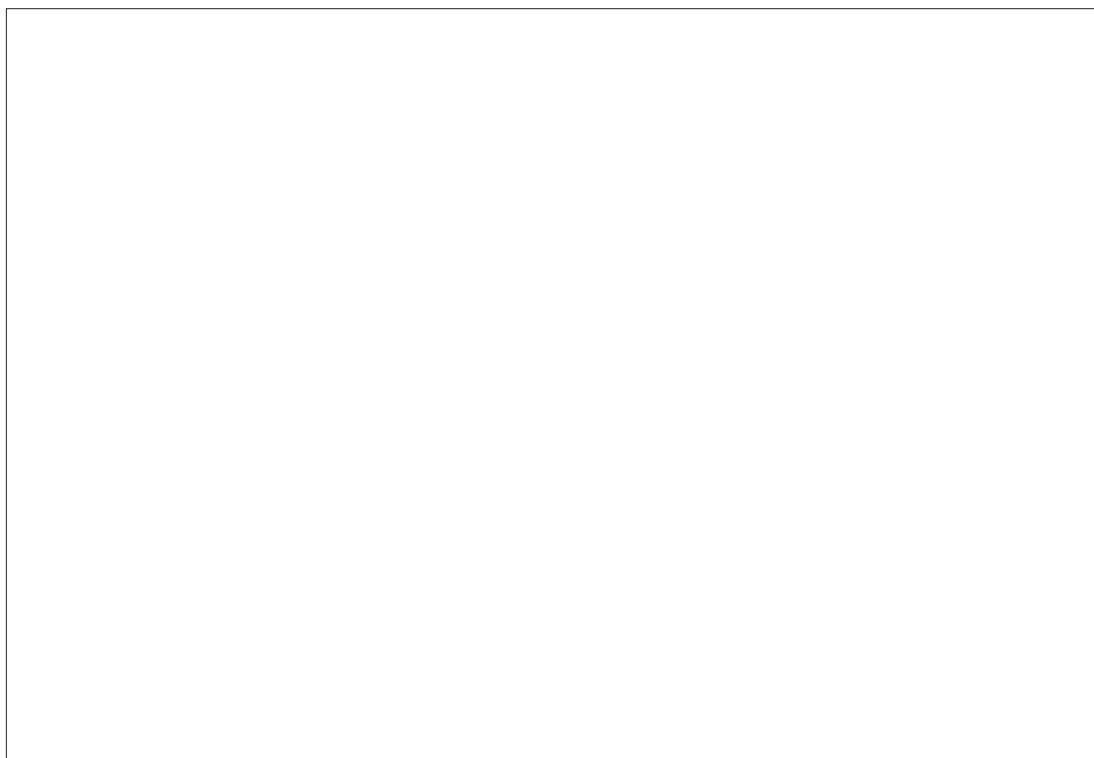
平成29年度日本医師会認定医療秘書養成制度  
卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を県内3教育機関に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し、医療事務に必要な知識、最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに、医療機関の今日的な使命を自覚し、誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも力を入れています。

今年度、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、県内3教育機関からご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせ等につきましては、直接各教育機関の担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

|                                                             |                                                            |                                                          |
|-------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| 宮崎学園短期大学<br>(宮崎市)                                           | 宮崎医療管理専門学校<br>(宮崎市)                                        | 都城コアカレッジ<br>(都城市)                                        |
| 就職希望者 19名<br>(女 19名)                                        | 就職希望者 20名<br>(男 3名, 女 17名)                                 | 就職希望者 2名<br>(女 2名)                                       |
| 連絡先: TEL0985-85-0146<br>宮崎市清武町加納丙1415<br>担当: 田村 広美<br>武村 順子 | 連絡先: TEL0985-86-2271<br>宮崎市田野町甲1556-1<br>担当: 福元 進<br>鬼束 咲子 | 連絡先: TEL0986-38-4811<br>都城市吉尾町77-8<br>担当: 吉原真由美<br>中山さおり |



医療勤務環境改善支援センターを

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成29年 8 月 29 日

| 9  |   |                                                                                                            | 月  |   |                                                                                                      |
|----|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 金 | 18:00 医療勤務環境改善セミナー<br>19:00 県周産期医療協議会                                                                      |    |   | 9:00 アジア大洋州医師会連合(CMAAO)東京総会                                                                          |
| 2  | 土 | 九州医師協同組合連合会理事会<br>15:30 県医師会医学会<br>16:00 全国国保組合協会九州支部総会・研修会                                                | 14 | 木 | 13:00 社会保険医療担当者の個別指導<br>19:00 広報委員会<br>19:30 県産婦人科医会常任理事会                                            |
| 3  | 日 |                                                                                                            | 15 | 金 | 14:00 労災診療費算定実務研修会<br>15:00 (日医)日医医療秘書認定試験委員会                                                        |
| 4  | 月 | 15:30 みやざき東京オリンピック・パラリンピックおもてなしプロジェクト連携会議<br>19:00 県有床診療所協議会役員会<br>19:30 県臨床研修・専門研修運営協議会                   | 16 | 土 | 14:30 産業医研修会(前期)<br>15:00 園医部会総会・研修会(TV会議)<br>15:30 九州ブロック産婦人科医会会長会議                                 |
| 5  | 火 | 14:00 宮大医学部医の倫理委員会<br>18:00 治験審査委員会<br>19:00 第15回常任理事協議会                                                   | 17 | 日 | 9:40 九州山口薬学大会本会議                                                                                     |
| 6  | 水 | 14:00 (日医)日医救急災害医療対策委員会<br>15:00 保育事業養成講座<br>19:00 三師会懇談会                                                  | 18 | 月 | (敬老の日)                                                                                               |
| 7  | 木 | 14:00 労災診療費算定実務研修会<br>15:00 県地域医療対策協議会・県地域医療支援機構代表者会議<br>18:30 日本整形外科学会スポーツ医学会学術集会晩餐会(会長)<br>19:00 健康教育委員会 | 19 | 火 | 15:00 (日医)都道府県医師会長協議会<br>18:20 医協打合せ会<br>19:00 第16回常任理事協議会                                           |
| 8  | 金 | 18:00 宮崎銀行経営説明会<br>19:00 医学会誌編集委員会                                                                         | 20 | 水 | 19:00 土曜会(報道機関支局長の会)との意見交換会                                                                          |
| 9  | 土 | 13:00 保育支援事業スキルアップ研修会/全体顔合わせ会<br>15:00 医師クランク育成・スキルアップ研修会<br>15:30 県産婦人科医会秋期総会                             | 21 | 木 | 13:30 全国国保組合協会理事長・役員研修会<br>15:00 (日医)日医医療IT委員会                                                       |
| 10 | 日 | 9:00 放射線テロ・放射線災害対策担当者養成講習会<br>9:30 医師クランク育成・スキルアップ研修会<br>10:00 職員採用試験(二次)                                  | 22 | 金 | 19:00 広報委員会                                                                                          |
| 11 | 月 | 13:30 県立病院事業評価委員会                                                                                          | 23 | 土 | (秋分の日)<br>9:00 医療メディエーター養成研修会基礎編<br>9:00 (日医)都道府県災害医療コーディネート研修<br>15:00 全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会・運営委員会   |
| 12 | 火 | 19:00 第6回全理事協議会                                                                                            | 24 | 日 | 9:00 医療メディエーター養成研修会基礎編<br>9:30 (日医)都道府県災害医療コーディネート研修<br>10:00 熊本県医師会新会館内覧会<br>12:30 熊本県医師会新会館落成記念祝賀会 |
| 13 | 水 | 13:00 アジア大洋州医師会連合(CMAAO)東京総会<br>14:00 地域医療現場における働きやすい環境を考える会検討会<br>16:00 県産婦人科医会水子供養参拝                     | 25 | 月 | 19:00 医師国保組合理事会                                                                                      |
|    |   |                                                                                                            | 26 | 火 | 19:00 宮大医学部5年生未来の医療を語り合う全員交流会<br>19:00 第17回常任理事協議会                                                   |
|    |   |                                                                                                            | 27 | 水 | 15:00 労災診療指導委員会                                                                                      |
|    |   |                                                                                                            | 28 | 木 | 13:00 (日医)産業保健活動推進全国会議                                                                               |
|    |   |                                                                                                            | 29 | 金 | 14:00 (日医)大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会<br>15:00 (日医)日医医療情報システム協議会運営委員会                                      |
|    |   |                                                                                                            | 30 | 土 | 16:00 県有床診療所協議会総会・講演会                                                                                |

※都合により、変更になることがあります。

行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成29年 8 月 29 日

| 10 |   |                                                            |  | 月  |   |                                                                                                                                                                                                                                        |                  |
|----|---|------------------------------------------------------------|--|----|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|
| 1  | 日 |                                                            |  | 17 | 火 | 18 : 30 第 8 回全理事協議会<br>19 : 20 各郡市医師会長協議会                                                                                                                                                                                              |                  |
| 2  | 月 |                                                            |  |    |   |                                                                                                                                                                                                                                        |                  |
| 3  | 火 | 18 : 30 第 7 回全理事協議会<br>19 : 00 宮崎大学医学部教授等と県医師会<br>役員等との懇談会 |  | 18 | 水 | 14 : 00 (日医)都道府県医師会小児在宅ケ<br>ア担当理事連絡協議会<br>14 : 00 都道府県医師会小児在宅ケア担当<br>理事連絡協議会(日医TV会議)                                                                                                                                                   |                  |
| 4  | 水 | (日医)日医社保指導者講習会<br>県プライマリ・ケア研究会学術広<br>報委員会(金丸常任理事)          |  | 19 | 木 |                                                                                                                                                                                                                                        |                  |
| 5  | 木 | (日医)日医社保指導者講習会<br>15 : 00 (日医)日医公衆衛生委員会                    |  | 20 | 金 | 12 : 15 全国医師国保組合連合会代表者<br>会・全体協議会                                                                                                                                                                                                      | ↑                |
| 6  | 金 | 14 : 00 (日医)日医勤務医委員会<br>19 : 00 医療現場のワークライフバランス<br>セミナー    |  | 21 | 土 | 九州医師協同組合連合会通常<br>総会<br>10 : 00 全国医師会勤務医部会連絡協<br>議会<br>13 : 00 日本産婦人科医会地域代表者会<br>13 : 30 県訪問看護ステーション連絡<br>協議会総会・研修会<br>14 : 00 県認知症高齢者グループホーム<br>連絡協議会設立15周年記念講演会<br>産業医研修会(実地)<br>14 : 30 九州各県内科医会連絡協議会及<br>び九州各県内科審査委員懇話会等<br>15 : 00 | 国<br>保<br>審<br>査 |
| 7  | 土 | 15 : 00 県警察医会総会・特別講演会<br>17 : 00 日本臨床内科医学会・理事会・代<br>議委員会   |  | 22 | 日 | 九州医師協同組合連合会通常<br>総会<br>日本産婦人科医会学術集会                                                                                                                                                                                                    |                  |
| 8  | 日 | 8 : 50 日本臨床内科医学会・理事会・代<br>議委員会                             |  | 23 | 月 | 16 : 00 県ロコモティブシンドローム<br>対策協議会<br>19 : 00 広報委員会                                                                                                                                                                                        |                  |
| 9  | 月 | (体育の日)<br>9 : 00 日本臨床内科医学会・理事会・代<br>議委員会                   |  | 24 | 火 | 19 : 00 第19回常任理事協議会                                                                                                                                                                                                                    | ↓                |
| 10 | 火 | 18 : 00 治験審査委員会<br>19 : 00 第18回常任理事協議会                     |  | 25 | 水 | 15 : 00 労災診療指導委員会                                                                                                                                                                                                                      |                  |
| 11 | 水 | 16 : 00 支払基金幹事会<br>19 : 00 健康スポーツ医学委員会                     |  | 26 | 木 |                                                                                                                                                                                                                                        |                  |
| 12 | 木 | 19 : 30 県産婦人科医会常任理事会                                       |  | 27 | 金 | 16 : 00 九医連常任委員会<br>17 : 00 九医連臨時委員総会                                                                                                                                                                                                  |                  |
| 13 | 金 |                                                            |  |    |   |                                                                                                                                                                                                                                        |                  |
| 14 | 土 |                                                            |  |    |   | 病院部会・医療法人部会合同研<br>修会                                                                                                                                                                                                                   |                  |
| 15 | 日 |                                                            |  | 28 | 土 | 9 : 00 九医連第 1 回各種協議会<br>11 : 30 九医連各種協議会報告会<br>13 : 00 九州医師会総会・医学会                                                                                                                                                                     |                  |
| 16 | 月 | 19 : 00 広報委員会<br>19 : 00 専門医共通講習会「医療倫理・感<br>染対策」(TV会議)     |  | 29 | 日 | 九医学分科会・記念行事                                                                                                                                                                                                                            |                  |
|    |   |                                                            |  | 30 | 月 |                                                                                                                                                                                                                                        |                  |
|    |   |                                                            |  | 31 | 火 |                                                                                                                                                                                                                                        |                  |

※都合により、変更になることがあります。

行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

# 医 学 会 ・ 講 演 会

## 日 本 医 師 会 生 涯 教 育 講 座 認 定 学 会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会（胃・大腸・肺・乳）

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

| 名称・日時・場所                                               | 演 題                                                    | CC<br>(単位)<br>がん検診        | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                          |
|--------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|---------------------------|--------------------------------------------------------------|
| 宮崎県医療勤務環境改善セミナー<br>9月1日(金)<br>18:00～19:50<br>県医師会館     | 勤務環境改善は医療・介護から<br>日本医業経営コンサルタント協会福岡支部・理事<br>水上 朝雄      | 6<br>(0.5)                | ◇主催<br>宮崎県医療勤務環境改善支援センター<br>(連絡先)<br>宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118 |
|                                                        | 医療の勤務環境改善は，病院の経営戦略<br>医療法人聖ルチア会理事長<br>聖ルチア病院長<br>大治 太郎 | 7<br>(1.0)                |                                                              |
| 江南医療連携の会<br>特別講演会<br>9月2日(土)<br>15:00～17:30<br>宮日会館    | 宮崎江南病院整形外科の役割<br>宮崎江南病院整形外科医長<br>甲斐 糸乃                 | 1<br>(0.5)                | ◇主催<br>江南医療連携の会<br>(連絡先)<br>宮崎江南病院地域医療連携室<br>☎0985-52-4004   |
|                                                        | スポーツドクターの役割<br>宮崎大学医学部附属病院整形外科助教<br>山口 奈美              | 1<br>(1.0)                |                                                              |
| 平成29年度宮崎県<br>医師会医学会<br>9月2日(土)<br>15:30～17:30<br>県医師会館 | 宮崎県における外科医師養成<br>宮崎大学医学部外科学講座<br>心臓血管外科学分野教授<br>中村 都英  | 1<br>(0.5)<br>12<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118                              |
|                                                        | 初期研修から専門医取得まで－宮崎大学の取組み－<br>宮崎大学医学部長<br>丸山 眞杉           | 1<br>(0.5)<br>12<br>(0.5) |                                                              |

| 名称・日時・場所                                                                    | 演 題                                                                                | CC<br>(単位)<br>がん検診                                                  | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                                                                                      |
|-----------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>第20回宮崎神経眼科セミナー</b><br>9月2日(土)<br>18:00～21:00<br>KITEN<br><br>参加費: 2,000円 | <b>視力の計算のしかた</b><br>愛知淑徳大学健康医療科学部視覚科学講座教授<br>柏井 聡                                  | 12<br>(0.5)<br><br>15<br>(0.5)                                      | ◇主催<br>宮崎神経眼科ネットワーク<br>◇共催<br>参天製薬(株)<br>(連絡先)<br>尾崎眼科<br>☎0982-52-5600                                                    |
|                                                                             | <b>視覚の基本メカニズム</b><br>愛知淑徳大学健康医療科学部視覚科学講座教授<br>柏井 聡                                 | 19<br>(0.5)<br><br>36<br>(1.0)                                      |                                                                                                                            |
| <b>日向市東臼杵郡医師会学術講演会</b><br>9月6日(水)<br>19:00～20:00<br>ホテルベルフォー<br>ト日向         | <b>意識消失および脳梗塞の原因を探して<br/>           —Reveal LINQの可能性—</b><br>宮崎市郡医師会病院循環器内科長 足利 敬一 | 78<br>(1.0)                                                         | ◇主催<br>※日向市東臼杵郡医師会<br>☎0982-52-0222<br>◇共催<br>日向市東臼杵郡内科医会<br>日向市東臼杵郡薬剤師会<br>日本メドトロニック(株)<br>ブリストル・マイヤーズスクイブ(株)<br>ファイザー(株) |
| <b>宮崎県医師会産業医研修会</b><br>9月7日(木)<br>14:30～16:30<br>県医師会館                      | <b>企業における受動喫煙防止対策</b><br>産業保健相談員<br>宮崎県立看護大学教授 江藤 敏治<br><br>生涯研修の専門研修会: 2単位        | 9<br>(0.5)<br><br>11<br>(0.5)<br><br>12<br>(0.5)<br><br>82<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                                                                   |

| 名称・日時・場所                                                                                                          | 演 題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | CC<br>(単位)<br>がん検診                                                                                               | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                                                             |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>都城市北諸県郡医師会内科医会学術講演会</b><br>9月7日(木)<br>18:50~20:30<br>ホテル中山荘                                                    | <b>2型糖尿病に対する新しいcombination therapy</b><br>潤和会記念病院糖尿病・代謝内科部長<br>水田 雅也                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 73<br>(0.5)<br>76<br>(0.5)<br>82<br>(0.5)                                                                        | ◇主催<br>都城市北諸県郡医師会内科医会<br>◇共催<br>田辺三菱製薬(株)<br>第一三共(株)<br>(連絡先)<br>都城市北諸県郡医師会<br>☎0986-22-0711                                    |
| <b>西臼杵郡医師会学術講演会</b><br>9月8日(金)<br>19:00~20:30<br>ホテル高千穂                                                           | <b>療養行動を改善する糖尿病薬物治療</b><br>大分県立病院内分泌・代謝内科部長 瀬口 正志                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 10<br>(0.5)<br>76<br>(0.5)                                                                                       | ◇主催<br>※西臼杵郡医師会<br>☎0982-73-2010<br>◇共催<br>延岡市西臼杵郡薬剤師会<br>日本イーライリリー(株)<br>日本ベーリンガーインゲルハイム(株)                                    |
| <b>第43回日本整形外科学スポーツ医学会学術集会</b><br>9月8日(金)<br>8:20~18:20<br>9月9日(土)<br>9:10~16:30<br>シーガイアコンベンションセンター<br>参加費:1,000円 | (1日目 8:30~9:30)<br><b>オリンピックとスポーツ医・科学</b><br>前国立スポーツ科学センター長 川原 貴<br>-----<br>(1日目 8:30~9:30)<br><b>スポーツ参加と変形性関節症</b><br>京都大学整形外科教授 松田 秀一<br>-----<br>(1日目 11:20~12:20)<br><b>Topic1: Highlight in the evolution of ACL surgery:</b><br><b>Remnant preserved versus Non-remnant ACL</b><br><b>Reconstruction Using Achilles Allograft</b><br><b>Topic2: Arthroscopic Assisted Simultaneously ACL and PCL Reconstruction in Knee Dislocation</b><br>KOSSM President/Wonkwang University Hospital, Korea<br>Churl Hong Chun | 1<br>(0.5)<br>10<br>(0.5)<br>-----<br>61<br>(0.5)<br>73<br>(0.5)<br>-----<br>61<br>(0.5)<br>-----<br>62<br>(0.5) | ◇主催<br>第43回日本整形外科学スポーツ医学会学術集会<br>◇共催<br>三笠製薬(株)<br>オリンパス テルモ バイオマテリアル(株)<br>大正富山医薬品(株)<br>(連絡先)<br>(株)コングレ九州支社<br>☎092-716-7116 |

| 名称・日時・場所                                                                                                                   | 演 題                                                                                                                                                                   | CC<br>(単位)<br>がん検診         | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                                                       |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>第43回日本整形外<br/>科スポーツ医学会<br/>学術集会</b><br>9月8日(金)<br>8:20～18:20<br>9月9日(土)<br>9:10～16:30<br>シーガイアコンベンションセンター<br>参加費:1,000円 | (1日目 12:30～13:30)<br><b>障害者の運動生理学上の特質</b><br><b>ー健康寿命延伸のための運動指導でも応用出来る知見ー</b><br>和歌山県立医科大学<br>リハビリテーション医学講座教授<br>みらい医療推進センター<br>スポーツ・温泉医学研究所 田島 文博                    | 10<br>(0.5)<br>13<br>(0.5) | ◇主催<br>第43回日本整形外科学会学術集会<br>◇共催<br>三笠製薬(株)<br>オリンパス テルモ バイオマテリアル(株)<br>大正富山医薬品(株)<br>(連絡先)<br>(株)コングレ九州支社<br>☎092-716-7116 |
|                                                                                                                            | (1日目 12:30～13:30)<br><b>膝関節スポーツ外傷に起因する軟骨障害と骨切り術</b><br>東京女子医科大学整形外科教授 岡崎 賢                                                                                            | 61<br>(0.5)<br>62<br>(0.5) |                                                                                                                           |
|                                                                                                                            | (1日目 12:30～13:30)<br><b>スポーツに伴う関節軟骨傷害の病態と治療</b><br>島根大学医学部整形外科学教授 内尾 祐司                                                                                               | 11<br>(0.5)<br>61<br>(0.5) |                                                                                                                           |
|                                                                                                                            | (1日目 12:30～13:30)<br><b>アスリートの手関節、手指外傷と障害</b><br><b>ー競技特性や選手の環境に配慮した治療、復帰支援ー</b><br>中日新聞社健康保険組合同日病院副院長<br>中尾 悦宏                                                       | 61<br>(0.5)<br>63<br>(0.5) |                                                                                                                           |
|                                                                                                                            | (1日目 16:30～17:30)<br><b>The Approach to the Complex Knee : Alignment, Cartilage and Meniscus</b><br>AJSM Editor/The University of New Mexico,USA<br>Daniel C. Wascher | 15<br>(0.5)<br>61<br>(0.5) |                                                                                                                           |
|                                                                                                                            | (2日目 12:30～13:30)<br><b>スポーツ愛好者における脊椎疾患の手術タイミング</b><br><b>ー抗凝固薬休薬も含めてのインフォームドコンセントー</b><br>地域医療機能推進機構大阪病院副院長<br>富士 武史                                                 | 59<br>(0.5)<br>60<br>(0.5) |                                                                                                                           |
|                                                                                                                            |                                                                                                                                                                       |                            |                                                                                                                           |

| 名称・日時・場所                                                                                                                       | 演 題                                                                                                                                                   | CC<br>(単位)<br>がん検診         | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                                                       |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>第43回日本整形外<br/>科スポーツ医学会<br/>学術集会</b><br>9月8日(金)<br>8:20～18:20<br>9月9日(土)<br>9:10～16:30<br>シーガイアコンベン<br>ションセンター<br>参加費:1,000円 | (2日目 12:30～13:30)<br><b>ラグーマンの膝スポーツ外傷</b><br>大阪府立大学総合リハビリテーション学研究科<br>教授 堀部 秀二                                                                        | 61<br>(0.5)<br>62<br>(0.5) | ◇主催<br>第43回日本整形外科学会学術集会<br>◇共催<br>三笠製薬(株)<br>オリンパス テルモ バイオマテリアル(株)<br>大正富山医薬品(株)<br>(連絡先)<br>(株)コングレ九州支社<br>☎092-716-7116 |
|                                                                                                                                | (2日目 12:30～13:30)<br><b>スポーツ外傷・障害におけるPRP療法の基礎と実践<br/>—病態に応じたPRPの使い分けの時代へ—</b><br>順天堂大学整形外科・スポーツ診療科助教<br>FIFA Medical Centre of Excellence Tokyo 齋田 良知 | 2<br>(0.5)<br>4<br>(0.5)   |                                                                                                                           |
|                                                                                                                                | (2日目 12:30～13:30)<br><b>自家腱ハイブリッド代用材料を用いた膝靱帯再建術:<br/>基礎と臨床</b><br>北海道大学医学研究院<br>スポーツ先端治療開発医学分野教授 近藤 英司                                                | 61<br>(0.5)<br>62<br>(0.5) |                                                                                                                           |
|                                                                                                                                | (2日目 12:30～13:30)<br><b>動的不安定性を指標とした変形性膝関節症の保存的治<br/>療提案</b><br>京都大学医学研究科人間健康科学系専攻准教授<br>青山 朋樹                                                        | 61<br>(0.5)<br>62<br>(0.5) |                                                                                                                           |
|                                                                                                                                | (2日目 13:40～14:40)<br><b>脊椎領域におけるスポーツ医学の最近の話題</b><br>筑波大学医学医療系整形外科教授 山崎 正志                                                                             | 19<br>(0.5)<br>60<br>(0.5) |                                                                                                                           |
|                                                                                                                                | (2日目 13:40～14:40)<br><b>The Paralympic Athlete<br/>—Common Performance Issues—</b><br>Loughborough University, UK Vicky Goosey-Tolfrey                | 13<br>(0.5)<br>19<br>(0.5) |                                                                                                                           |

| 名称・日時・場所                                                                                                                       | 演 題                                                                                          | CC<br>(単位)<br>がん検診         | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                                                       |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>第43回日本整形外<br/>科スポーツ医学会<br/>学術集会</b><br>9月8日(金)<br>8:20~18:20<br>9月9日(土)<br>9:10~16:30<br>シーガイアコンベン<br>ションセンター<br>参加費:1,000円 | (2日目 13:40~14:40)<br><b>整形外科日常診療に役に立つ超音波検査</b><br>宮崎県立日南病院整形外科医長 福田 一                        | 7<br>(0.5)<br>61<br>(0.5)  | ◇主催<br>第43回日本整形外科学会学術集会<br>◇共催<br>三笠製薬(株)<br>オリンパス テルモ バイオマテリアル(株)<br>大正富山医薬品(株)<br>(連絡先)<br>(株)コングレ九州支社<br>☎092-716-7116 |
|                                                                                                                                | (2日目 14:50~15:50)<br><b>新たな解剖学的知見からみた足部スポーツ障害の診断<br/>と治療</b><br>聖マリアンナ医科大学整形外科学講座教授<br>仁木 久照 | 62<br>(0.5)<br>63<br>(0.5) |                                                                                                                           |
|                                                                                                                                |                                                                                              |                            |                                                                                                                           |
|                                                                                                                                |                                                                                              |                            |                                                                                                                           |
| <b>平成29年度宮崎県<br/>産婦人科医会・宮<br/>崎県産科婦人科学<br/>会秋期定時総会・<br/>市民公開講座</b><br>9月9日(土)<br>15:30~19:00<br>宮崎観光ホテル                        | <b>不育症について理解を深めましょう</b><br>富山大学医学薬学研究部産科婦人科教授<br>齋藤 滋                                        | 71<br>(1.5)                | ◇主催<br>宮崎県産科婦人科学会<br>◇共催<br>※宮崎県産婦人科医会<br>☎0985-22-5118<br>日本産科婦人科学会<br>日本産婦人科医会                                          |
| <b>第29回宮崎県糖尿<br/>病教育セミナー</b><br>9月10日(日)<br>9:55~16:45<br>新富町文化会館<br>参加費:3,000円                                                | <b>患者さんとともに歩む糖尿病療養支援</b><br>潤和会記念病院看護師 山下 加代子                                                | 76<br>(1.0)                | ◇主催<br>宮崎県糖尿病懇話会<br>◇共催<br>※ノボルディスクファーマ(株)<br>☎0985-20-1891<br>◇後援<br>宮崎県医師会<br>児湯医師会<br>児湯内科医会<br>宮崎県糖尿病対策推進会議           |
|                                                                                                                                | <b>今日から使える透析予防の3つのポイント</b><br>平和台病院内科 椎屋 智美                                                  | 76<br>(1.0)                |                                                                                                                           |
|                                                                                                                                | <b>昼食の解説について</b><br>内田医院管理栄養士 杉田 しのぶ                                                         | 76<br>(0.5)                |                                                                                                                           |
|                                                                                                                                | <b>気づきを導く糖尿病カンバセーションマップ</b><br>日南市立中部病院看護師 阿部 香織                                             | 76<br>(0.5)                |                                                                                                                           |

| 名称・日時・場所                                                                   | 演 題                                                                       | CC<br>(単位)<br>がん検診             | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                                              |
|----------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>第29回宮崎県糖尿病教育セミナー</b><br>9月10日(日)<br>9:55～16:45<br>新富町文化会館<br>参加費:3,000円 | <b>糖尿病療養指導カードを活用した療養支援</b><br>平和台病院看護師長 原田 和子                             | 76<br>(0.5)                    | ◇主催<br>宮崎県糖尿病懇話会<br>◇共催<br>※ノボルディスクファーマ株式会社<br>☎0985-20-1891<br>◇後援<br>宮崎県医師会<br>児湯医師会<br>児湯内科医会<br>宮崎県糖尿病対策推進会議 |
|                                                                            | <b>座談会形式の参加型糖尿病教室(相談会)を実施して<br/>ー管理栄養士の視点からー</b><br>都城市郡医師会病院栄養管理室長 稲次 里美 | 76<br>(0.5)                    |                                                                                                                  |
|                                                                            | <b>糖尿病と心理(糖尿病医療学)</b><br>鹿児島医療センター糖尿病・内分泌内科部長 郡山 暢之                       | 76<br>(0.5)                    |                                                                                                                  |
| <b>第60回宮崎インターベンション研究会</b><br>9月11日(月)<br>19:00～20:30<br>宮崎観光ホテル            | <b>心不全パンデミックをむかえて<br/>ー心不全難民を作らないためにー</b><br>御幸病院院長 西上 和宏                 | 7<br>(0.5)<br><br>45<br>(0.5)  | ◇主催<br>宮崎インターベンション研究会<br>◇共催<br>田辺三菱製薬(株)<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会病院<br>☎0985-24-9119                                 |
| <b>都城市北諸県郡医師会学術講演会</b><br>9月11日(月)<br>19:00～20:30<br>都城ロイヤルホテル             | <b>トログリフロジン臨床経験</b><br>大橋クリニック院長 大橋 剛                                     | 23<br>(0.5)                    | ◇主催<br>※都城市北諸県郡医師会<br>☎0986-22-0711<br>◇共催<br>興和創薬(株)                                                            |
|                                                                            | <b>肥満2型糖尿病の減量治療について</b><br>光川内科医院院長 光川 知宏                                 | 76<br>(0.5)<br><br>82<br>(0.5) |                                                                                                                  |
| <b>第22回児湯内科医学会学術講演会</b><br>9月12日(火)<br>19:15～20:15<br>ホテル四季亭               | <b>失神ー気をつけなければならない不整脈ー</b><br>産業医科大学医学部不整脈先端治療学教授 安部 治彦                   | 33<br>(1.0)                    | ◇主催<br>児湯内科医会<br>◇共催<br>第一三共(株)<br>(連絡先)<br>児湯医師会<br>☎0983-22-1641                                               |

| 名称・日時・場所                                                                     | 演 題                                                                                                                                               | CC<br>(単位)<br>がん検診         | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                            |
|------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>南那珂医師会生涯<br/>教育医学会</b><br>9月13日(水)<br>18:50~20:00<br>南那珂医師会館              | <b>2型糖尿病に対する新しいcombination therapy</b><br>潤和会記念病院糖尿病・代謝内科部長<br>水田 雅也                                                                              | 76<br>(0.5)<br>82<br>(0.5) | ◇主催<br>※南那珂医師会<br>☎0987-23-3411<br>◇共催<br>田辺三菱製薬(株)<br>第一三共(株)                                 |
| <b>西臼杵地区学術講<br/>演会</b><br>9月13日(水)<br>19:00~20:10<br>ホテル高千穂                  | <b>週 1 回DPP-4阻害薬による糖尿病の最新治療に<br/>ついて</b><br>ひがし成人・循環器内科クリニック院長<br>東 隆行                                                                            | 76<br>(0.5)<br>82<br>(0.5) | ◇主催<br>※西臼杵郡医師会<br>☎0982-73-2010<br>◇共催<br>延岡市西臼杵郡薬剤師会<br>MSD(株)                               |
| <b>第210回宮崎県泌<br/>尿器科医会</b><br>9月14日(木)<br>19:00~20:30<br>宮崎観光ホテル             | <b>宮崎大学におけるオプジーボの使用経験</b><br>宮崎大学医学部泌尿器科助教<br>高森 大樹<br>-----<br><b>腎細胞癌の新たな治療戦略ー免疫チェックポイント阻<br/>害剤の登場でどう変わるのかー</b><br>近畿大学医学部泌尿器科学教室主任教授<br>植村 天受 | 9<br>(0.5)<br>9<br>(1.0)   | ◇主催<br>※宮崎県泌尿器科医会<br>(宮崎大学医学部泌尿器科内)<br>☎0985-85-2968<br>◇共催<br>小野薬品工業(株)<br>ブリストル・マイヤーズスクイブ(株) |
| <b>第 6 回在宅医療実<br/>践のための多職種<br/>協働研修会</b><br>9月14日(木)<br>19:00~21:00<br>県医師会館 | <b>多くの合併症を抱えた原発不明癌の 1 例と多職種協働</b><br>クリニックうしたに副院長<br>松崎 泰憲                                                                                        | 13<br>(1.5)                | ◇主催<br>宮崎市郡在宅医会<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会病院<br>☎0985-24-9119                                         |

| 名称・日時・場所                                                                         | 演 題                                                                  | CC<br>(単位)<br>がん検診             | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                                                 |
|----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>西諸医師会・西諸<br/>内科医会合同学術<br/>講演会</b><br>9月14日(木)<br>19:00～20:10<br>ガーデンベルズ<br>小林 | <b>2型糖尿病に対する新しいcombination therapy</b><br>潤和会記念病院糖尿病・代謝内科部長<br>水田 雅也 | 76<br>(1.0)                    | ◇主催<br>※西諸医師会<br>☎0984-23-2113<br>◇共催<br>西諸内科医会<br>日本イーライリリー(株)<br>日本ベーリンガーインゲルハイム(株) |
| <b>宮崎市郡内科医会<br/>学術講演会</b><br>9月15日(金)<br>19:00～20:00<br>宮崎観光ホテル                  | <b>悪性腫瘍に対する陽子線治療</b><br>メディポリス医学研究所<br>メディポリス国際陽子線治療センター長<br>萩野 尚    | 9<br>(1.0)                     | ◇主催<br>宮崎市郡内科医会<br>◇共催<br>メディポリス医学研究所<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会<br>☎0985-53-3434            |
| <b>延岡医学会学術講<br/>演会</b><br>9月15日(金)<br>19:00～20:00<br>ホテルメリージュ<br>延岡              | <b>DOACの有効性・安全性を再考する</b><br>久留米大学病院循環器センター教授 上野 高史                   | 11<br>(0.5)<br><br>78<br>(0.5) | ◇主催<br>延岡医学会<br>◇共催<br>パイエル薬品(株)<br>(連絡先)<br>延岡市医師会<br>☎0982-21-1300                  |
| <b>県北産婦人科医会<br/>(9月度例会)</b><br>9月15日(金)<br>19:00～20:00<br>カルムハウス                 | <b>術中膀胱鏡検査でわかったことわからないこと</b><br>宮崎県立延岡病院産婦人科・周産期科医長<br>大塚 晃生         | 7<br>(1.0)                     | ◇主催<br>県北産婦人科医会<br>(連絡先)<br>延岡市医師会<br>☎0982-21-1300                                   |

| 名称・日時・場所                                                                                             | 演 題                                                                       | CC<br>(単位)<br>がん検診                                    | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| <b>都城市北諸県郡医師会学術講演会</b><br>9月15日(金)<br>19:00～20:40<br>都城ロイヤルホテル                                       | <b>進化する糖尿病性腎症治療</b><br>久留米大学内科学講座腎臓内科部門主任教授<br>深水 圭                       | 11<br>(0.5)<br>66<br>(0.5)<br>67<br>(0.5)             | ◇主催<br>※都城市北諸県郡医師会<br>☎0986-22-0711<br>◇共催<br>協和発酵キリン(株)<br>◇後援<br>都城市 |
| <b>宮崎県医師会産業医研修会</b><br>9月16日(土)<br>14:30～17:30<br>県医師会館                                              | <b>健康保持増進のススメ</b><br>宮崎大学安全衛生保健センター教授<br>武田 龍一郎<br>基礎研修の前期研修会：1単位         | 11<br>(0.5)<br>82<br>(0.5)                            | ◇主催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118                                        |
|                                                                                                      | <b>作業環境管理について</b><br>宮崎大学医学部附属病院<br>患者支援センター長<br>鈴木 斎王<br>基礎研修の前期研修会：2単位  | 0<br>(0.5)<br>1<br>(0.5)<br>7<br>(0.5)<br>11<br>(0.5) |                                                                        |
| <b>平成29年度宮崎県医師会園医部会総会・研修会(TV会議)</b><br>9月16日(土)<br>15:00～17:30<br>県医師会館(TV会議場：都城、延岡、日向、児湯、西都、南那珂、西諸) | <b>食物アレルギーの基本的な考え方と最近の話題</b><br>児玉小児科院長<br>児玉 隆志                          | 16<br>(0.5)<br>17<br>(0.5)                            | ◇主催<br>宮崎県医師会園医部会(連絡先)<br>宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118                      |
|                                                                                                      | <b>口から育つところと身体ー乳幼児期の子育ち支援ー</b><br>UTAKA DENTAL OFFICE 佐々木歯科(東京都)<br>佐々木 洋 | 11<br>(0.5)<br>72<br>(0.5)                            |                                                                        |

| 名称・日時・場所                                                            | 演 題                                                                                                                            | CC<br>(単位)<br>がん検診                                    | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                                    |
|---------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>都城市北諸県郡医師会内科医会学術講演会</b><br>9月19日(火)<br>18:50～20:30<br>ホテル中山荘     | <b>肥満糖尿病の成因と治療の新たな理解</b><br>宮崎大学医学部内科学講座<br>神経呼吸内分泌代謝学分野教授 中里 雅光                                                               | 73<br>(0.5)<br>74<br>(0.5)<br>76<br>(0.5)             | ◇主催<br>都城市北諸県郡医師会内科医会<br>◇共催<br>日本ベーリンガーインゲルハイム㈱<br>日本イーライリリー㈱<br>(連絡先)<br>都城市北諸県郡医師会<br>☎0986-22-0711 |
| <b>宮崎県医師会産業医研修会</b><br>9月20日(水)<br>19:00～21:00<br>県医師会館             | <b>有害物のリスクアセスメントについて</b><br>産業保健相談員<br>労働衛生コンサルタント 下津 義博<br>生涯研修の専門研修会：2単位                                                     | 1<br>(0.5)<br>8<br>(0.5)<br>9<br>(0.5)<br>11<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                                               |
| <b>佐土原地区医師会学術講演会</b><br>9月21日(木)<br>19:00～20:15<br>シーガイアコンベンションセンター | <b>糖尿病患者のトータルリスクマネジメント</b><br>宮崎大学医学部内科学講座<br>神経呼吸内分泌代謝学分野助教 上野 浩晶                                                             | 76<br>(1.0)                                           | ◇主催<br>佐土原地区医師会<br>◇共催<br>※アステラス製薬㈱<br>☎0985-61-1537<br>MSD㈱                                           |
| <b>第3回地域連携パスを考える会</b><br>9月21日(木)<br>19:00～20:40<br>都城ロイヤルホテル       | <b>大腿骨の二次骨折予防とイバンドロネート注・錠の使用経験</b><br>国立病院機構都城医療センター整形外科医長 吉川 教恵<br>-----<br><b>目からウロコの嚥下障害の話</b><br>長崎大学病院リハビリテーション部准教授 高島 英昭 | 77<br>(0.5)<br>-----<br>49<br>(1.0)                   | ◇主催<br>※国立病院機構都城医療センター<br>☎0986-23-4111<br>◇共催<br>中外製薬㈱                                                |

| 名称・日時・場所                                                                    | 演 題                                                                           | CC<br>(単位)<br>がん検診                                                | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                |
|-----------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>都城市北諸県郡医師会病院部会学術講演会</b><br>9月22日(金)<br>18:50~20:30<br>都城ロイヤルホテル          | <b>消化器外科関連DICの治療戦略</b><br>熊本大学医学部附属病院消化器外科診療講師<br>橋本 大輔                       | 16<br>(0.5)                                                       | ◇主催<br>都城市北諸県郡医師会病院部会<br>◇共催<br>旭化成ファーマ(株)<br>(連絡先)<br>都城市北諸県郡医師会<br>☎0986-22-0711 |
|                                                                             | <b>敗血症性DICの治療戦略</b><br>愛媛大学医学系研究科救急医学分野教授<br>相引 眞幸                            | 19<br>(0.5)<br><br>32<br>(0.5)                                    |                                                                                    |
| <b>第22回 宮崎心エコー研究会</b><br>9月25日(月)<br>18:50~20:30<br>宮崎観光ホテル                 | <b>心エコーで考える心不全の診断と治療</b><br>島根大学医学部内科学講座内科学第四教授<br>田邊 一明                      | 24<br>(0.5)<br><br>45<br>(0.5)                                    | ◇主催<br>宮崎心エコー研究会<br>◇共催<br>第一三共(株)<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会病院<br>☎0985-24-9119          |
| <b>宮崎県医師会産業医研修会</b><br>9月26日(火)<br>19:00~21:00<br>延岡市医師会病院                  | <b>有害物のリスクアセスメントについて</b><br>産業保健相談員<br>労働衛生コンサルタント<br>下津 義博<br>生涯研修の専門研修会：2単位 | 1<br>(0.5)<br><br>8<br>(0.5)<br><br>9<br>(0.5)<br><br>11<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                           |
| <b>第2回 宮崎慢性痛治療フォーラム</b><br>9月27日(水)<br>19:00~20:30<br>宮崎観光ホテル<br>参加費：1,000円 | <b>腰痛疾患の診断と治療</b><br><b>ーピットフォールや今後の展望も含めてー</b><br>千葉大学医学研究院整形外科科学教授 大鳥 精司    | 60<br>(0.5)<br><br>63<br>(0.5)                                    | ◇主催<br>宮崎慢性痛治療フォーラム<br>◇共催<br>※ファイザー(株)<br>☎092-281-7031                           |

| 名称・日時・場所                                                                                                                             | 演 題                                                                                                                                                        | CC<br>(単位)<br>がん検診                                                  | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                                                                         |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>南那珂医師会地域<br/>保健医学会</b><br>9月29日(金)<br>19:00～20:00<br>南那珂医師会館                                                                      | <b>がん川柳を通して、患者の声を聴く</b><br>国立病院機構大分医療センター<br>医療社会事業専門職<br>岡江 晃児                                                                                            | 13<br>(1.0)                                                         | ◇主催<br>※南那珂医師会<br>☎0987-23-3411                                                                                                             |
| <b>延岡医学会学術講<br/>演会</b><br>9月29日(金)<br>19:00～20:30<br>ホテルメリージュ<br>延岡                                                                  | <b>癌性疼痛コントロールの重要性と最新の知見<br/>ー癌治療の進歩と疼痛治療の進歩ー</b><br>福岡県済生会福岡総合病院<br>がん治療センター副センター長兼外科部長<br>鹿田 康紀                                                           | 7<br>(0.5)<br><br>9<br>(0.5)<br><br>81<br>(0.5)                     | ◇主催<br>延岡医学会<br>◇共催<br>塩野義製薬(株)<br>(連絡先)<br>延岡市医師会<br>☎0982-21-1300                                                                         |
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>9月29日(金)<br>19:00～21:00<br>都城市北諸県郡<br>医師会館                                                               | <b>職場における糖尿病対策</b><br>産業保健相談員<br>都城市郡医師会病院副院長<br>中津留 邦展<br><br>生涯研修の専門研修会：2単位                                                                              | 5<br>(0.5)<br><br>11<br>(0.5)<br><br>76<br>(0.5)<br><br>82<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                                                                                    |
| <b>第13回みやざきホ<br/>スピス・緩和ケア<br/>ネットワーク学術<br/>集会／第25回都城<br/>緩和ケア研究会</b><br>9月30日(土)<br>12:50～16:30<br>都城市ウェルネス<br>交流プラザ<br><br>参加費：500円 | <b>地域におけるアドバンス・ケア・プランニング</b><br>国立長寿医療研究センター緩和ケア診療部<br>西川 満則<br><br><b>症例検討会：多発骨転移のある維持透析患者に対し、<br/>疼痛コントロールを図った1事例</b><br>宮崎江南病院<br>山口 美優<br><br><b>他</b> | 4<br>(1.5)<br><br>81<br>(1.0)                                       | ◇主催<br>※都城緩和ケア研究会<br>(三州病院内)<br>☎0986-22-0230<br>◇共催<br>みやざきホスピス・緩和ケアネットワーク<br>塩野義製薬(株)<br>◇後援<br>宮崎県<br>都城市<br>宮崎県医師会<br>宮崎県介護支援専門員協会<br>他 |

| 名称・日時・場所                                                                      | 演 題                                                                   | CC<br>(単位)<br>がん検診                               | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>平成29年度宮崎県<br/>有床診療所協議会<br/>総会・講演会</b><br>9月30日(土)<br>16:00～18:00<br>県医師会館  | <b>これからの有床診療所の役割(仮)</b><br>全国有床診療所連絡協議会長 鹿子生 健一                       | 12<br>(1.0)                                      | ◇主催<br>宮崎県有床診療所協議会<br>(連絡先)<br>宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118                                    |
| <b>ストップ! NO 卒<br/>中プロジェクトエ<br/>リア会議</b><br>10月5日(木)<br>19:00～20:20<br>宮崎観光ホテル | <b>脳卒中の併存疾患と対策</b><br>長崎大学病院脳神経内科教授 辻野 彰                              | 12<br>(0.5)<br><br>78<br>(0.5)                   | ◇主催<br>日本脳卒中協会<br>◇共催<br>宮崎県内科医会<br>宮崎県病院薬剤師会<br>※ファイザー(株)<br>☎092-281-7031               |
| <b>医療現場のワーク<br/>ライフバランスセ<br/>ミナー</b><br>10月6日(金)<br>19:00～20:30<br>県医師会館      | <b>男女共同参画を病院経営に活かす</b><br>大同病院理事長 吉川 公章                               | 7<br>(0.5)<br><br>10<br>(0.5)<br><br>12<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118<br>◇共催<br>地域医療現場における働<br>きやすい環境を考える会<br>宮崎県医療勤務環境改善支援センター |
| <b>南那珂医師会生涯<br/>教育医学会</b><br>10月6日(金)<br>19:00～20:15<br>南那珂医師会館               | <b>高齢者の運動器慢性疼痛治療<br/>－高齢者特有の問題から考える治療戦略－</b><br>久留米大学医学部整形外科教室講師 山田 圭 | 19<br>(0.5)<br><br>61<br>(0.5)                   | ◇主催<br>※南那珂医師会<br>☎0987-23-3411<br>◇共催<br>ヤンセンファーマ(株)<br>持田製薬(株)                          |

| 名称・日時・場所                                                                 | 演 題                                                                                | CC<br>(単位)<br>がん検診                                     | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                                  |
|--------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>10月6日(金)<br>19:00～21:00<br>都城市北諸県郡<br>医師会館   | <b>有害物のリスクアセスメントについて</b><br>産業保健相談員<br>労働衛生コンサルタント<br>生涯研修の専門研修会：2単位               | 1<br>(0.5)<br>8<br>(0.5)<br>9<br>(0.5)<br>11<br>(0.5)  | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会               |
| <b>第25回宮崎県警察<br/>医会総会・特別講<br/>演会</b><br>10月7日(土)<br>15:30～17:00<br>県医師会館 | <b>自動車事故に特徴的な損傷とその形成メカニズムに<br/>ついて</b><br>鹿児島大学医歯学総合研究科法医学分野教授<br>小片 守             | 1<br>(0.5)<br>57<br>(1.0)                              | ◇主催<br>※宮崎県警察医会<br>☎0985-22-5118<br>◇共催<br>宮崎県医師会                      |
| <b>宮崎県変形性関節<br/>症を考える会</b><br>10月10日(火)<br>19:30～20:30<br>宮崎観光ホテル        | <b>変形性関節症治療：国内外のガイドラインとパラダイ<br/>ムシフト</b><br>JCHO東京新宿メディカルセンター<br>脊椎脊髄センター長<br>川口 浩 | 61<br>(0.5)<br>73<br>(0.5)                             | ◇主催<br>宮崎県変形性関節症を考える会<br>◇共催<br>※日本イーライリリー㈱<br>☎092-724-0450<br>塩野義製薬㈱ |
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>10月12日(木)<br>19:00～21:00<br>県医師会館            | <b>健康診断結果に基づく検討 事後措置の事例検討</b><br>産業保健相談員<br>宮崎県立看護大学教授<br>生涯研修の専門研修会：2単位           | 1<br>(0.5)<br>8<br>(0.5)<br>11<br>(0.5)<br>12<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会               |

| 名称・日時・場所                                                                     | 演 題                                                                                                                                                                                                                                   | CC<br>(単位)<br>がん検診                                                                     | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                             |
|------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>第 4 回宮崎臨床整形外科セミナー</b><br>10月13日(金)<br>19:15～20:30<br>宮崎観光ホテル              | <b>運動器疼痛に対する運動療法と薬物療法</b><br>佐賀大学医学部附属病院整形外科学教室准教授<br>園畑 素樹                                                                                                                                                                           | 60<br>(0.5)<br>61<br>(0.5)                                                             | ◇主催<br>宮崎県臨床整形外科医会<br>◇共催<br>持田製薬(株)<br>※ヤンセンファーマ(株)<br>☎090-6790-7246                          |
| <b>第 57 回 宮 崎 県 スポーツ学会</b><br>10月14日(土)<br>14:50～19:00<br>宮日会館<br>参加費:1,000円 | <b>皮膚テーピングと身体運動</b><br>文京学院大学保健医療科学研究科教授 福井 勉<br>-----<br><b>新しいかたちの運動器スポーツ障害治療</b><br><b>ーチーム医療とメディカルフィットネスの活用ー</b><br>早稲田大学スポーツ科学術院教授 熊井 司<br>-----<br><b>発育期のスポーツとその功罪</b><br>中部大学生命健康科学部<br>スポーツ保健医療学科教授 馬場 礼三                    | 61<br>(0.5)<br>62<br>(0.5)<br>10<br>(0.5)<br>12<br>(0.5)<br>11<br>(0.5)<br>72<br>(0.5) | ◇主催<br>宮崎県スポーツ学会<br>◇共催<br>久光製薬(株)<br>◇後援<br>宮崎県医師会<br>(連絡先)<br>宮崎大学医学部整形外科学教室<br>☎0985-85-0986 |
| <b>平成29年度第 1 回 専門医共通講習会 医療倫理・感染対策</b><br>10月16日(月)<br>19:00～21:05<br>県医師会館   | <b>【専門医共通講習ー①医療倫理(必修)】</b><br><b>医療倫理の基礎と実践</b><br><b>ー倫理的推論(ethicalreasoning)のスキルを中心にー</b><br>宮崎大学医学部社会医学講座<br>生命・医療倫理学分野教授 板井 孝壱郎<br>-----<br><b>【専門医共通講習ー②感染対策(必修)】</b><br><b>知っておきたい感染対策</b><br>宮崎大学医学部内科学講座<br>免疫感染病態学分野教授 岡山 昭彦 | 2<br>(0.5)<br>3<br>(0.5)<br>0<br>(0.5)<br>8<br>(0.5)                                   | ◇主催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118                                                                 |

| 名称・日時・場所                                                                                               | 演 題                                                           | CC<br>(単位)<br>がん検診                    | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                       |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| <b>第175回 宮崎県眼科医会講習会</b><br>10月21日(土)<br>16:20～19:10<br>宮崎観光ホテル<br><br>参加費:3,000円                       | <b>緑内障治療のためのOCTの使い方</b><br>大阪大学医学系研究科眼科学講師 三木 篤也              | 36<br>(1.0)                           | ◇主催<br>※宮崎県眼科医会<br>(柴田眼科内)<br>☎0985-28-1015                               |
|                                                                                                        | <b>黄斑疾患手術治療の最近の動向</b><br>聖マリアンナ医科大学眼科学教室教授 高木 均               | 36<br>(1.0)                           | ◇共催<br>大塚製薬(株)                                                            |
| <b>宮崎県精神科診療所協会学術講演会</b><br>10月21日(土)<br>18:50～20:00<br>KITEN                                           | <b>明日からすぐに使える！せん妄の実践知識</b><br>岡山大学病院精神科神経科助教 井上 真一郎           | 32<br>(0.5)<br><br>68<br>(0.5)        | ◇主催<br>宮崎県精神科診療所協会<br>◇共催<br>MSD(株)<br>(連絡先)<br>細見クリニック<br>☎0985-35-1100  |
| <b>第45回 宮崎大腸肛門疾患研究会</b><br>10月26日(木)<br>19:00～20:30<br>KITEN                                           | <b>当科における大腸癌治療の現況<br/>—鏡視下手術，化学療法を中心に—</b><br>潤和会記念病院院長 岩村 威志 | 2<br>(0.5)<br><br>54<br>(0.5)<br>(大腸) | ◇主催<br>宮崎大腸肛門疾患研究会<br>◇共催<br>※大鵬薬品工業(株)<br>☎0985-27-4527<br>◇後援<br>宮崎県医師会 |
| <b>平成29年度第2回 日本東洋医学会福岡・宮崎合同県部会宮崎中継</b><br>10月28日(土)<br>15:00～18:00<br>宮崎大学医学部総合教育研究棟<br><br>参加費:3,000円 | <b>がんと漢方 あきらめない 追い詰めない 共に生きる</b><br>桜十字福岡病院漢方内科 木村 豪雄         | 81<br>(0.5)                           | ◇主催<br>※日本東洋医学会九州支部宮崎県部会<br>☎0985-85-0988                                 |
|                                                                                                        | <b>なんたって漢方は女性の味方！乳癌治療のベストパートナー</b><br>飯塚病院漢方診療科 矢野 博美         | 83<br>(0.5)                           | ◇共催<br>日本東洋医学会九州支部福岡県部会<br>宮崎県医師会東洋医会                                     |
|                                                                                                        | <b>緩和ケアで漢方薬を活かすコツ</b><br>土倉外科胃腸器科医院副院長 土倉 潤一郎                 | 81<br>(0.5)                           |                                                                           |
|                                                                                                        | <b>がん診療における漢方薬の新しい使い方</b><br>新水前寺クリニック院長 有馬 俊裕                | 83<br>(0.5)                           |                                                                           |

| 名称・日時・場所                                                                                                                                                   | 演 題                                                                                        | CC<br>(単位)<br>がん検診                               | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                                            |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| <b>“皮膚の日”講演会</b><br>11月 5 日(日)<br>14:00～15:30<br>宮日会館                                                                                                      | <b>いろいろな抗酸菌によるいろいろな病気</b><br><b>ー結核、非結核性抗酸菌症からハンセン病(癩病)までー</b><br>青木皮膚科 出盛 允啓              | 9<br>(1.0)<br><br>11<br>(0.5)                    | ◇主催<br>宮崎県皮膚科医会<br>◇後援<br>日本臨床皮膚科医会<br>宮崎県医師会<br>(連絡先)<br>青木皮膚科<br>☎0985-23-2011 |
| <b>宮崎市感染症講演会</b><br>11月 7 日(火)<br>19:00～21:00<br>宮崎市民プラザ                                                                                                   | <b>結核の診断と治療ー専門医療機関と</b><br><b>一般医療機関の連携についてー(仮)</b><br>国立病院機構宮崎東病院呼吸器内科部長<br>伊井 敏彦         | 8<br>(0.5)                                       | ◇主催<br>宮崎市<br>(連絡先)<br>宮崎市保健所<br>☎0985-29-5286                                   |
|                                                                                                                                                            | <b>AMR対策の推進に関する我が国の今日的課題：臨床医</b><br><b>の視点から</b><br>佐賀大学医学部附属病院感染制御部長 青木 洋介                | 8<br>(1.0)                                       |                                                                                  |
| <b>平成29年度宮崎県</b><br><b>医師会自殺対策う</b><br><b>つ病研修会(TV</b><br><b>会議)</b><br>11月16日(木)<br>19:00～21:00<br>県医師会館(TV会<br>議場：都城、延<br>岡、日向、児湯、<br>西都、南那珂、西<br>諸、西臼杵) | <b>災害とメンタルヘルス</b><br><b>ー自死を防ぐために災害対応急性期からの取り組みをー</b><br>宮崎大学地域精神看護学講座<br>精神看護学分野教授 原田 奈穂子 | 69<br>(0.5)                                      | ◇主催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118                                                  |
|                                                                                                                                                            | <b>女性の不安障害とうつ病ー診断のコツと落とし穴ー</b><br>国際医療福祉大学三田病院<br>精神科国際医療福祉大学教授 平島 奈津子                     | 4<br>(0.5)<br><br>69<br>(0.5)<br><br>70<br>(0.5) |                                                                                  |

| 名称・日時・場所                                                                                           | 演 題                                                                          | CC<br>(単位)<br>がん検診                                      | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                                              |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>第25回ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー</b><br>11月18日(土)<br>15:25～19:00<br>シーガイアコンベンションセンター<br>参加費:1,000円         | <b>人はなぜ腰が曲がり、痛くなるのか</b><br><b>ーその原因と対策ー</b><br>東北医科薬科大学医学部整形外科学教室教授<br>小澤 浩司 | 61<br>(0.5)<br>62<br>(0.5)                              | ◇主催<br>ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー<br>◇共催<br>※中外製薬㈱<br>☎0985-20-8118                         |
|                                                                                                    | <b>骨・軟部腫瘍治療の最前線</b><br>福井大学医学部整形外科学教室教授 松峯 昭彦                                | 69<br>(0.5)<br>73<br>(0.5)                              |                                                                                    |
|                                                                                                    | <b>リウマチ性頸椎疾患の診断と治療</b><br>大阪医科大学生体管理再建医学講座<br>整形外科学教室教授 根尾 昌志                | 62<br>(0.5)<br>63<br>(0.5)                              |                                                                                    |
|                                                                                                    |                                                                              |                                                         |                                                                                    |
| <b>宮崎県医師会産業医研修会</b><br>11月21日(火)<br>19:00～21:00<br>延岡市医師会病院                                        | <b>職場における糖尿病対策</b><br>産業保健相談員<br>都城市郡医師会病院副院長 中津留 邦展                         | 5<br>(0.5)<br>11<br>(0.5)<br>76<br>(0.5)<br>82<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                           |
|                                                                                                    | 生涯研修の専門研修会:2単位                                                               |                                                         |                                                                                    |
|                                                                                                    |                                                                              |                                                         |                                                                                    |
|                                                                                                    |                                                                              |                                                         |                                                                                    |
| <b>第11回日本東洋医学会九州地区専門医委員会教育講演会宮崎中継</b><br>11月23日(木)<br>13:00～16:30<br>宮崎大学医学部<br>附属病院<br>参加費:3,000円 | <b>生理活性ペプチド解析に基づく漢方薬の適正使用</b><br>大分大学医学部附属病院薬剤部副部長<br>佐藤 雄己                  | 83<br>(1.0)<br>15<br>(0.5)                              | ◇主催<br>※日本東洋医学会九州支部宮崎県部会<br>☎0985-85-0988<br>◇共催<br>日本東洋医学会九州支部福岡県部会<br>宮崎県医師会東洋医会 |
|                                                                                                    | <b>高齢者疾患と漢方</b><br>富山大学和漢医薬総合研究所<br>漢方診断学分野教授 柴原 直利                          | 73<br>(1.0)<br>83<br>(0.5)                              |                                                                                    |
|                                                                                                    | <b>ガイダンス</b><br>九州大学医学研究院地域医療ユニット准教授<br>貝沼 茂三郎                               | 83<br>(0.5)                                             |                                                                                    |
|                                                                                                    |                                                                              |                                                         |                                                                                    |

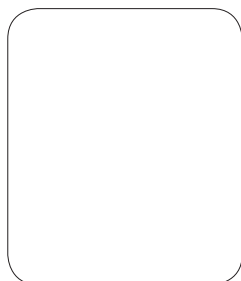
| 名称・日時・場所                                                     | 演 題                                | CC<br>(単位)<br>がん検診             | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                      |
|--------------------------------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------------------|
| 第11回はまゆう整形<br>形外科セミナー<br>11月25日(土)<br>17:30～18:30<br>宮崎観光ホテル | 下肢のスポーツ障害<br>藤元総合病院整形外科診療科部長 園田 典生 | 61<br>(0.5)<br><br>72<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎大学医学部整形外科学教室同門会<br>☎0985-85-0986 |

## 日本医師会生涯教育カリキュラム(2016)

カリキュラムコード(略称:CC)

|                      |                 |                      |
|----------------------|-----------------|----------------------|
| 1: 医師のプロフェッショナルリズム   | 29: 認知能の障害      | 57: 外傷               |
| 2: 医療倫理: 臨床倫理        | 30: 頭痛          | 58: 褥瘡               |
| 3: 医療倫理: 研究倫理と生命倫理   | 31: めまい         | 59: 背部痛              |
| 4: 医師-患者関係とコミュニケーション | 32: 意識障害        | 60: 腰痛               |
| 5: 心理社会的アプローチ        | 33: 失神          | 61: 関節痛              |
| 6: 医療制度と法律           | 34: 言語障害        | 62: 歩行障害             |
| 7: 医療の質と安全           | 35: けいれん発作      | 63: 四肢のしびれ           |
| 8: 感染対策              | 36: 視力障害, 視野狭窄  | 64: 肉眼的血尿            |
| 9: 医療情報              | 37: 目の充血        | 65: 排尿障害(尿失禁・排尿困難)   |
| 10: チーム医療            | 38: 聴覚障害        | 66: 乏尿・尿閉            |
| 11: 予防と保健            | 39: 鼻漏・鼻閉       | 67: 多尿               |
| 12: 地域医療             | 40: 鼻出血         | 68: 精神科領域の救急         |
| 13: 医療と介護および福祉の連携    | 41: 嘔声          | 69: 不安               |
| 14: 災害医療             | 42: 胸痛          | 70: 気分の障害(うつ)        |
| 15: 臨床問題解決のプロセス      | 43: 動悸          | 71: 流・早産および満期産       |
| 16: ショック             | 44: 心肺停止        | 72: 成長・発達の障害         |
| 17: 急性中毒             | 45: 呼吸困難        | 73: 慢性疾患・複合疾患の管理     |
| 18: 全身倦怠感            | 46: 咳・痰         | 74: 高血圧症             |
| 19: 身体機能の低下          | 47: 誤嚥          | 75: 脂質異常症            |
| 20: 不眠               | 48: 誤飲          | 76: 糖尿病              |
| 21: 食欲不振             | 49: 嚥下困難        | 77: 骨粗鬆症             |
| 22: 体重減少・るい瘦         | 50: 吐血・下血       | 78: 脳血管障害後遺症         |
| 23: 体重増加・肥満          | 51: 嘔気・嘔吐       | 79: 気管支喘息            |
| 24: 浮腫               | 52: 胸やけ         | 80: 在宅医療             |
| 25: リンパ節腫脹           | 53: 腹痛          | 81: 終末期のケア           |
| 26: 発疹               | 54: 便通異常(下痢・便秘) | 82: 生活習慣             |
| 27: 黄疸               | 55: 肛門・会陰部痛     | 83: 相補・代替医療(漢方医療を含む) |
| 28: 発熱               | 56: 熱傷          | 0: その他               |

## 私の本



# 宮崎産業保健総合支援センター 仕事集

発行所 鉦 脈 社

宮崎市 大西医院  
おおにし ゆうじ  
大 西 雄 二

平成13年春「宮崎産業保健推進センター」が設立され市郡医師会から医学相談員として参加した。平成13年7月から平成29年3月まで15年9か月相談員を務めた。その間の活動の記録をまとめた。

所長の常俊義三先生，小岩屋靖先生，現所長河野雅行県医会長のもとで得難い経験を積むことができた。支えて下さった職員の皆様には感謝したい。

この間「産業保健推進センター」から「産業保健推進事務所」へさらに現在の「産業保健総合支援センター」と名称が変わった。

医学相談員の業務の内容は講演，機関誌『さんぽ宮崎』の執筆(23号で廃刊)，面接対応である。開業医にとって産業医学の講演は負担の重いものであった。

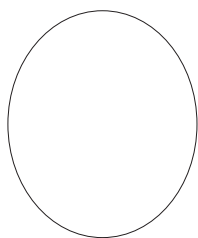
やるからにはテーマを変えたいと考えた。エッセイが8編，講演が延べ36回となっている。興味の範囲内であるが自分の勉強になった。

産業医を務めた企業の消長を見てきた。会社が経済の波のなかで消滅し，同時に「産業医」が無くなった。センターの変遷も見てきた。最初は目抜き通りの高千穂通のビルの一角を広いスペースでしめ，講演会場も併設された。徐々に予算が窮屈になったのか規模・体制が縮小された。その傾向が懸念される。センターが扱う対象も実際の経済の影響の基に変貌してきた。

2社の産業医を続けている。会社には，そこに働く人々に愛着を覚える。産業医学は医学の大きな柱のひとつである。医師会はその取組みを継続してほしい。「産業医」活動を続け，同時にセンターを見守り続けたい。



## 診療メモ

快適職場はあなたをまもる・職場を創る  
ー最近のメンタルヘルス動向に関してー

宮崎大学名誉教授

宮崎産業保健総合支援センター相談員 鶴

つる

のり

紀 子

## はじめに

人は誰でも、時に強い不安や悩みを持ち、時にはどうにもならない事態に遭遇することがありうる。労働者といえども例外ではない。厚生労働省主導で、ストレスチェック制度がスタートしていることはご存じであろう。現段階では50人以上の事業場に義務付けられている。厚労省のホームページからそれに必要なソフトやマニュアルを誰でも手に入れることができる。その結果、ストレスチェックが職場単位でも、個人単位でも可能となっている。ここではストレスとは何か、如何に心身の機能と関わるか、ストレスにどうやって対処するか、ストレスの脳内機序、快適職場の意義の大きさに言及したい。

## ストレスとストレスチェック

ストレスとは「外からの刺激に対する受ける側のゆがみとそれを元に戻そうとする生体側の反応」と考えられる。日常的に心理的に「あなたにとってストレスは？」とか用いられる。厚労省ではそのような心理的ストレスに自分が如何にさらされているのか、自分で気づいてもらって、心身の不調を来さないように予防するために、ストレスチェック制度に利用できる「職業性ストレス簡易調査票」の57項目を用いて仕事の負荷要因、自己裁量権の有無・程度、心身の状態、職場・家庭などでの支援の有無をチェックしている。

自分自身が気づく変化、他の人が気づく変化、心身の不調、ストレス反応としてよく認められる症状は夫々、表を参照されたい。

職場のストレスに関するシェーマは図に示される。米国国立労働安全衛生研究所(NIOSH)によれば、仕事のストレス要因と仕事外の要因個人要因が関わり、緩衝要因として、上司、同僚からの支援、適切な対処行動でストレスが軽減されれば、さほど問題とならないが、そうでない場合、諸々のストレス反応が生じて、疾病

になる。かといってストレスがなければよいかというと、良いことばかりでもない。毎日が日曜日といっても、忙中閑ありこそ、嬉しさも倍増するものである。適度のストレスはむしろ心地よい。

従って、自ら自分のストレスに気づいてもらうことは肝要である。

## ストレスと対処行動

ストレスと感じた場合、行動的なタイプの人は問題に直接働きかける対処法を取ることが多く、その結果問題が解決すれば、ストレスを受けずに済む。問題解決型対処行動と呼ぶ。

ストレスそのものがどうにもならない場合、情動焦点型対処となる。行動的にスポーツ、音楽、映画鑑賞などで、気分転換をはかる。情動的に話を聞いてもらう、泣く、一杯飲んで憂さを忘れるなどが考えられる。しかし、湿っぽい酒はアルコール依存への道と云われるように、不調な気分での飲酒は否定的イメージを再現し易く、更にストレスを招きやすい。一晚眠っても忘れられないようなストレスはストレス解消の方法を変える必要がある。

最近ストレスに関して認知的側面が指摘されている。米国社会で高ストレスに曝されているにも関わらず、仕事社会で活躍している管理職に認められるハーディネスというパーソナリティなど、個人によってストレスに対する反応が異なる。その人をとりまく状況それ自体でなく、それをどのように認知するかに関わる。

「考え方のクセ」自分の受け止め方を理解していますか？

コップに水が半分入っています。貴方はどのように見えますか？半分も入っている。半分しか入っていない。即ち、同じ出来事に出会っても、考え方によって、反応(気持ち、行動、身体反応)は異なる。例えば新しい仕事を任された。ある人は絶対に成功させなければとプレッシャーを感じて胃が痛くなる。一方、自分

は信頼されているのだと、チャンスかもと思い、良い結果を出そうと頑張ろうとする。後者はチャレンジ精神旺盛なタイプである。このような「考え方のクセ」に気づくことが大事である。

完全主義者のような二者択一で全か無かで、中間がない考え方には無理がある。ここでは詳細は省くが、自分自身との関係づけや、～すべきだと考えたり、感情的に決めつけたり、マイナス思考などがその例である。認知様式が変化することで、気分が彩られた考え方はポジティブ思考にも変更可能である。自信がないときダメだと決めつけずに、意識的に別の観点を探す試みが必要である。

### ストレスの脳内機序

人が不安やパニックになった時に活動する脳内の場所は扁桃核である。扁桃核、中隔と共に、大脳辺縁系に属し、帯状回から、海馬、脳弓を経て、乳頭体、視床、帯状回にいたる回路は記憶に重要である。過剰なストレスにより惹起されたコルチゾールは海馬を障害することが、知られている。また、扁桃核の過剰な興奮を制御するためには、相互作用を有す前頭葉を活性化することが肝要である。そのことが、記憶にとって必須の海馬を守ることにもつなが

る。過度のストレスに曝されることによる、脳の老化を予防することに繋がる。昨今では、ストレスと免疫も関連があると指摘されている。適度な運動で、前頭葉を活性化することは、くよくよ対策にも有用である。

### 快適職場と上司の役割

快適職場のためには上司の役割は大きいものがある。日頃から関心をよせ、声をかけ、部下の変化を見逃さない。気になったら話を聞く。手に負えないときには、産業保健スタッフなどに相談する。目指すのは気持ちよく働ける職場である。上司は最大の職場環境と云われる。上司は、仕事に困ったときに頼りになる。上司は、部下の状況に理解を示してくれる。上司や同僚と気軽に話ができる。このような職場では、上司と同僚が気兼ねのない関係にある。上司は、仕事がうまくいくように配慮や手助けをしてくれる。これらは職場の先達として、部下を育て、生産性の高い活気ある職場とするためには、大事な鍵となる。因みに、大昔、当方が当時の宮崎医科大学に転勤間もないころ、研究指導や、合間のお茶を一緒にさせていただいた、池田暉親初代精神科教授(故人)などの日頃の姿を彷彿とさせる。どこにもこのような上司はいる筈である。

表 1 自分自身が気づく変化

|                                |
|--------------------------------|
| 悩みや心配事が頭から離れない                 |
| 仕事の能率や仕事への意欲・集中力の低下            |
| 考えがまとまらず 堂々巡りし 決断できない          |
| 寝つきが悪く 眠りが浅い                   |
| 適性がないので仕事を辞めたいと思う              |
| 他人の評価が強く気になる                   |
| 気分が落ち込み 楽しくない                  |
| 疲れやすく 倦怠感がある                   |
| その他 さまざまな身体症状(頭痛 めまい 吐き気など)が出現 |

表 2 周囲が気づく変化

|                      |
|----------------------|
| 以前に比べて表情が暗く 元気がない    |
| 仕事の能率の低下 ミスの増加       |
| 欠勤 遅刻 早退の増加          |
| 周囲との折り合いが悪くなる        |
| とりとめのない訴え(体調など)の増加   |
| 飲酒によるトラブルが増える        |
| 他人の言動を異常に気にする        |
| その他 さまざまな身体症状の訴えが増える |

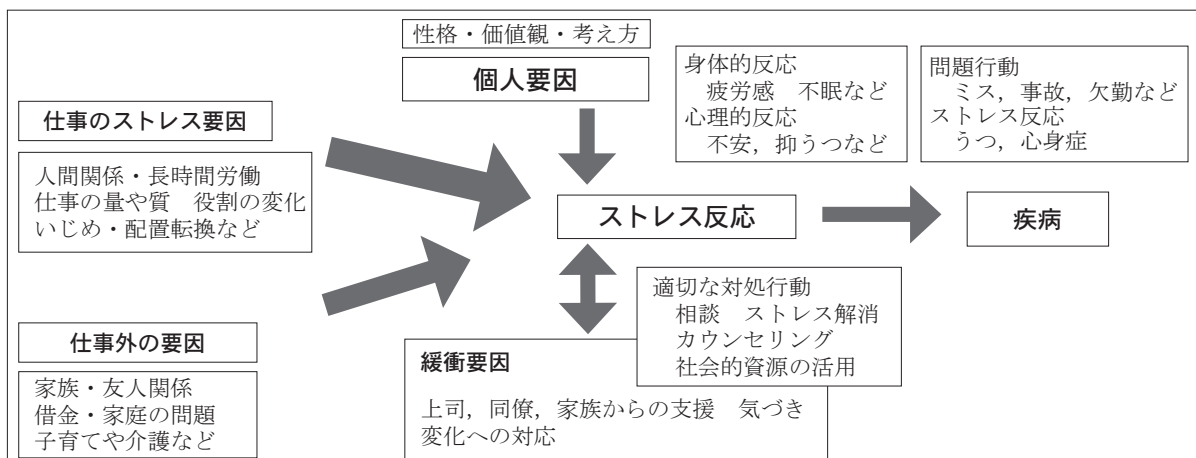
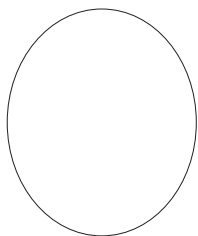


図 職場のストレスモデル(NIOSH: 米国労働安全研究所)

## 宮大医学部学生のページ



## 第 60 回全国医学生ゼミナール in 宮崎 開催報告 ～ 24 年ぶり 宮崎でこれからの医療を考える～

第 60 回全国医学生ゼミナール in 宮崎 現地実行委員長 いの うえ なつこ  
宮崎大学医学部医学科 5 学年 井 上 奈津子

2017年8月11日から8月13日の3日間で、宮崎にて「第60回全国医学生ゼミナールin宮崎(以下、60宮崎医ゼミ)」が開催され、200人を超える医療系学生が全国から参加し、「これからどんな医療が求められるか」、「どんな医療者になりたいか」を学び、交流しました。

この60宮崎医ゼミでは「地域に生きる～学びの先の実践者として～」をメインテーマに、講演会や学生発表、分科会、パネル展示など様々な企画が行われました。過去の医ゼミの学習から、医療は医療者のみではなく、患者や住民、行政や企業と創っていくものであると考え、地域の中に生きるひとりとして医療者はどう健康づくりに関わっていけるか、どんな医療を創っていけるかを各企画のなかで学び、考えました。

講演会では、8月12日に近藤克則氏(千葉大学予防医学センター社会予防医学研究部門教授)、8月13日に木村草太氏(首都大学東京大学院社会科学部研究科法学政治学専攻・都市教養学部法学系教授)を講師に、普段なかなか聞く機会のない講演をしていただきました。近藤克則氏にはご専門である健康の社会的決定要因(social determinants of health : SDH)について「健康格差社会への処方箋」というタイトルでご自身の研究や実践から講演をいただきました。将来患者さんに向き合うとき、患者さんの生きる社会や環境が患者さんの健康に影響を与えてい

るというパラダイムを獲得し、より深く患者さんの健康を考えられる医療者になってほしいという熱いメッセージをいただきました。木村草太氏の講演では「人々の生活と立憲主義」というタイトルで憲法とは何かというお話から、ごく身近なところで起こっている人権侵害に私たちは気づくことができるかという問いかけをしていただきました。普段、医学を学ぶものとして憲法について考える学生は多くはありませんが、患者さんの生きる社会を考える上では必須の視点として、どんな時に人々の健康権を含めた権利が侵害されるか、その時に憲法を使えるのかを考えることができました。

学生発表ではメイン企画レポートと平和企画レポートの2つのレポートについて発表がありました。メイン企画レポートの発表では講演会で近藤克則氏にもお話しいただいたSDHについて、何がSDHに影響を与えるのかを様々な事例から考察し、健康格差の原因となる構造を明らかにしました。そのうえで、地域の中で行われてきた健康づくりの実践例から、地域の中で医療者としての私たちに何ができるかを提起しました。平和レポートでは「地域に生きる者たちの平和」というテーマで、沖縄の米軍基地とそこに暮らす住民の健康の間にある構造を分解し、これまでの歴史や、これから医療を学び、医療を創っていく者としての姿勢を提起しました。

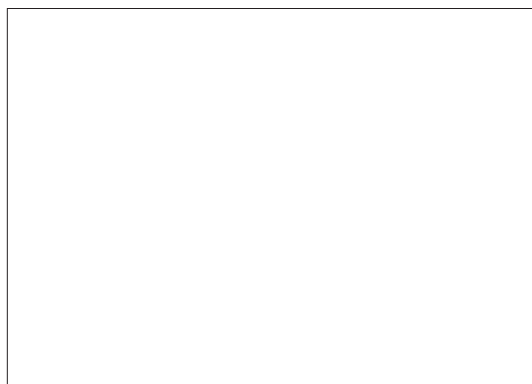
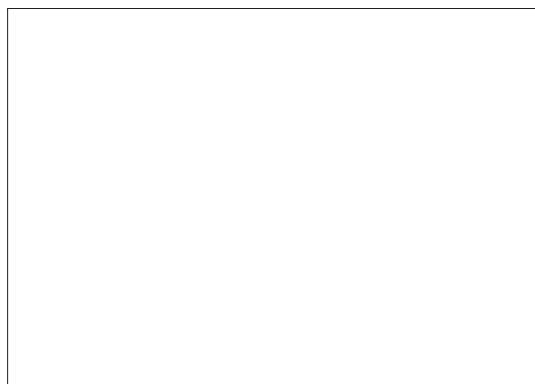
また、各学生や学習サークルが日頃の学びを持ち寄る分科会は37タイトルが出展、企画の合間の意見交換のためのSGD(small group discussion)には近藤克則氏にも参加いただき、広く自由な学習と交流が行われました。上記以外の企画也大いに盛り上がり、参加学生は多くの学びや気づきを各地に持ち帰っていきました。

今回の60宮崎医ゼミ開催にあたり、現地の宮崎大学医学部学生が中心となって学習や運営の中心を担ってきました。運営のノウハウに関しては全国委員会の協力を得て、学内では先生方をはじめ各教室からの応援と施設・設備面の協力を得て今回の開催にたどり着きました。多方面の方々の応援と協力のもとに成功に終わった60宮崎医ゼミですが、企画が終わったこれからの学びの広がりこそが医ゼミ開催の意義を見ることができるところだと考えています。医ゼミという企画はゴールではなくスタートです。多方面に応援されながら学生が創り上げたこの学

びの場で生まれた問題意識や出会いをこれからの宮崎、九州、そして日本の医療を担う奔流にしていきたいのです。普段の大学での学びを将来の医療現場での実践につなげるためにも、大学の内外にかかわらず、この60宮崎医ゼミで生まれた気づきやつながりを最大限に活用し、更なる学びの盛り上がりをしていきたいと思ひます。

最後に、60宮崎医ゼミ開催にあたり大学だけでなく、県内や九州内の医療関係者の方々からも多くの応援をいただきました。現在の医療を創り支えている先輩方に応援されている学びであることは常に私たち学生の励みでした。また、これからの学生の学びと活動にもぜひ注目し、応援していただけたらと思ひます。

60宮崎医ゼミを応援し、見守ってくださった方々に心からの感謝を込めて、開催報告といたします。ありがとうございました。



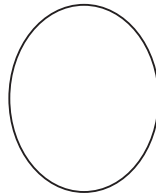
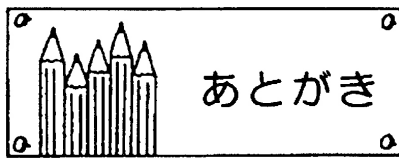
## お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会学術広報課にお問い合わせください(TEL0985-22-5118)。

また、MMA通信(県医師会から会員への情報提供メーリングリスト)でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

| 送付日      | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7 月 6 日  | ・優良看護職員の厚生労働大臣表彰受表彰候補者の推薦について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 7 月 7 日  | ・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 7 月 10 日 | ・検査料の点数の取扱いについて<br>・公知申請に係る事前評価が終了し、医薬品医療機器法に基づく承認事項の一部変更承認がなされた医薬品の保険上の取扱い等について<br>・平成29年 7 月 5 日からの大雨による被災者に係る被保険者証等の提示等及び公費負担医療の取扱いについて                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 7 月 11 日 | ・「健康診断結果に基づき事業者が講ずべき措置に関する指針」の改正について<br>・「ウイルス性出血熱への行政対応の手引き(第二版)」の周知について<br>・平成29年度「医療関係機関等を対象にした特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会」の開催案内及び周知の協力依頼について<br>・「新版 がん緩和ケアガイドブック」のご送付について<br>・平成29年度多様なニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン講演会のご案内<br>・「個人情報の保護に関する法律」等の改正に伴うがん登録事業における個人情報の取扱いについて<br>・救急医療に係る各種調査について<br>・災害により被災した要介護高齢者等への対応について                                                                                                                     |
| 7 月 13 日 | ・ソマチクリン皮下注60mg, 同90mg及び同120mgの効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 7 月 18 日 | ・中東呼吸器症候群(MERS)の国内発生時の対応について<br>・日本におけるオウム病発症状況と妊娠女性におけるオウム病について<br>・「救急の日」及び「救急医療週間」の実施について<br>・ダニ媒介感染症に係る注意喚起について<br>・第30回(平成29年度)健康スポーツ医学講習会の開催について<br>・クエチアピンフマル酸塩徐放性製剤の使用に当たっての留意事項について<br>・かぜ薬等の添付文書等に記載する使用上の注意の一部改正について<br>・コデインリン酸塩水和物又はジヒドロコデインリン酸塩を含む医薬品の「使用上の注意」改訂の周知について<br>・バレニクリン酒石酸塩製剤の使用上の注意の改訂について<br>・医療事故情報収集等事業第49回報告書の送付について<br>・「使用上の注意」の改訂について<br>・「重篤副作用疾患別対応マニュアル」のホームページ掲載について<br>・平成29年福岡県・大分県等の大雨被害に係る児童福祉法による助産の実施取扱いについて |
| 7 月 20 日 | ・新生児マススクリーニング検査(タンデムマス法)の対象疾患の追加について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 7 月 25 日 | ・夏休みの海外渡航者に対する感染症予防啓発について<br>・平成29年度介護事業実態調査(介護事業経営実態調査)に関する協力依頼について(再協力依頼)<br>・「全国介護保険担当課長会議」資料の送付について(平成29年 7 月 3 日開催)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |

| 送付日      | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7 月 25 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度看護師救急医療業務実地修練に係る受講者の募集について</li> <li>・「認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)の数値目標の更新等について」の送付について</li> <li>・「精神科病院に入院する時の告知等に係る書面及び入退院の届出等について」の一部改正について</li> <li>・「障害者雇用安定助成金(障害・治療と仕事の両立支援制度助成コース)」周知の協力について</li> <li>・平成29年 7 月 5 日からの大雨による被災者に係る被保険者証の提示等について</li> <li>・平成29年福岡県・大分県等の大雨被害に伴い避難先市町村の地域密着型(介護予防)サービスを利用する場合の手続きについて</li> <li>・平成29年度認知症短期集中リハビリテーション研修(医師対象)【西日本会場】のご案内</li> <li>・平成29年度インフルエンザHAワクチン製造株の決定について</li> <li>・重症化予防(国保・後期広域)ワーキンググループとりまとめ「糖尿病性腎症重症化予防の更なる展開に向けて」の公表について</li> <li>・平成29年度感染症流行予測調査における日本脳炎感染源調査結果について</li> <li>・パンフレット「家族の健康を住まいから始めよう!」の配布について</li> <li>・平成29年医療施設静態調査の協力依頼について</li> <li>・平成29年受療行動調査の協力依頼について</li> <li>・平成29年患者調査の協力依頼について</li> </ul> |
| 7 月 26 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報通信機器を用いた診療(いわゆる「遠隔診療」)について</li> <li>・B型慢性肝炎治療薬「ベムリディ®錠25mg」の中国国内で確認された偽造品について</li> <li>・プエラリア・ミリフィカを含む健康食品について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 7 月 27 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度日本医師会医療安全推進者養成講座「講習会」開催のご案内</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 7 月 28 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「高額療養費制度の見直しの周知用ポスターの送付について」及び「医療保険制度の見直しに関するチラシの窓口配置の協力依頼について」について</li> <li>・共済組合員証の無効通知について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 8 月 1 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・【改正道路交通法関連】医師の診断書作成に伴う民事上の損害賠償請求に対する日医医賠償保険の適用について</li> <li>・介護予防・日常生活支援総合事業の事業所評価加算の届出に係る取扱い通知の一部改正について</li> <li>・「自立に資する介護に関する調査研究事業」へのご協力をお願いについて</li> <li>・平成28年度老人保健健康増進等事業「活動と参加につなげる臨床ガイドブック」の送付について(参考資料)</li> <li>・重症熱性血小板減少症候群(SFTS)に係る注意喚起について</li> <li>・日本におけるオウム病症例発生状況と妊娠女性におけるオウム病について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 8 月 2 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・労災レセプト電算処理システムの利用促進に係る協力依頼について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 8 月 4 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・重症熱性血小板減少症候群(SFTS)に係る注意喚起について</li> <li>・「病原微生物検出情報」の送付について</li> <li>・ヒアリに関する広報資料について</li> <li>・平成29年 7 月 22 日からの大雨による被災者に係る被保険者証等の提示等及び公費負担医療の取扱いについて</li> <li>・平成28年度厚生労働行政推進調査事業補助金(厚生労働科学特別研究事業)「薬局・薬剤部の機能を活用した副作用報告の推進に関する研究」結果について(情報提供)</li> <li>・電波環境協議会による「医療機関における電波の安全利用規程(例)」について</li> <li>・組織再編等に伴い変更となる様式について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 8 月 7 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療事故情報収集等事業「医療安全情報No.128」の提供について</li> <li>・健康食品の摂取による薬物性肝障害の注意喚起について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 8 月 10 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「DPC制度への参加等の手続きについて」の一部改正について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 8 月 15 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者に係る高額療養費制度の見直し等について</li> <li>・「使用上の注意」の改訂について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |



今年のはまゆう随筆は合計31編で、7月号から今月号まで3回にわけて掲載いたしました。今年も多くの先生方からご寄稿をいただき、誠にありがとうございました。多岐にわたる内容で、たいへん楽しく拝読させていただきました。ご存じの方もいらっしゃると思いますが、宮崎県医師会のホームページでは平成11年からの日州医事をPDFファイルで見

ことができます。既刊号をみると、平成11年のはまゆう随筆は60編、平成12年は41編掲載されていて、本誌はずっと以前から多くの先生方に支えられ続けてきた雑誌だと強く感じました。本誌は昭和2年創刊、今月号で第817号になり大変長い歴史があります。その歴史を引き継ぎつつ、皆様方にさらに親しんでもらえるよう、前号から新しく宮崎グルメ深訪というコーナーを設けました。お薦めのお店や思い出のあるお店など多くのご寄稿をいただき、本誌に新しい歴史を築いていただきたいと思います。今後ともよろしくお願いし

(中村)

＊ ＊ ＊ ＊ ＊

お盆休みを利用して、岩手に行って来ました。中尊寺金色堂を参拝し平泉で一泊、翌日、妻の実家がある宮古市に向かいました。宮古市の夏といえばウニですが、今年は実入りが悪い上に悪天候のため漁に出られない日が続いたため、昨年と比べ8割も値上がりしてしていました。思う存分にウニを食べることはできませんでしたが、とても涼しく(最低気温19度、最高気温20度)快適に過ごせました。宮古ではお盆を過ぎると、そろそろコタツの準備を考えるそうです。

(沖田)

＊ ＊ ＊

どれ、高校生の息子の勉強を見てやろうと思ひ問題集をのぞいたら、複素数、二項定理などなど意味不明な文字と記号と内容すらわからない問題がちらちらと、なにこれ？30年くらい前には同じ高校生だったはず、こんな問題が解けていたのだろうか？解けていたと思いたい。明らかに無理と悟りましたので、中学生の息子とbe動詞と一般動詞あたりと連立方程式と一緒に解きました。これからも一緒に勉強してどこまで若き日を取り戻せるかやってみようと思います。

(西田)

＊ ＊ ＊

去年はカーブ、今年は広陵。広島県人にとって毎年地元愛が高まる夏を過ごしています。広陵は残念ながら準優勝でしたが、中村選手は大きな偉業を達成しました。しかし、彼の妻は身体能力だけではなかったと思います。彼が、9回裏の打席に立った時、彼の心には、控えの選手達の顔が浮かんだそうです。今の自分があるのは、多くの仲間がいたから。母子家庭で育ち、母親のために甲子園でホームランを打ちたい。彼の涙は悔し涙ではなく、感謝の涙だったと思います。

(野村)

＊ ＊ ＊

先日、ピアノのコンクールがありました。ピアノが好きで幼少期よりずっと続けていますが、練習のモチベーションになるのはこのような舞台での演奏です。けれど、これがとても難しい。練習では何ともなかったようなところで指がもつれたり、当日初めて触れるピアノの「くせ」にうまく体を合わせられないこともあります。今まで何度泣いてきたか分かりません(笑)。ですが、それでも舞台演奏はとても楽しいです。これからも続けていきたいと思

(馬場)

＊ ＊ ＊

8月10日から13日に山口で開催された、西日本医科学学生総合体育大会弓道部門に参加してきました。毎年夏に開催される西医体ですが、毎回思うような結果が出ず悔しい思いをしてきたので、今年こそはという気持ちで挑みました。結果は、最高に良かったというわけではありませんが割と調子がよく、チームの一員として自分なりのベストは尽くせたかな、という感じでした。後輩の素晴らしい活躍も見ることができ、いい大会だったと思います。(二見)

＊ ＊ ＊

女性医師の保育サポーター養成講座では、医師のハードな勤務状況についてもお話し、「女性医師の子育てを支援することは、その女性医師を助けるだけではなく、男性医師の負担を軽減することにもなり、地域医療を守ることにもつながります」ということを伝えていきます。受講者の感想として「私たち患者の意識も変えなければいけませんね」というものがあり、もっと広く一般の方々に医療現場の現状を知っていただくことが大切だと感じました。

(荒木)

＊ ＊ ＊

## 今月のトピックス

### 日州医談 薬剤耐性 (Antimicrobial resistance: AMR) 対策

抗菌薬の不適切な使用により薬剤耐性菌が増加する一方、抗菌薬の開発は減少傾向にあり、現在、耐性菌問題は待ったなしの状態です。薬剤耐性対策への取組みについて峰松俊夫理事に詳しく説明していただきました。

4 ページ

### 「はまゆう随筆」 その3

7月号から掲載しているはまゆう随筆も今年はこの第3弾で見納めです。本当に沢山の投稿をしていただき、ありがとうございました。趣味、医療、生活、思い出、歴史、4コマ漫画など様々な内容の作品を投稿していただきました。どうぞ楽しんで下さい。

6 ページ

### 診療メモ 快適職場はあなたをまもる・職場を創る ー最近のメンタルヘルス動向に関してー

2015年12月より従業員50人以上の全事業所を対象に、従業員に対するストレスチェックの実施が義務化されています。メンタルヘルス不調を未然に防止するための制度ですが、そもそもストレスとは何か？その脳内機序や対処法など、最近のメンタルヘルスの動向に関して鶴紀子名誉教授に詳しく解説していただきました。

78 ページ

### 宮大医学部学生のページ 第60回全国医学生ゼミナールin宮崎 開催報告 ～24年ぶり 宮崎でこれからの医療を考える～

「全国医学生ゼミナール」というものを今回初めて知りました。全国の医療系学生が集まり、学習会や交流会を行う企画で、今年は宮崎で第60回大会が開催されたとのこと。現地実行委員長だった井上奈津子さんに開催報告をしていただきました。

80 ページ

## 日 州 医 事 第817号(平成29年 9 月号)(毎月 1 回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行  
〒880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550  
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 沖田 和久・副委員長 西田 隆昭, 岡本健太郎  
委 員 中村 豪, 野村 勝政, 馬場 萌子, 二見 旬祐  
山崎 俊輔, 稲倉 琢也, 上山 貴子, 柴野 雅資, 泉 摩依  
担当副会長 富田 雄二・担当理事 荒木 早苗, 佐々木 究  
事 務 局 学術広報課 立山 幸恵, 牧野 諭

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。  
定 価 350円(但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)